



伊勢原市まちづくり

市民意識調査結果報告書

平成27年度

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収状況	3
4. 標本誤差	3
5. 報告書の見方	4
第2章 調査回答者の属性	5
1. 調査回答者の属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 世帯の状況	7
(4) 本市での居住年数	7
(5) 居住地域	8
(6) 職業	8
第3章 調査結果〔まちづくり〕	9
1. 調査結果〔まちづくり〕	11
(1) 調査項目	11
(2) 集計方法	11
(3) 施策展開とこれまでの主な取組一覧	12
(4) 項目別調査結果集計表	18
(5) 評価点	24
(6) 満足度と重要度の相関図による分析	34
(7) 基本政策（10本）と施策（37本）の相関分析	37
第4章 地域別	41
1. 地区別施策展開の満足度と今後の重要度	43
第5章 調査結果のまとめ	51
調査結果のまとめ	53
(1) 回答者の属性	53
(2) 伊勢原市のまちづくりについて〔37本の施策〕	53
(3) 市民意識調査結果の考察	57
第6章 自由意見	61
自由意見	63
(1) 自由意見	63

第7章 調査結果〔その他〕	71
1. 地域福祉について	73
(1) 福祉への関心	73
(2) 関心のある福祉分野	76
(3) 参加したことがあるボランティア活動	77
2. 幸福実感について	78
(1) 幸福の実感	78
(2) 幸福実感を判断する上で重視した事項	80
3. 市政情報について	82
(1) SNSの利用状況	82
(2) 市からの情報の入手源	83
(3) 「広報いせはら」の閲読状況	86
(4) 市のホームページの閲覧状況	88
4. 伊勢原に対する愛着や誇りなどについて	89
(1) 伊勢原に対する愛着や誇り	89
(2) 市外への推奨度	91
 第8章 調査票	 93
調査票	95
(1) 調査票	95

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、市が進めているまちづくりへの意見を伺い、第5次総合計画前期基本計画に掲げる施策等に対する市民の「満足度」、今後の「重要度」などを把握し、施策評価に活用するとともに、後期基本計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象：3,000人（無作為抽出による伊勢原市に居住する18歳以上の市民）
- (2) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (3) 調査期間：平成28年1月12日（火）～1月29日（金）
- (4) 調査項目
 - ①回答者属性
 - ②伊勢原市のまちづくり施策
 - ③地域福祉
 - ④幸福実感
 - ⑤市政情報の入手方法など
 - ⑥伊勢原に対する愛着や誇りなど

3. 回収状況

発送数	回収数	回収率
3,000件	1,430件	47.7%

4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（伊勢原市に住む18歳以上の市民）の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の＜算出式＞と＜早見表＞を以下に示す。

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）及び②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

＜標本誤差算出式＞

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（伊勢原市18歳以上の男女）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 p = 回答の比率（%）

第1章 調査の概要

回答比率(p) 回答者数(n)	5%又は 95%程度	90%又は 10%程度	80%又は 20%程度	70%又は 30%程度	60%又は 40%程度	50%程度
100	±4.27%	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%
200	±3.02%	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
500	±1.91%	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
1,000	±1.35%	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
1,430	±1.13%	±1.55%	±2.07%	±2.38%	±2.54%	±2.59%
5,000	±0.60%	±0.83%	±1.11%	±1.27%	±1.36%	±1.39%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。なお、この表の信頼度は95%である。

注／標本誤差表の見方

今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差という。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算したのが、上表である。この表の見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,430人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.54%以内（57.46～62.54%）である」とみることができる。

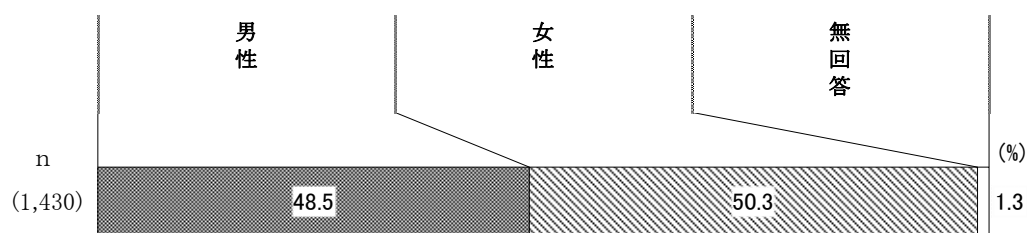
5. 報告書の見方

- ・図表中のnとは回答者数のことである。
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。

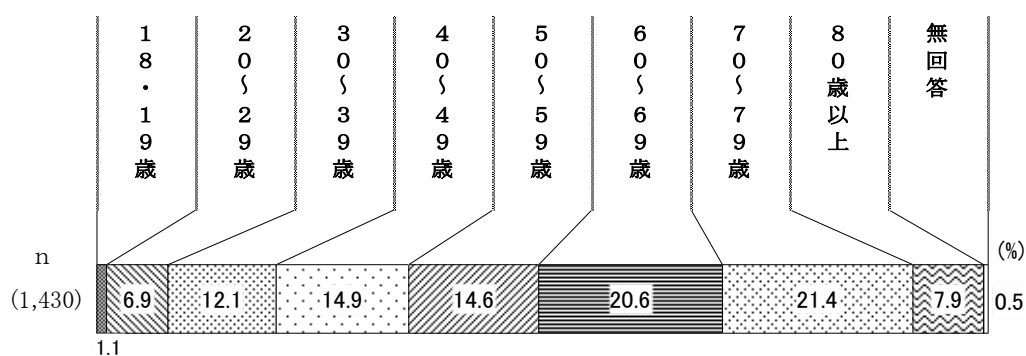
第2章 調査回答者の属性

1. 調査回答者の属性

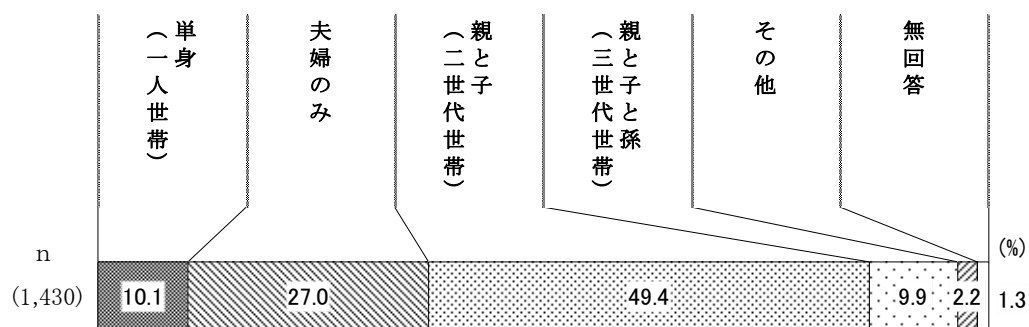
(1) 性別



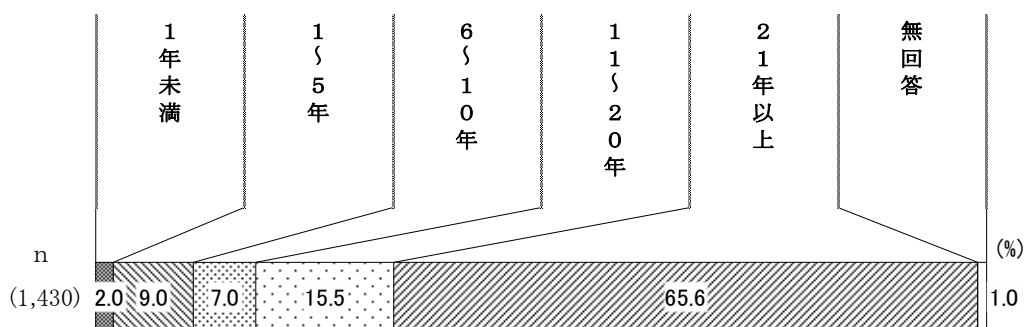
(2) 年齢



(3) 世帯の状況

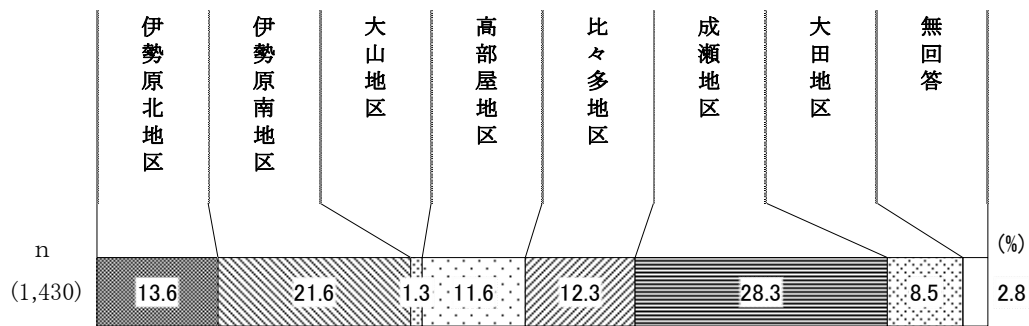


(4) 本市での居住年数



第2章 調査回答者の属性

(5) 居住地域

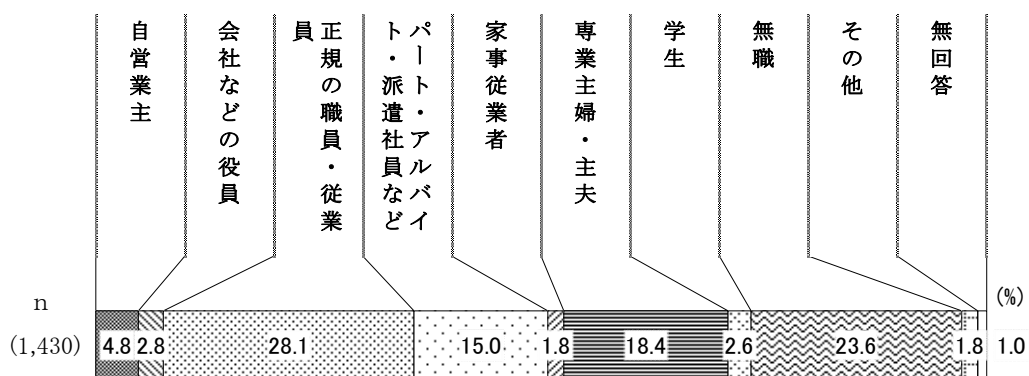


居住地域

地区分類	居住地域 (大字)
伊勢原北地区	東大竹1～2丁目、田中、板戸、伊勢原1～4丁目
伊勢原南地区	池端、東大竹、岡崎、八幡台1～2丁目、桜台1～5丁目
大山地区	大山、子易
高部屋地区	上粕屋、西富岡、日向
比々多地区	神戸、串橋、坪ノ内、笠窪、善波、白根、三ノ宮、鈴川、大住台1～3丁目
成瀬地区	下糟屋、東富岡、栗窪、高森、高森1～7丁目、石田、見附島、下落合、東成瀬、高森台1～3丁目、歌川1～3丁目
大田地区	上谷、下谷、小稲葉、上平間、下平間、沼目、沼目1～7丁目

※地区分類は、自治会の区域分類としているが、大字と一致していない地区がある。

(6) 職業



第3章 調査結果〔まちづくり〕

1. 調査結果〔まちづくり〕

(1) 調査項目

本市では「伊勢原市第5次総合計画」に基づくまちづくりを計画的に進めるために、平成25年度から平成29年度までの5年間について、「前期基本計画」を定めて、37本の施策を重点的に行っており、それぞれ満足度および重要度を聞いた。

また、それぞれのまちづくりを進めるために、意見・要望を自由意見として聞いた。

[施策本数]

1 暮らし力	12本	4 都市力	8本
2 安心力	6本	5 自治力	5本
3 活力	6本		

(2) 集計方法

①施策展開に対する現状の評価と今後の重要度

現状の満足度及び今後の重要度について、単純集計に加え、回答者の選択肢の「満足である」と「やや満足である」を合わせた「満足」と、「あまり満足でない」と「満足でない」を合わせた「不満」の集計を行った。(重要度についてもこれに準ずる。)

なお、百分比は回収数を100%としているため、項目ごとに100%にならない場合がある。

②評価点

現状の満足度及び今後の重要度をそれぞれ4段階評価で聞いた。

また、「満足度」、「重要度」を下表の数値評価に置き換え、加重平均にて評価値を算出した。

得点が高いほど「満足度」では満足が、「重要度」では重要と考えている指標となる。

18ページから23ページは分野ごとに分野別平均点を出し、さらに項目ごとに上段に回答者比率を、下段に評価得点の平均値を記載している。

また、市域7地区別及び年齢別のクロス集計を行った。

<満足度>

満足度	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない
得点	2点	1点	-1点	-2点

<重要度>

今後の重要度	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
得点	2点	1点	-1点	-2点

(3) 施策展開とこれまでの主な取組一覧

【暮らし力】

施策 01 自ら取り組む健康づくりの推進
<p>市内の医療機関などと連携し、スポーツを通じた体力づくりや、食育などによる市民の自主的な健康づくりを支援しています。</p> <p>また、健康診査や各種検診を充実するなど、疾病の予防や早期発見・治療に向けた取組を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加 ・市の史跡、名所などを巡る「伊勢原市ウォーキングガイド」の作成 など
施策 02 安心できる地域医療体制の充実
<p>より質の高い医療を安定的に提供できる医療施設の確保に向けた支援を行うとともに、軽傷から重傷な患者に至るまでの安定した救急医療環境を確保するための支援を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の中核を担う伊勢原協同病院の移転新築に対する財政支援 ・安定した救急医療環境を確保するための財政支援 など
施策 03 多様な連携による地域福祉の推進
<p>地域住民や各種団体などと連携し、高齢者や障害者などを地域で支える福祉活動に取り組むしくみづくりを進めています。</p> <p>また、市民団体と協働して講座などを開催するなど、地域福祉の担い手となる人材の育成に取り組んでいます。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人宅を訪問する事業者との地域見守りに関する協定の締結 ・「成年後見」の担い手である市民後見人養成講座の開催 など
施策 04 高齢者の地域生活支援の充実
<p>高齢者の就業や社会参加活動の機会を整え、高齢者が地域で活躍できる環境づくりを進めています。</p> <p>また、介護予防の普及啓発に努めるとともに、地域で高齢者を支える地域包括ケア体制の構築を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター運営への支援 ・高齢者の介護予防のための教室やミニデイサロンの実施 など
施策 05 障害者の地域生活支援の充実
<p>障害者への支援を総合的に行う相談支援体制の強化を図るとともに、障害者の就労支援など、社会参加に関する支援を行っています。</p> <p>また、家族介護を支援するため、障害児者の日中一時預かりなどの環境整備を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の日常生活等の相談を受ける相談支援事業所の開設 ・障害者の日中の一時的な預かり先となる日中一時支援事業の拡充 など
施策 06 子育て家庭への支援の充実
<p>子育てに関する相談や交流、情報交換ができる場を提供するなど、地域で子育て家庭を支え合うしくみづくりを進めています。</p> <p>また、新生児や乳児のいる家庭への個別訪問や、医療費などの助成により、子育てしやすい環境づくりを進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て家庭を支援する子育て支援センター等の運営 ・小児医療費助成制度の対象年齢の拡大 など

施策 07 多様な働き方が選択できる保育の充実

子育て家庭の多様なニーズに応じた保育サービスの提供と、放課後等に小学生を預かる「児童コミュニティクラブ」の安定した運営の確保に取り組むとともに、質の高い保育・教育サービスの提供に努めるなど、子ども・子育て支援新制度を進めています。

■これまでの主な取組

- ・児童コミュニティクラブの対象学年の拡大
- ・子ども子育て関連3法に基づく「子ども・子育て支援新制度」の導入 など

施策 08 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進

「子ども・若者育成支援指針」を策定し、子ども・若者の育成支援を総合的に進めるとともに、子どもたちが放課後の時間に安全に過ごすことができる場を地域の中に確保する「放課後子ども教室」や、子ども・若者の悩み相談、非行防止活動などに取り組んでいます。

■これまでの主な取組

- ・子どもの安全な遊び場等を確保する放課後子ども教室の新規開設
- ・県央地域若者サポートステーションと連携した相談事業の実施 など

施策 09 きめ細やかな教育の推進

児童生徒の学習や生活支援の充実のため、本市の豊かな自然や伝統文化の活用など、特色ある教育を地域と協力しながら進めています。

また、小学校への少人数学級や教科担当制の導入、スクールカウンセラーの全校配置や教育相談の充実など、きめ細やかな教育に取り組んでいます。

■これまでの主な取組

- ・英語教育の充実やICT機器の利活用などのモデル事業の実施
- ・子どもや保護者の問題に対応する「地域家庭支援チーム」の設置 など

施策 10 安全で快適な教育環境の整備

小中学校校舎の屋上防水や外壁の修繕を計画的に実施し、学校施設の安全性の確保に努めています。

また、トイレなどの改修や、普通教室への扇風機設置など、快適な学習環境への改善に取り組んでいます。

■これまでの主な取組

- ・小中学校校舎の屋上防水・外壁修繕工事の実施
- ・小中学校トイレの全面リニューアル・洋式化改修工事等の実施 など

施策 11 学習成果を生かせる生涯学習の推進

生涯学習の活動情報などを積極的に提供し、幅広い世代の人が参加できる機会を充実するとともに、各種団体などと連携し、学習の成果を生かすことができる仕組みづくりに取り組んでいます。

また、スポーツ環境の整備など、生涯スポーツの振興に取り組んでいます。

■これまでの主な取組

- ・大学との連携による「大学開放講座」の開催
- ・市民との協働による「いせはら市民大学・楽習講座」の開催
- ・県立伊勢原射撃場を活用した「ビームライフル射撃体験教室」の開催 など

施策 12 歴史・文化遺産の継承

歴史的に貴重な建造物の修理への支援や文化財調査・保存など、豊富な文化財等を次代に伝え残していく取組を進めるとともに、文化財の魅力をまちづくりに活用し、地域全体で文化・歴史遺産を継承していく仕組みづくりに努めています。

■これまでの主な取組

- ・日向薬師宝城坊保存修理事業への支援
- ・いせはら歴史解説アドバイザーを養成する講座の開催

【安心力】

施策 13 みんなで取り組む地域防災力の強化
<p>地域における防災の担い手の育成や正しい防災知識の普及啓発など、地域防災力の強化に取り組んでいます。</p> <p>また、災害時における高齢者や障害者などの要援護者に対する支援体制の整備を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災ガイドブックの発行 ・広域避難場所を会場とした総合防災訓練の実施 など
施策 14 いざという時の危機対応力の強化
<p>災害時などの危機事態に行政機能を早期に復旧できる体制づくりを進めるとともに、国や県、事業者、大学などと連携して災害対策の強化に取り組んでいます。</p> <p>また、災害等の情報を的確に提供できる情報伝達体制を整え、災害時の応急対策に必要な設備・資機材の整備などを進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害情報伝達手段の多重化（Lアラート、FMラジオ、フェイスブック等） ・公園の防災機能強化（非常用便所やかまどベンチなど） など
施策 15 被害を最小限に抑える減災対策の推進
<p>公共施設の地震対策、木造住宅の耐震化、浸水被害の軽減対策に取り組むとともに、風水害・土砂災害発生時に地域住民が迅速に避難できる体制を整備するなど、災害による被害が最小限となる減災対策を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道における地震・浸水対策工事の実施 ・土砂災害を想定した避難訓練の実施 など
施策 16 地域とともに取り組む防犯対策の推進
<p>子どもの見守り活動や夜間パトロールなど、地域の自主的な防犯活動を支援するとともに、防犯灯の高照度化や防犯カメラの設置など、犯罪の起きにくい環境を整備し、市民、地域、行政が一体となった防犯対策を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前エリア等への防犯カメラの設置 ・市内にある防犯灯の新設やLED化等 など
施策 17 迅速で適切な消防・救急体制の充実
<p>高機能消防指令センターの機能更新や消防救急無線のデジタル化などに取り組むとともに、消火活動に不可欠な消火栓などの消防水利の計画的な整備を行うなど、消防・救急体制の充実・強化に取り組んでいます。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高機能消防指令センター更新整備の実施 ・消防救急無線のデジタル化整備工事の実施 ・消火栓などの消防水利の増設 など
施策 18 互いに尊重し合うまちづくりの推進
<p>男女共同参画社会の実現に取り組むとともに、虐待やDVの防止と被害者への支援を充実するなど、すべての人が尊重される地域社会づくりを進めています。</p> <p>また、平和に対する意識の普及や啓発活動の充実に取り組んでいます。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画フォーラム及び男女共同参画講座の開催 ・平和の尊さを未来へ語り継ぐ「平和のつどい」の開催 など

【活力】

施策 19 地域を支える商業・工業の振興
<p>各種産業の将来像を示す産業ビジョンを策定するとともに、企業誘致にむけた訪問活動や起業・創業への支援、さがみロボット産業特区を活用した取組など、地域産業の活性化に取り組んでいます。</p> <p>また、商店街の魅力向上や空き店舗対策など、商業の活性化を促しています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボットを体験するフェアなどのロボット関連事業の実施 ・空き店舗を活用したコミュニティカフェ出店の支援 など
施策20 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進
<p>農業の新たな担い手の確保や農地の集約化、用水路等の農業基盤施設の整備、鳥獣被害対策など、農業経営の安定化を促すとともに、農畜産物のブランド化や6次産業化など、農業の活性化に取り組んでいます。</p> <p>また、森林・水源管理道などの林業基盤施設の整備を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農初期段階の青年就農者への給付金の支給 ・有害鳥獣を対象とした食肉加工施設設置への支援 など
施策 21 伊勢原ならではの観光魅力づくり
<p>大山・日向を中心とした歴史・文化・自然などの地域資源を活用するとともに、市民や事業者などとの協働により、魅力ある観光地づくりを進めています。</p> <p>また、大山街道や歴史的に関わりのある地域との連携を図り、広域観光の拡大を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山インフォメーションセンター（情報発信拠点）の新設 ・厚木・伊勢原・秦野にまたがる広域ハイキングルートの設定 など
施策 22 いせはらシティセールスの推進
<p>本市の豊富な地域資源を市内外に効果的にアピールするため、シティプロモーション推進計画を策定するとともに、公式イメージキャラクターの活用や積極的な情報発信などにより、本市のイメージや知名度の向上を図り、地域の活性化を促しています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市公式イメージキャラクター「クルリン」の活用 ・原動機付自転車を対象とするご当地ナンバープレートの作成と配布 など
施策 23 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出
<p>広域幹線道路整備による交通のアクセス性などの地域の優位性を生かし、都市計画道路横浜伊勢原線沿道地区に新たな産業用地を創出するとともに、企業誘致に取り組んでいます。</p> <p>また、新東名高速道路や国道246号バイパスの伊勢原北インターチェンジ周辺地区における新たな交流拠点の形成を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業用地である横浜伊勢原線沿道地区の市街化区域への編入 ・伊勢原北インターチェンジ周辺における埋蔵文化財調査の実施 など
施策 24 交流がひろがる拠点の形成
<p>伊勢原駅北口周辺地区は、市の玄関口としてふさわしい賑わいと活力ある交流拠点の形成を目指し、関係権利者と整備に向けた検討を進めるとともに、喫緊の課題となっている交通環境の改善を図るため、都市計画道路伊勢原駅前線の整備を段階的に進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路伊勢原駅前線用地先行取得の実施 ・伊勢原駅北口周辺地区整備に向けた地元説明会及び勉強会の開催 など

【都市力】

施策 25 地域の個性あふれるまちづくりの推進
<p>市民が主体となって取り組む地域のまちづくり活動や景観まちづくり活動への支援を進めるとともに、景観計画・条例を施行し、地域の景観を生かしたまちの形成に取り組んでいます。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観に関するシンポジウムやワークショップの開催 ・良好な景観形成に向けた景観計画の策定や景観条例の制定 など
施策26 生活環境美化の推進
<p>環境美化に関するマナーや意識の啓発、パトロール実施などによりごみの散乱を防止し、清潔で快適な生活環境の維持に努めるとともに、公園や河川などの身近な公共施設の美化に市民と協働で取り組み、きれいで美しいまちづくりを進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨て・犬のふんの放置・路上喫煙の防止に関するパトロールの実施 ・公園の美化活動を進める公園愛護会への支援 など
施策 27 自然共生社会の構築
<p>生態系に配慮した水路の整備や合併処理浄化槽の普及を推進し、水源等として利用されている河川の環境保全を進めるとともに、教育機関や市民、事業者と連携し、環境教育や環境啓発イベントの実施など、環境保全活動の充実に取り組んでいます。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民環境団体との協働による環境啓発イベントの開催 ・生態系に配慮した自然石による護岸の整備 など
施策 28 低炭素・循環型社会の構築
<p>太陽光発電設備やみどりのカーテンの普及など、温室効果ガス削減の取組を進めています。また、ごみの減量化・資源化に取り組み、環境負荷の少ない社会の実現に向けた取組を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山第二駐車場への電気自動車用急速充電器の設置 ・携帯電話など使用済小型家電の分別回収の実施 など
施策 29 バリアフリー対策の推進
<p>誰もが安全で円滑に移動できるよう、歩道等の整備や歩行空間のバリアフリー化を進めるとともに、バス事業者と協調しながら、ノンステップバスの導入を促し、公共交通機関のバリアフリー化に取り組んでいます。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者と自転車の円滑な移動を確保する歩道等の整備 ・ノンステップバス導入に係るバス事業者への支援 など
施策 30 移動しやすい交通対策の推進
<p>バス路線の維持拡充に取り組むとともに、鉄道事業者に対する運行内容等の改善の働きかけなど、公共交通対策に取り組んでいます。また、自転車の交通安全教育や交通マナーの啓発に取り組み、安全で移動しやすい交通環境づくりを進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛甲石田南口から東成瀬周辺地区を循環するバス路線の新設 ・交通安全教室の開催や自転車マナーアップキャンペーンの実施 など
施策 31 都市の機能を高める基盤施設整備の推進
<p>新東名高速道路や国道246号バイパスとそのアクセス道路の整備を促すとともに、都市計画道路などの地域の幹線道路の整備を進めています。また、公共下水道（污水）の普及に向けた整備を進めています。</p>
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路田中笠窪線整備事業の実施 ・公共下水道（污水）整備工事の実施 など

施策 32 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進

公共施設の計画的な修繕や維持管理を行い、公共施設の長寿命化に努めるとともに、時代のニーズに対応した、公共施設の有効利用を進めるなど、効率的で機能的な施設管理に取り組んでいます。

■これまでの主な取組

- ・橋りょうの耐震化工事などの予防的修繕の実施
- ・公園遊具の更新や総合運動公園体育館天井改修工事の実施 など

【自治力】**施策 33 市民や様々な団体との市民協働の推進**

市民活動への参加を促し、市民や団体の活動が自主的・継続的に進められるよう、相談や育成、交流などの支援を実施するとともに、様々な団体や事業者などが市と協働関係を構築し行動する、市民協働のまちづくりを進めています。

■これまでの主な取組

- ・市民の自主的な市民活動を支援する市民活動サポートセンターの運営
- ・市民又は行政からの提案による協働事業の実施 など

施策34 多様なつながりで支える地域運営の推進

自治会活動等への支援や、地域住民の自主的な活動の場である地域のコミュニティセンターの管理運営を行い、住民のつながりや支え合いの意識を高めるとともに、地域コミュニティの活発化を促しています。

■これまでの主な取組

- ・自治会連合会ホームページの作成などの自治会運営への支援
- ・地域コミュニティセンターの管理・運営 など

施策35 市民に身近な市役所づくり

行政情報を市民にわかりやすく公開し、身近に感じられる透明性の高い市役所づくりを進めています。
また、情報通信技術を活用した行政サービスの拡大や情報発信の充実など、利用しやすく信頼性の高いシステムの構築を進めています。

■これまでの主な取組

- ・市ホームページのリニューアル
- ・「広報いせはら」の希望者への戸別配布の実施 など

施策 36 健全で安定した財政運営

市債残高の縮減や財政調整基金の確保など、財政基盤の強化に取り組むとともに、様々な環境の変化に柔軟に対応できる健全で安定した財政運営に努めています。
また、まちづくり市民ファンドの創設や広告事業の拡大など、新たな財源確保に向けた取組を進めています。

■これまでの主な取組

- ・市ホームページや公用自動車などへの企業有料広告の募集
- ・滞納処分により差押えられた財産のインターネット公売の実施 など

施策 37 市民に信頼される市政の推進

限られた財源や人員の配分を最適化し、事務事業の見直しなどを行うとともに、広域連携など、より効果的かつ効率的な行政運営を進めています。
また、職員の人材育成や部門横断的な事業展開など、機能的な執行体制の構築に取り組んでいます。

■これまでの主な取組

- ・他市町とのスポーツ施設等の相互利用の開始
- ・市役所1階における総合窓口「クルリン窓口」の開設 など

(4) 項目別調査結果集計表

問 この項目では、「伊勢原市第5次総合計画 前期基本計画」に定める37本の施策に関する現状の満足度や今後の重要度についてうかがいます。
 回答欄の左側にある施策の概要等をお読みいただき、あなたの実感やお考えに近いものを、それぞれ1つ選んで番号に○を付けてください。

各項目の評価点は、下式をもとに算出した。

$$\frac{(\text{「満足である」} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足である」} \times 1 \text{点}) + (\text{「あまり満足でない」} \times (-1 \text{点})) + (\text{「満足でない」} \times (-2 \text{点}))}{\text{回答者数}}$$

回答者数

※回答者数には無回答を含む
 ※重要度でも算出方法は同様である。

評価点は-2.00点～2.00点の間に分布し、0.00点が中間点、2.00点に近いほど評価は良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いことを表す。

①項目別評価点「暮らし力」

健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

健やかに生き生きと暮らせる まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
分野別平均点	0.51					1.37				
自ら取り組む健康づくりの推進	16.1	47.0	27.4	6.5	3.0	46.6	37.8	10.4	1.6	3.5
	0.39					1.17				
安心できる地域医療体制の充実	35.5	45.2	13.7	3.3	2.2	75.2	19.2	2.2	0.1	3.2
	0.96					1.67				
多様な連携による地域福祉の推進	15.2	44.0	31.7	5.5	3.6	51.0	36.9	7.4	1.0	3.7
	0.32					1.29				
高齢者の地域生活支援の充実	18.4	44.3	29.0	5.3	3.0	54.8	35.1	6.4	1.2	2.6
	0.41					1.36				
障害者の地域生活支援の充実	16.1	47.8	25.9	4.5	5.8	53.6	34.4	6.8	0.6	4.6
	0.45					1.33				

※薄い網：37項目中の上位10項目

※濃い網：37項目中の下位10項目

子どもの成長をみんなで見守るまちづくり

子どもの成長をみんなで見守る まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.40					1.40				
子育て家庭への支援の充実	16.8	41.7	24.9	9.7	6.9	64.9	24.6	3.8	1.2	5.5
	0.31					1.48				
多様な働き方が選択できる保育の充実	19.2	45.9	23.4	4.3	7.3	60.8	27.2	4.4	1.4	6.2
	0.52					1.42				
次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	15.8	43.7	27.8	5.5	7.2	53.1	33.8	6.0	1.5	5.5
	0.37					1.31				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

人がつながり未来を拓く 学び合うまちづくり

人がつながり未来を拓く 学び合う まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.44					1.05				
きめ細やかな教育の推進	16.2	42.8	27.0	6.1	8.0	60.2	25.7	6.7	1.1	6.2
	0.36					1.37				
安全で快適な教育環境の整備	19.6	46.2	21.0	6.2	7.0	50.8	34.5	7.6	1.6	5.5
	0.52					1.25				
学習成果を生かせる生涯学習の推進	15.0	41.1	30.3	6.0	7.6	27.5	40.5	22.4	4.0	5.6
	0.29					0.65				
歴史・文化遺産の継承	21.5	45.9	23.1	3.9	5.6	36.3	41.1	15.5	2.9	4.3
	0.58					0.93				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

第3章 調査結果 [まちづくり]

②項目別評価点「安心力」

災害に強い安全なまちづくり

災害に強い安全な まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.30					1.59				
みんなで取り組む地域防災力の強化	19.9	42.8	27.0	5.6	4.7	68.6	23.7	2.9	0.3	4.5
	0.44					1.57				
いざという時の危機対応力の強化	16.4	42.1	30.0	6.2	5.4	72.4	19.2	3.4	0.1	4.9
	0.33					1.60				
被害を最小限に抑える減災対策の推進	13.1	37.8	34.5	8.7	5.9	69.9	22.2	2.9	0.5	4.5
	0.12					1.58				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

暮らしの安心がひろがるまちづくり

暮らしの安心がひろがる まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.46					1.41				
地域とともに取り組む防犯対策の推進	18.9	40.6	28.2	7.6	4.8	71.0	22.2	2.4	0.5	3.9
	0.35					1.61				
迅速で適切な消防・救急体制の充実	25.7	49.2	16.9	2.0	6.3	66.9	24.5	3.1	0.5	5.0
	0.80					1.54				
互いに尊重し合うまちづくりの推進	14.1	39.5	33.1	6.4	6.9	42.4	38.3	10.6	2.6	6.1
	0.22					1.07				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

③項目別評価点「活力」

産業の活力があふれる元気なまちづくり

産業の活力があふれる元気な まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.25					1.01				
地域を支える商業・工業の振興	9.4	32.8	38.9	11.4	7.6	37.0	40.3	13.7	2.6	6.4
	-0.10					0.95				
地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	11.1	43.8	30.4	7.3	7.4	40.9	40.4	11.5	1.6	5.5
	0.21					1.07				
伊勢原ならではの観光魅力づくり	21.3	43.8	23.6	7.4	4.0	50.4	34.8	9.4	1.8	3.5
	0.48					1.23				
いせはらシティセールスの推進	20.1	41.4	26.9	6.5	5.2	35.7	35.7	19.0	5.0	4.6
	0.42					0.78				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり

都市の活力を生み出す魅力ある まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.03					1.08				
地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	17.9	42.4	26.8	7.1	5.9	44.4	34.7	12.2	3.3	5.4
	0.37					1.05				
交流がひろがる拠点の形成	10.6	25.9	39.0	19.6	5.0	47.5	33.7	12.0	2.4	4.4
	-0.31					1.12				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

第3章 調査結果 [まちづくり]

④項目別評価点「都市力」

自然と調和した住みよいまちづくり

自然と調和した住みよい まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.20					1.02				
地域の個性あふれるまちづくりの推進	9.4	29.4	41.7	13.4	5.9	26.1	42.8	21.1	4.6	5.4
	-0.20					0.65				
生活環境美化の推進	15.8	43.3	27.8	8.9	4.3	46.5	40.0	8.0	1.1	4.3
	0.29					1.23				
自然共生社会の構築	13.4	46.8	27.6	5.9	6.3	41.3	41.8	9.9	1.7	5.2
	0.34					1.11				
低炭素・循環型社会の構築	16.0	45.6	27.0	6.3	5.1	41.3	41.2	11.4	1.9	4.3
	0.38					1.09				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

快適で暮らしやすいまちづくり

快適で暮らしやすい まちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.23					1.27				
バリアフリー対策の推進	14.5	39.2	33.4	9.0	3.9	57.5	34.1	4.1	0.6	3.8
	0.17					1.44				
移動しやすい交通対策の推進	15.0	40.7	30.3	9.7	4.3	49.0	37.9	7.8	1.1	4.1
	0.21					1.26				
都市の機能を高める基盤施設整備 の推進	16.2	43.2	28.3	7.7	4.6	45.7	39.9	8.7	1.2	4.4
	0.32					1.20				
公共施設の効率的な活用と維持管理・ 保全の推進	12.6	43.8	31.3	6.9	5.4	45.0	40.8	8.7	1.4	4.1
	0.24					1.19				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

⑤項目別評価点「自治力」

市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり

市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	現状の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	無回答	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答
施策	回答者比率(%)					回答者比率(%)				
	満足度(点)					重要度(点)				
分野別平均点	0.25					0.97				
市民や様々な団体との市民協働の推進	11.7	45.9	29.3	6.9	6.2	24.1	44.3	21.6	4.3	5.7
	0.26					0.62				
多様なつながりで支える地域運営の推進	12.7	44.5	31.2	6.5	5.1	27.3	43.7	19.4	5.1	4.5
	0.26					0.69				
市民に身近な市役所づくり	17.9	46.2	24.6	6.9	4.4	39.8	41.2	12.0	2.5	4.5
	0.44					1.04				
健全で安定した財政運営	10.9	38.0	32.7	12.2	6.2	57.8	29.0	6.2	1.3	5.8
	0.03					1.36				
市民に信頼される市政の推進	13.6	45.3	25.9	9.7	5.4	46.3	37.0	10.1	1.7	4.8
	0.27					1.16				

※薄い網：37項目中の上位10項目

濃い網：37項目中の下位10項目

(5) 評価点

①満足度

満足度の上位及び下位10項目をみると、最も評価点が高いのは「安心できる地域医療体制の充実」(0.96)となっている。これに「迅速で適切な消防・救急体制の充実」(0.80)、「歴史・文化遺産の継承」(0.58)、「多様な働き方が選択できる保育の充実」(0.52)、「安全で快適な教育環境の整備」(0.52)の順で続いている。一方、評価点最も低かった項目は「交流がひろがる拠点の形成」(-0.31)となっている。次いで「地域の個性あふれるまちづくりの推進」(-0.20)、「地域を支える商業・工業の振興」(-0.10)となっている。

満足度評価点の上位10項目及び下位各10項目

順位	上位項目	満足度 評価点	順位	下位項目	満足度 評価点
1位	安心できる地域医療体制の充実	0.96	37位	交流がひろがる拠点の形成	-0.31
2位	迅速で適切な消防・救急体制の充実	0.80	36位	地域の個性あふれるまちづくりの推進	-0.20
3位	歴史・文化遺産の継承	0.58	35位	地域を支える商業・工業の振興	-0.10
4位	多様な働き方が選択できる保育の充実	0.52	34位	健全で安定した財政運営	0.03
5位	安全で快適な教育環境の整備	0.52	33位	被害を最小限に抑える減災対策の推進	0.12
6位	伊勢原ならではの観光魅力づくり	0.48	32位	バリアフリー対策の推進	0.17
7位	障害者の地域生活支援の充実	0.45	31位	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進/ 移動しやすい交通対策の推進	0.21
8位	みんなで取り組む地域防災力の強化	0.44			
9位	市民に身近な市役所づくり	0.44	29位	互いに尊重し合うまちづくりの推進	0.22
10位	いせはらシティセールスの推進	0.42	28位	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	0.24

※数値の表記は都合上小数点第2位までであるが、順位づけは小数点第5位までみて行った。上記の場合、下位31位の2項目は小数点第5位まで同率である。

【居住地域別】

地域別にみると、満足度の評価が高い項目として「安心できる地域医療体制の充実」が7地区中6地区で1位で、すべての地区であげられている。また、「迅速で適切な消防・救急体制の充実」、「歴史・文化遺産の継承」も6地区からあげられているほか、「安全で快適な教育環境の整備」も多くの地区からあげられている。

一方、満足度の評価が低い項目として「交流が広がる拠点の形成」が6地区で1位にあげられ、すべての地区からあげられるとともに「地域の個性あふれるまちづくりの推進」、「地域を支える商業・工業の振興」もすべての地区からあげられている。また、「健全で安定した財政運営」が6地区からあげられている。

地域別の満足度評価点（上位5項目）

地区別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
伊勢原北地区 n=195	安心できる地域医療体制の充実 1.03	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.75	安全で快適な教育環境の整備／伊勢原ならではの観光魅力づくり 0.61		歴史・文化遺産の継承 0.59
伊勢原南地区 n=309	安心できる地域医療体制の充実 0.89	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.77	いせはらシティセールスの推進 0.63	多様な働き方が選べる保育の充実 0.60	伊勢原ならではの観光魅力づくり 0.59
大山地区 n=19	安心できる地域医療体制の充実 1.58	多様な働き方が選べる保育の充実 1.11	多様な連携による地域福祉の推進／きめ細やかな教育の推進／学習成果を生かせる生涯学習の推進／歴史・文化遺産の継承 1.05		
高部屋地区 n=166	安心できる地域医療体制の充実 1.09	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.93	市民に身近な市役所づくり 0.61	安全で快適な教育環境の整備 0.58	歴史・文化遺産の継承 0.56
比々多地区 n=176	安心できる地域医療体制の充実 1.09	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.85	歴史・文化遺産の継承 0.73	障害者の地域生活支援の充実 0.72	安全で快適な教育環境の整備 0.64
成瀬地区 n=404	安心できる地域医療体制の充実 0.92	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.73	歴史・文化遺産の継承 0.51	都市の機能を高める基盤施設整備の推進 0.49	多様な働き方が選べる保育の充実 0.47
大田地区 n=121	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.87	安心できる地域医療体制の充実 0.74	歴史・文化遺産の継承 0.60	市民に身近な市役所づくり 0.57	安全で快適な教育環境の整備 0.53

※表記上は小数点第2位であるが、順位づけは小数点第5位までみて行った。上記の場合、例えば伊勢原北地区の2項目は小数点第5位まで同率である。（以降の表も同様）

第3章 調査結果〔まちづくり〕

地域別の満足度評価点（下位5項目）

地区別	第37位	第36位	第35位	第34位	第33位
伊勢原北地区 n=195	交流がひろがる 拠点の形成 -0.33	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.25	地域を支える商 業・工業の振興 -0.21	健全で安定した 財政運営 0.10	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 0.18
伊勢原南地区 n=309	交流がひろがる 拠点の形成 -0.39	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.12	地域を支える商 業・工業の振興 -0.04	健全で安定した 財政運営 0.08	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 0.12
大山地区 n=19	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.05	交流がひろがる 拠点の形成 0.05	地域とつながる 都市農業・森林 づくりの推進 0.05	バリアフリー対 策の推進 0.26	都市の機能を高め る基盤施設整備 の推進／障害者の地 域生活支援の充実 ／地域を支える商 業・工業の振興 0.32
高部屋地区 n=166	交流がひろがる 拠点の形成 -0.45	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.22	地域を支える商 業・工業の振興 -0.10	都市の機能を高め る基盤施設整備 の推進 0.06	健全で安定した 財政運営 0.07
比々多地区 n=176	交流がひろがる 拠点の形成 -0.18	地域を支える商 業・工業の振興 -0.14	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.12	健全で安定した 財政運営 0.07	移動しやすい交 通対策の推進 0.11
成瀬地区 n=404	交流がひろがる 拠点の形成 -0.29	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.27	健全で安定した 財政運営 -0.12	地域を支える商 業・工業の振興 -0.11	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 0.01
大田地区 n=121	交流がひろがる 拠点の形成 -0.33	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.32	地域を支える商 業・工業の振興 -0.11	健全で安定した 財政運営 -0.07	移動しやすい交 通対策の推進 0.00

【年齢別】

年齢別にみると、満足度の評価が高い項目として「安心できる地域医療体制の充実」がすべての年齢層から1位にあげられるとともに、「迅速で適切な消防・救急体制の充実」もすべての年齢層からあげられている。この他、「伊勢原ならではの観光魅力づくり」、「歴史・文化遺産の継承」も多くの年齢層からあげられている。

一方、満足度の評価が低い項目は「交流がひろがる拠点の形成」がすべての年齢層であげられ、30～39歳と80歳以上を除くすべての年齢層で最下位となっている。また、「地域の個性あふれるまちづくりの推進」、「地域を支える商業・工業の振興」もすべての年齢層であげられている。このほか、「健全で安定した財政運営」も70～79歳以外のすべての年齢層からあげられている。

年齢別の満足度評価点（上位5項目）

年齢別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 n=115	安心できる地域医療体制の充実 0.97	安全で快適な教育環境の整備 0.77	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.75	伊勢原ならではの観光魅力づくり 0.73	高齢者の地域生活支援の充実 0.70
30～39歳 n=173	安心できる地域医療体制の充実 1.00	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.58	高齢者の地域生活支援の充実／ みんなで取り組む地域防災力の強化 0.53		伊勢原ならではの観光魅力づくり 0.52
40～49歳 n=213	安心できる地域医療体制の充実 0.72	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.64	伊勢原ならではの観光魅力づくり 0.55	いせはらシティセールスの推進 0.52	歴史・文化遺産の継承 0.48
50～59歳 n=209	安心できる地域医療体制の充実 0.94	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.74	歴史・文化遺産の継承 0.47	いせはらシティセールスの推進 0.43	多様な働き方が選べる保育の充実 0.37
60～69歳 n=294	安心できる地域医療体制の充実 0.94	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.85	安全で快適な教育環境の整備 0.65	多様な働き方が選べる保育の充実 0.61	子育て家庭への支援の充実 0.54
70～79歳 n=306	安心できる地域医療体制の充実 1.08	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.95	歴史・文化遺産の継承 0.79	自ら取り組む健康づくりの推進 0.71	安全で快適な教育環境の整備 0.69
80歳以上 n=113	安心できる地域医療体制の充実 1.09	迅速で適切な消防・救急体制の充実 0.98	歴史・文化遺産の継承 0.85	自ら取り組む健康づくりの推進／ 伊勢原ならではの観光魅力づくり 0.78	

第3章 調査結果〔まちづくり〕

年齢別の満足度評価点（下位5項目）

年齢別	第37位	第36位	第35位	第34位	第33位
18～29歳 n=115	交流がひろがる 拠点の形成 0.02	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 0.14	健全で安定した 財政運営 0.17	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 0.24	互いに尊重し合う まちづくりの推進 ／地域を支える商 業・工業の振興 0.28
30～39歳 n=173	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.29	交流がひろがる 拠点の形成 -0.28	地域を支える商 業・工業の振興 -0.07	健全で安定した 財政運営 -0.06	子育て家庭への 支援の充実 0.01
40～49歳 n=213	交流がひろがる 拠点の形成 -0.48	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.26	地域を支える商 業・工業の振興 -0.23	健全で安定した 財政運営 -0.14	子育て家庭への 支援の充実 -0.14
50～59歳 n=209	交流がひろがる 拠点の形成 -0.62	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.37	地域を支える商 業・工業の振興 -0.22	健全で安定した 財政運営 -0.14	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 -0.08
60～69歳 n=294	交流がひろがる 拠点の形成 -0.44	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.36	地域を支える商 業・工業の振興 -0.24	健全で安定した 財政運営 -0.08	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 0.03
70～79歳 n=306	交流がひろがる 拠点の形成 -0.19	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 -0.15	地域を支える商 業・工業の振興 -0.08	地域とつながる 都市農業・森林 づくりの推進 0.12	バリアフリー対 策の推進 0.21
80歳以上 n=113	地域の個性あふ れるまちづくり の推進 0.20	交流がひろがる 拠点の形成 0.20	地域を支える商 業・工業の振興 0.24	健全で安定した 財政運営 0.30	自然共生社会の 構築 0.37

②重要度

重要度の上位及び下位10項目をみると、最も評価点が高いのは「安心できる地域医療体制の充実」(1.67)となっている。これに「地域とともに取り組む防犯対策の推進」(1.61)、「いざという時の危機対応力の強化」(1.60)、「被害を最小限に抑える減災対策の推進」(1.58)、「みんなで取り組む地域防災力の強化」(1.57)、「迅速で適切な消防・救急体制の充実」(1.54)の順で続いている。一方、評価点が最も低かった項目は「市民や様々な団体との市民協働の推進」(0.62)となっている。次いで「学習成果を生かせる生涯学習の推進」、「地域の個性あふれるまちづくりの推進」(ともに0.65)、「多様なつながりを支える地域運営の推進」(0.69)となっている。

重要度評価点の上位、下位各10項目

順位	上位項目	重要度 評価点	順位	下位項目	重要度 評価点
1位	安心できる地域医療体制の充実	1.67	37位	市民や様々な団体との市民協働の推進	0.62
2位	地域とともに取り組む防犯対策の推進	1.61	35位	学習成果を生かせる生涯学習の推進 ／地域の個性あふれるまちづくりの推進	0.65
3位	いざという時の危機対応力の強化	1.60			
4位	被害を最小限に抑える減災対策の推進	1.58	34位	多様なつながりで支える地域運営の推進	0.69
5位	みんなで取り組む地域防災力の強化	1.57	33位	いせはらシティセールスの推進	0.78
6位	迅速で適切な消防・救急体制の充実	1.54	32位	歴史・文化遺産の継承	0.93
7位	子育て家庭への支援の充実	1.48	31位	地域を支える商業・工業の振興	0.95
8位	バリアフリー対策の推進	1.44	30位	市民に身近な市役所づくり	1.04
9位	多様な働き方が選択できる保育の充実	1.42	29位	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	1.05
10位	きめ細やかな教育の推進	1.37	28位	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	1.07

第3章 調査結果〔まちづくり〕

【居住地域別】

地域別にみると、重要度の評価が高い項目として「安心できる地域医療体制の充実」、「みんなで取り組む地域防災力の強化」がすべての地区からあげられており、「安心できる地域医療体制の充実」は7地区中5地区で1位となっている。また、「地域とともに取り組む防犯対策の推進」、「いざという時の危機対応力の強化」も7地区中6地区からあげられている。

一方、重要度の評価が低い項目として「地域の個性あふれるまちづくりの推進」、「市民や様々な団体との市民協働の推進」がすべての地区からあげられており、「学習成果を生かせる生涯学習の推進」、「いせはらシティセールスの推進」、「多様なつながりで支える地域運営の推進」も7地区中6地区からあげられている。

地域別の重要度評価点（上位5項目）

地区別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
伊勢原北地区 n=195	いざという時の 危機対応力の強化 1.61	安心できる地域医療体制の充実／ みんなで取り組む地域防災力の強化	1.58	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 1.57	迅速で適切な消 防・救急体制の 充実 1.55
伊勢原南地区 n=309	地域とともに取 り組む防犯対策 の推進 1.67	安心できる地域医療体制の充実／ みんなで取り組む地域防災力の強化	1.65	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 1.64	いざという時の 危機対応力の強化 1.61
大山地区 n=19	安心できる地域 医療体制の充実 1.89	みんなで取り組む地域防災力の強化／ 地域とともに取り組む防犯対策の推進／ 迅速で適切な消防・救急体制の充実		1.79	高齢者の地域生 活支援の充実 1.74
高部屋地区 n=166	安心できる地域 医療体制の充実 1.76	地域とともに取 り組む防犯対策 の推進 1.67	いざという時の 危機対応力の強化 1.65	迅速で適切な消 防・救急体制の 充実 1.61	みんなで取り組 む地域防災力の 強化 1.60
比々多地区 n=176	安心できる地域 医療体制の充実 1.70	地域とともに取 り組む防犯対策 の推進 1.60	迅速で適切な消 防・救急体制の 充実 1.57	いざという時の 危機対応力の強化 1.55	子育て家庭への支援 の充実／みんなで取 り組む地域防災力の 強化 1.53
成瀬地区 n=404	安心できる地域 医療体制の充実 1.67	いざという時の 危機対応力の強化 1.62	被害を最小限に 抑える減災対策 の推進 1.61	地域とともに取 り組む防犯対策 の推進 1.56	みんなで取り組 む地域防災力の 強化 1.54
大田地区 n=121	安心できる地域 医療体制の充実 1.69	子育て家庭への 支援の充実 1.67	地域とともに取 り組む防犯対策 の推進 1.66	いざという時の 危機対応力の強化 1.62	みんなで取り組 む地域防災力の 強化 1.57

地域別の重要度評価点（下位5項目）

地区別	第37位	第36位	第35位	第34位	第33位
伊勢原北地区 n=195	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.60	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.62	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.63	いせはらシティセールスの推進 0.74	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.76
伊勢原南地区 n=309	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.55	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.58	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.64	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.71	いせはらシティセールスの推進 0.78
大山地区 n=19	自然共生社会の構築 0.68	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.74	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.79	安全で快適な教育環境の整備 0.84	地域を支える商業・工業の振興 0.95
高部屋地区 n=166	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.60	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.61	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.78	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.79	いせはらシティセールスの推進 0.83
比々多地区 n=176	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.63	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.69	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.70	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.81	いせはらシティセールスの推進 0.92
成瀬地区 n=404	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.60	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.65	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.65	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.73	いせはらシティセールスの推進 0.73
大田地区 n=121	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.46	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.55	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.68	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.71	いせはらシティセールスの推進 0.74

第3章 調査結果〔まちづくり〕

【年齢別】

年齢別にみると、重要度の評価が高い項目として「安心できる地域医療体制の充実」が50～59歳以下及び70～79歳で1位となっており、すべての年齢層からあげられている。また、「いざという時の危機対応力の強化」が80歳以上を除くすべての年齢層、「地域とともに取り組む防犯対策の推進」が50～59歳を除くすべての年齢層からあげられている。このほか、「被害を最小限に抑える減災対策の推進」、「迅速で適切な消防・救急体制の充実」、「みんなで取り組む地域防災力の強化」も多くの年齢層からあげられている。

一方、重要度の評価が低い項目は年齢層によって異なるもの、「学習成果を生かせる生涯学習の推進」、「いせはらしティセールの推進」、「市民や様々な団体との市民協働の推進」、「地域の個性あふれるまちづくりの推進」がすべての年齢層で、「多様なつながりで支える地域運営の推進」が80歳以上を除くすべての年齢層からあげられている。

年齢別の重要度評価点（上位5項目）

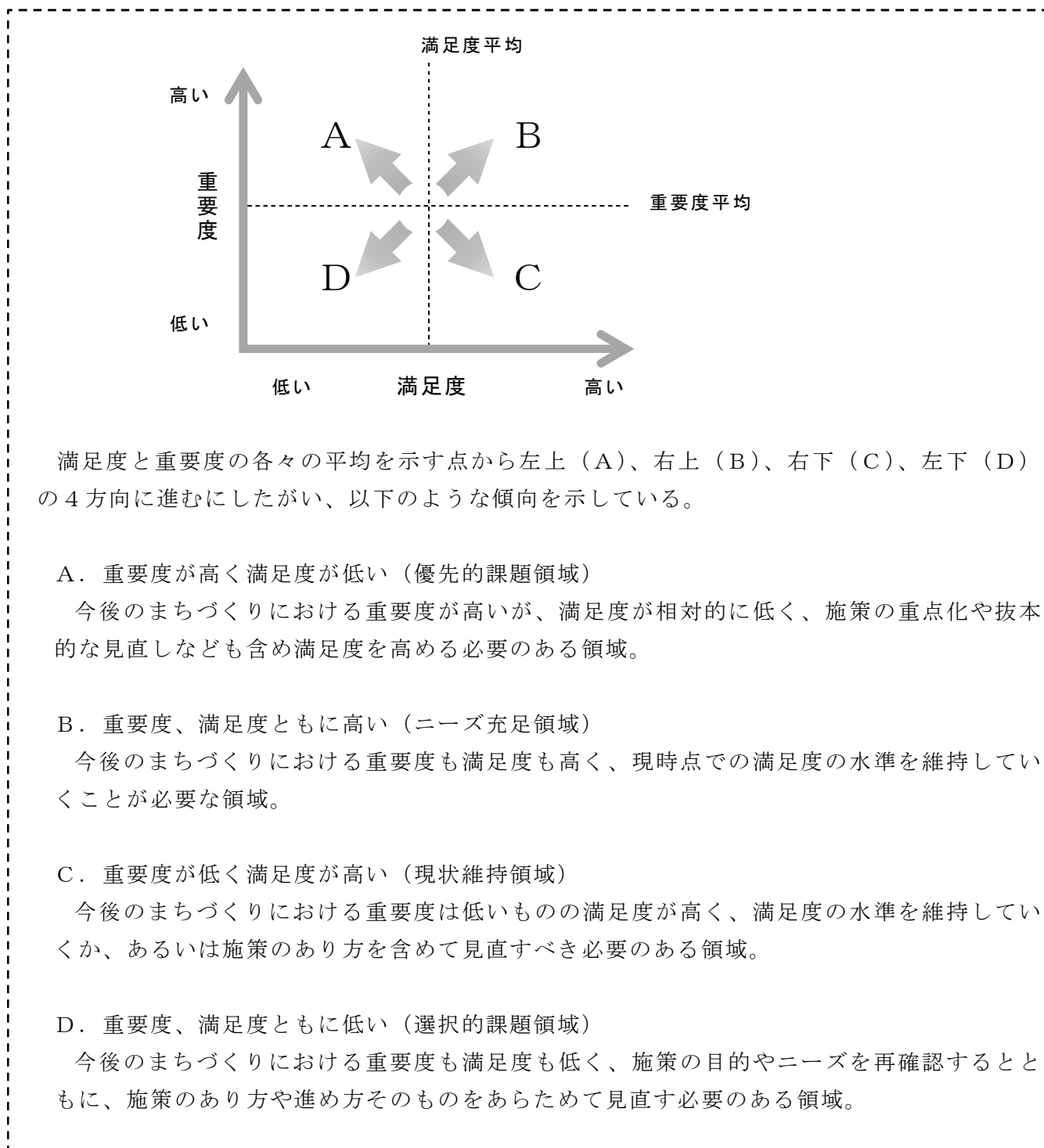
年齢別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 n=115	安心できる地域医療体制の充実 1.65	いざという時の危機対応力の強化 1.62	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.60	子育て家庭への支援の充実／被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.59	
30～39歳 n=173	安心できる地域医療体制の充実 1.68	いざという時の危機対応力の強化 1.63	子育て家庭への支援の充実 1.61	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.57	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.55
40～49歳 n=213	安心できる地域医療体制の充実 1.74	いざという時の危機対応力の強化 1.71	みんなで取り組む地域防災力の強化／地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.69		被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.66
50～59歳 n=209	安心できる地域医療体制の充実 1.76	いざという時の危機対応力の強化 1.61	被害を最小限に抑える減災対策の推進 1.60	迅速で適切な消防・救急体制の充実 1.56	みんなで取り組む地域防災力の強化 1.54
60～69歳 n=294	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.65	みんなで取り組む地域防災力の強化／迅速で適切な消防・救急体制の充実 1.64		安心できる地域医療体制の充実／いざという時の危機対応力の強化 1.63	
70～79歳 n=306	安心できる地域医療体制の充実 1.72	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.67	いざという時の危機対応力の強化 1.62	みんなで取り組む地域防災力の強化 1.61	迅速で適切な消防・救急体制の充実 1.60
80歳以上 n=113	地域とともに取り組む防犯対策の推進 1.49	バリアフリー対策の推進 1.42	安心できる地域医療体制の充実／迅速で適切な消防・救急体制の充実 1.38		みんなで取り組む地域防災力の強化 1.36

年齢別の重要度評価点（下位5項目）

年齢別	第37位	第36位	第35位	第34位	第33位
18～29歳 n=115	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.53	市民や様々な団体との市民協働の推進／地域の個性あふれるまちづくりの推進	0.66	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.70	いせはらシティセールスの推進 0.79
30～39歳 n=173	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.28	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.36	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.38	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.49	いせはらシティセールスの推進 0.60
40～49歳 n=213	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.43	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.48	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.51	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.52	いせはらシティセールスの推進 0.70
50～59歳 n=209	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.44	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.48	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.50	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.57	いせはらシティセールスの推進 0.61
60～69歳 n=294	多様なつながりで支える地域運営の推進 0.69	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.70	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.75	いせはらシティセールスの推進 0.77	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.80
70～79歳 n=306	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.81	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.85	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.91	多様なつながりで支える地域運営の推進 1.02	いせはらシティセールスの推進 1.04
80歳以上 n=113	学習成果を生かせる生涯学習の推進 0.71	市民や様々な団体との市民協働の推進 0.78	地域を支える商業・工業の振興 0.84	地域の個性あふれるまちづくりの推進 0.85	いせはらシティセールスの推進 0.90

(6) 満足度と重要度の相関図による分析

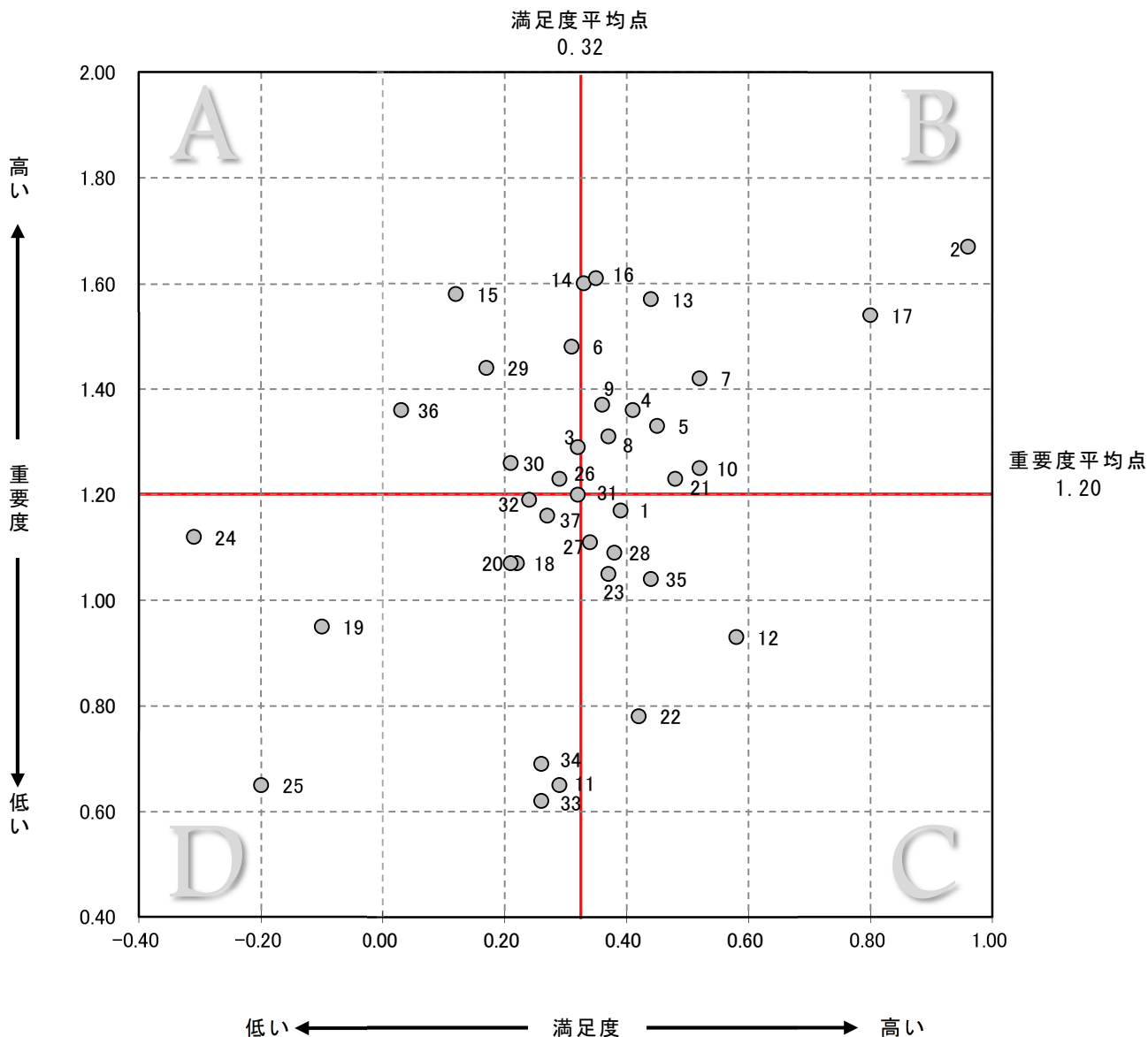
「満足度」と「重要度」の評価点を用い、縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図では、満足度と重要度をマトリクス上に示すことで、各分野の位置付けを以下のように整理することができる。



【相関図の全体的な傾向】

- A. 重要度が高く満足度が低い（優先的課題領域） 8本**
- 3 多様な連携による地域福祉の推進／6 子育て家庭への支援の充実／
 - 15 被害を最小限に抑える減災対策の推進／26 生活環境美化の推進
 - 29 バリアフリー対策の推進／30 移動しやすい交通対策の推進／
 - 31 都市の機能を高める基盤施設整備の推進／36 健全で安定した財政運営
- B. 重要度、満足度ともに高い（ニーズ充足領域） 12本**
- 2 安心できる地域医療体制の充実／4 高齢者の地域生活支援の充実／
 - 5 障害者の地域生活支援の充実／7 多様な働き方が選択できる保育の充実／
 - 8 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進／9 きめ細やかな教育の推進／
 - 10 安全で快適な教育環境の整備／13 みんなで取り組む地域防災力の強化
 - 14 いざという時の危機対応力の強化／16 地域とともに取り組む防犯対策の推進／
 - 17 迅速で適切な消防・救急体制の充実／21 伊勢原ならではの観光魅力づくり
- C. 重要度が低く満足度が高い（現状維持領域） 7本**
- 1 自ら取り組む健康づくりの推進／12 歴史・文化遺産の継承／
 - 22 いせはらシティセールスの推進／23 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出／
 - 27 自然共生社会の構築／28 低炭素・循環型社会の構築／
 - 35 市民に身近な市役所づくり
- D. 重要度、満足度ともに低い（選択的課題領域） 10本**
- 11 学習成果を生かせる生涯学習の推進／18 互いに尊重し合うまちづくりの推進
 - 19 地域を支える商業・工業の振興／20 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進
 - 24 交流がひろがる拠点の形成／25 地域の個性あふれるまちづくりの推進／
 - 32 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進／
 - 33 市民や様々な団体との市民協働の推進
 - 34 多様なつながりで支える地域運営の推進／37 市民に信頼される市政の推進

現状の評価と今後の重要度の相関図



3	多様な連携による地域福祉の推進	A
6	子育て家庭への支援の充実	
15	被害を最小限に抑える減災対策の推進	
26	生活環境美化の推進	
29	バリアフリー対策の推進	
30	移動しやすい交通対策の推進	
31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進	
36	健全で安定した財政運営	
2	安心できる地域医療体制の充実	B
4	高齢者の地域生活支援の充実	
5	障害者の地域生活支援の充実	
7	多様な働き方が選択できる保育の充実	
8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	
9	きめ細やかな教育の推進	
10	安全で快適な教育環境の整備	
13	みんなで取り組む地域防災力の強化	
14	いざという時の危機対応力の強化	
16	地域とともに取り組む防犯対策の推進	
17	迅速で適切な消防・救急体制の充実	
21	伊勢原ならではの観光魅力づくり	

1	自ら取り組む健康づくりの推進	C
12	歴史・文化遺産の継承	
22	いせはらシティセールスの推進	
23	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	
27	自然共生社会の構築	
28	低炭素・循環型社会の構築	
35	市民に身近な市役所づくり	
11	学習成果を生かせる生涯学習の推進	D
18	互いに尊重し合うまちづくりの推進	
19	地域を支える商業・工業の振興	
20	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
24	交流がひろがる拠点の形成	
25	地域の個性あふれるまちづくりの推進	
32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
33	市民や様々な団体との市民協働の推進	
34	多様なつながりで支える地域運営の推進	
37	市民に信頼される市政の推進	

(7) 基本政策（10本）と施策（37本）の相関分析

ここでは、37本の施策それぞれにおける相関図分析結果から、市の総合計画「第五次総合計画」の施策の体系に基づき、施策展開の方向ごとにその加重平均による領域分析を行い、基本政策と施策展開の方向の相関分析領域を確認する。

基本政策1：健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1項目、領域Bが3項目、領域Cが1項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、全ての施策展開の方向で領域Bに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Bに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
健やかに生き 生きと暮らせ るまちづくり	B	生涯にわたって健康に暮らせるまちづくり	B	自ら取り組む健康づくりの推進	C
				安心できる地域医療体制の充実	B
		みんなで支え合う福祉のまちをつくる	B	多様な連携による地域福祉の推進	A
				高齢者の地域生活支援の充実	B
				障害者の地域生活支援の充実	B

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策2：子どもの成長をみんなで見守るまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1項目、領域Bが2項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、全ての施策展開の方向で領域Bに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Bに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
子どもの成長をみんなで見守るまちづくり	B	子どもを産み育てやすいまちをつくる	B	子育て家庭への支援の充実	A
				多様な働き方が選択できる保育の充実	B
		子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる	B	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	B

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

第3章 調査結果〔まちづくり〕

基本政策3：人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Bが2項目、領域Cが1項目、領域Dが1項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、「子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる」が領域B、「いつまでも学び生きがいもてるまちをつくる」が領域Cに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Cに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	C	子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる	B	きめ細やかな教育の推進	B
				安全で快適な教育環境の整備	B
		いつまでも学び生きがいもてるまちをつくる	C	学習成果を生かせる生涯学習の推進	D
				歴史・文化遺産の継承	C

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策4：災害に強い安全なまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1項目、領域Bが2項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析の領域は、領域Aに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Aに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
災害に強い安全なまちづくり	A	災害から市民のいのちを守るまちをつくる	A	みんなで取り組む地域防災力の強化	B
				いざという時の危機対応力の強化	B
				被害を最小限に抑える減災対策の推進	A

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策5：暮らしの安心がひろがるまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Bが2項目、領域Dが1項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、「暮らしの安全を守るまちをつくる」が領域B、「一人ひとりが大切にされるまちをつくる」が領域Dに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Bに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
暮らしの安心がひろがるまちづくり	B	暮らしの安全を守るまちをつくる	B	地域とともに取り組む防犯対策の推進	B
				迅速で適切な消防・救急体制の充実	B
		一人ひとりが大切にされるまちをつくる	D	互いに尊重し合うまちづくりの推進	D

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策 6：産業の活力があふれる元気なまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Bが1項目、領域Cが1項目、領域Dが2項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、「多くの人を訪れる賑わいのあるまちをつくる」が領域C、「地域の産業が盛んなまちをつくる」が領域Dに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Dに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
産業の活力があふれる元気なまちづくり	D	地域の産業が盛んなまちをつくる	D	地域を支える商業・工業の振興	D
				地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	D
		多くの人を訪れる賑わいのあるまちをつくる	C	伊勢原ならではの観光魅力づくり	B
				いせはらシティセールスの推進	C

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策 7：都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Cが1項目、領域Dが1項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、領域Dに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Dに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり	D	都市の骨格を支えるまちをつくる	D	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	C
				交流がひろがる拠点の形成	D

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策 8：自然と調和した住みよいまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1項目、領域Cが2項目、領域Dが1項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、「みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる」が領域C、「愛着のある美しいまちをつくる」が領域Dに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Dに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
自然と調和した住みよいまちづくり	D	愛着のある美しいまちをつくる	D	地域の個性あふれるまちづくりの推進	D
				生活環境美化の推進	A
		みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる	C	自然共生社会の構築	C
				低炭素・循環型社会の構築	C

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

第3章 調査結果 [まちづくり]

基本政策9：快適で暮らしやすいまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが3項目、領域Dが1項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、「安全で円滑な移動ができるまちをつくる」が領域A、「便利で機能的なまちをつくる」が領域Dに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Aに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
快適で暮らしやすいまちづくり	A	安全で円滑な移動ができるまちをつくる	A	バリアフリー対策の推進	A
				移動しやすい交通対策の推進	A
		便利で機能的なまちをつくる	D	都市の機能を高める基盤施設整備の推進	A
				公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	D

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

基本政策10：市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり

施策に関する回答の相関分析結果では、領域Aが1項目、領域Cが1項目、領域Dが3項目であった。

施策から見た施策展開の方向における相関分析領域は、「次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる」が領域A、「地域の力が発揮できるまちをつくる」が領域Dに位置した。

基本政策に関する相関分析領域は、領域Dに該当する。

基本政策	領域1	施策展開の方向	領域	施策	領域
市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	D	地域の力が発揮できるまちをつくる	D	市民や様々な団体との市民協働の推進	D
				多様なつながりで支える地域運営の推進	D
				市民に身近な市役所づくり	C
		次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	A	健全で安定した財政運営	A
				市民に信頼される市政の推進	D

※領域：A【優先的課題領域】 B【ニーズ充足領域】 C【現状維持領域】 D【選択的課題領域】

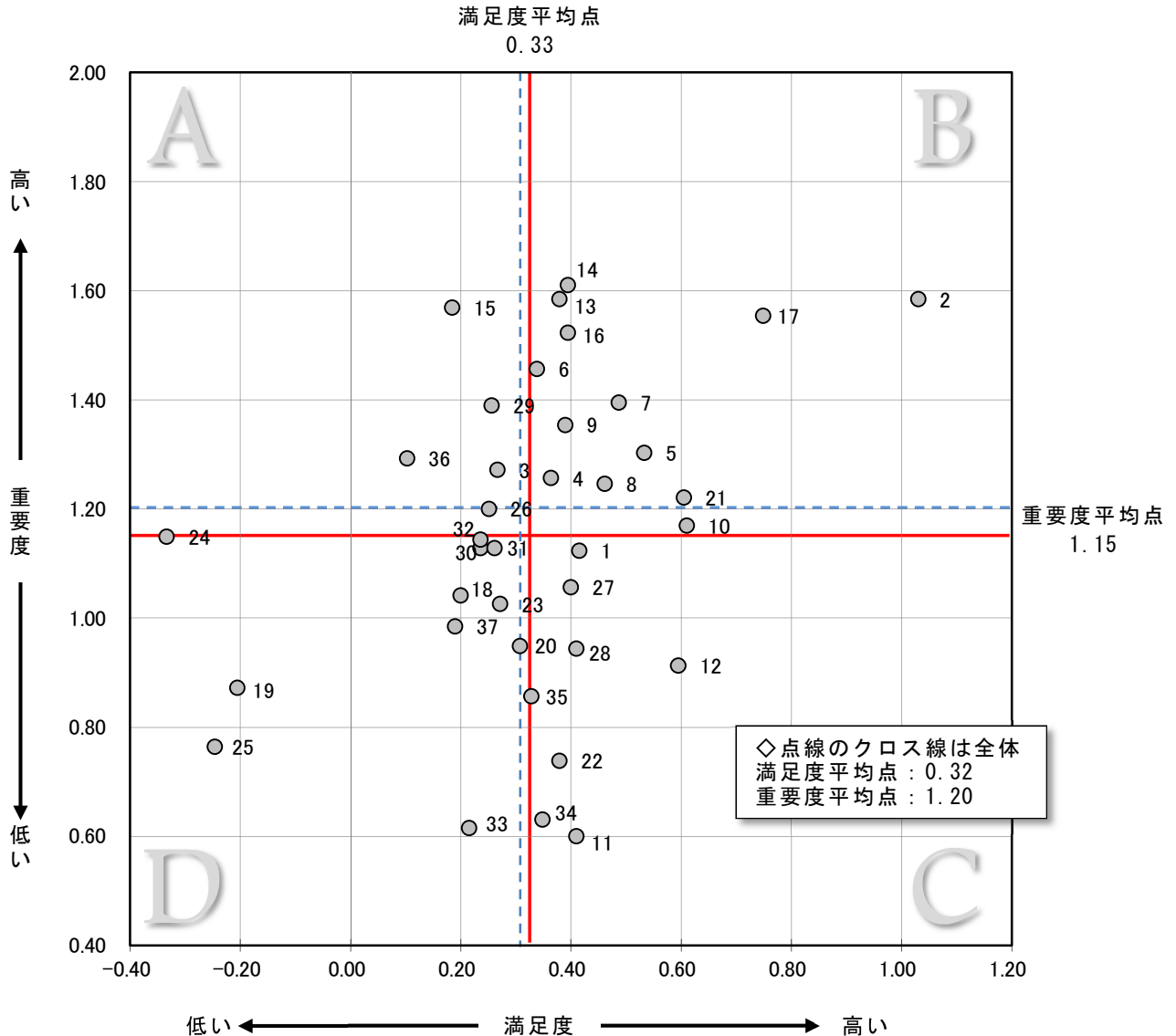
第 4 章 地域別

1. 地区別施策展開の満足度と今後の重要度

1 伊勢原北地区

37本の施策について、伊勢原北地区の属する領域の項目は以下の通りである。

満足度の平均値は0.33、重要度の平均値は1.15（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.20）となっており、満足度の平均値以下、重要度の平均値以上のAの領域に該当する5施策が、優先的に取り組みを望む項目である。



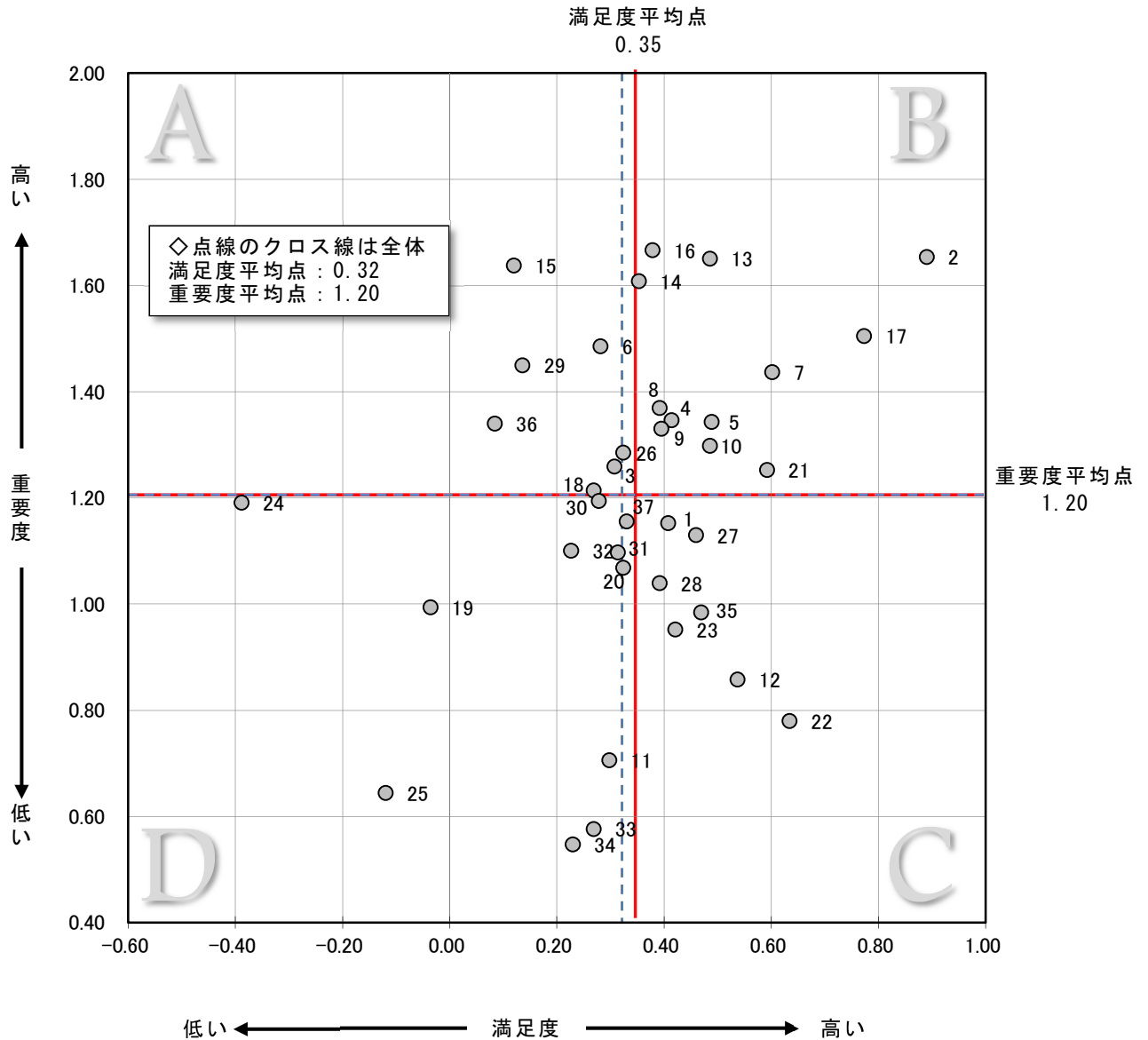
3	多様な連携による地域福祉の推進	A
15	被害を最小限に抑える減災対策の推進	
26	生活環境美化の推進	
29	バリアフリー対策の推進	
36	健全で安定した財政運営	
2	安心できる地域医療体制の充実	B
4	高齢者の地域生活支援の充実	
5	障害者の地域生活支援の充実	
6	子育て家庭への支援の充実	
7	多様な働き方が選択できる保育の充実	
8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	
9	きめ細やかな教育の推進	
10	安全で快適な教育環境の整備	
13	みんなで取り組む地域防災力の強化	
14	いざという時の危機対応力の強化	
16	地域とともに取り組む防犯対策の推進	
17	迅速で適切な消防・救急体制の充実	
21	伊勢原ならではの観光魅力づくり	

1	自ら取り組む健康づくりの推進	C
11	学習成果を生かせる生涯学習の推進	
12	歴史・文化遺産の継承	
22	いせはらシティセールスの推進	
27	自然共生社会の構築	
28	低炭素・循環型社会の構築	
34	多様なつながりで支える地域運営の推進	
18	互いに尊重し合うまちづくりの推進	
19	地域を支える商業・工業の振興	
20	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
23	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	
24	交流がひろがる拠点の形成	
25	地域の個性あふれるまちづくりの推進	
30	移動しやすい交通対策の推進	
31	都市の機能をも高める基盤施設整備の推進	
32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
33	市民や様々な団体との市民協働の推進	
35	市民に身近な市役所づくり	
37	市民に信頼される市政の推進	

2 伊勢原南地区

37本の施策について、伊勢原南地区の属する領域の項目は以下の通りである。

満足度の平均値は0.35、重要度の平均値は1.20（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.20）となっており、満足度の平均値以下、重要度の平均値以上のAの領域に該当する7施策が、優先的に取り組みを望む項目である。



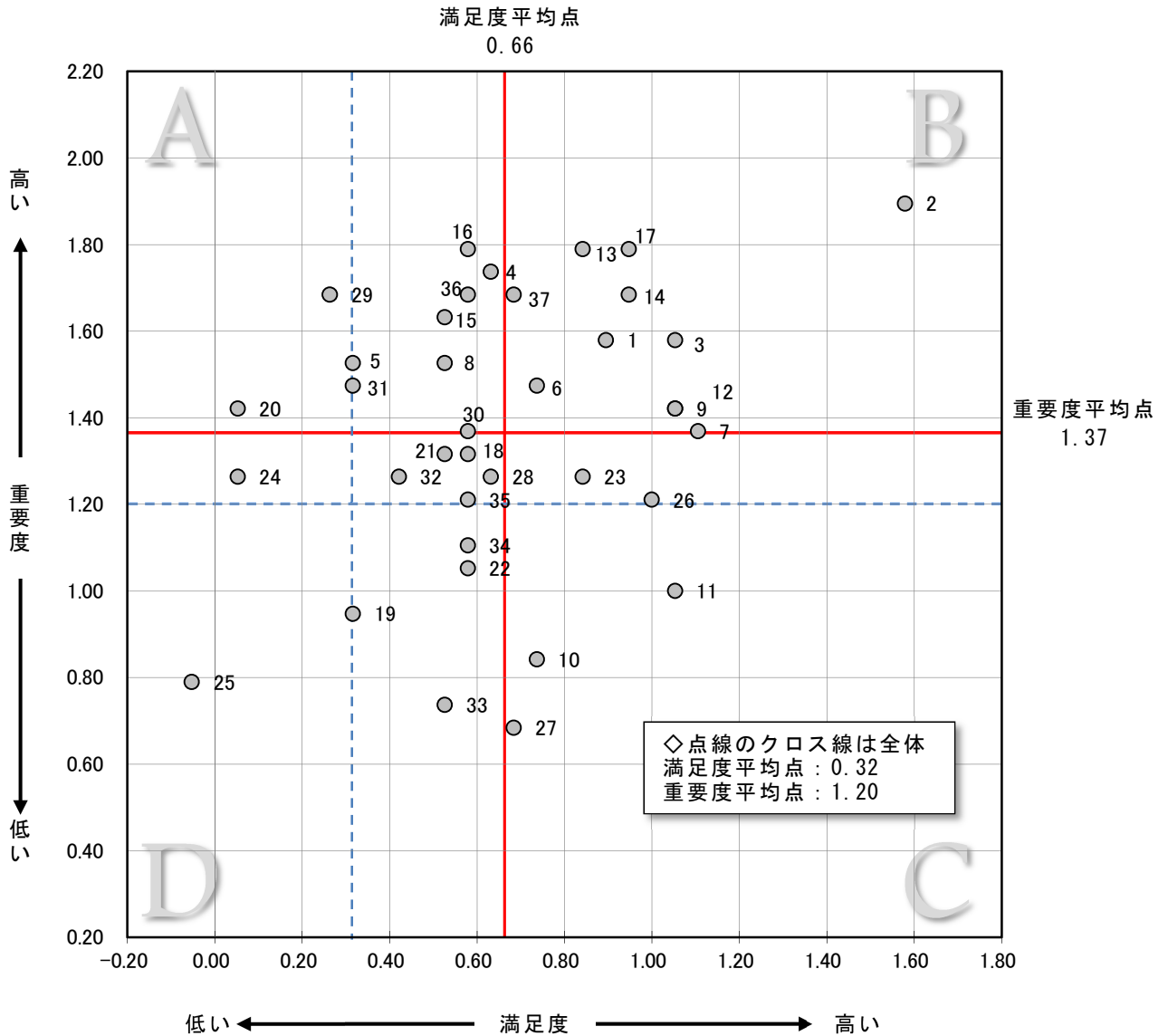
3	多様な連携による地域福祉の推進	A
6	子育て家庭への支援の充実	
15	被害を最小限に抑える減災対策の推進	
18	互いに尊重し合うまちづくりの推進	
26	生活環境美化の推進	
29	バリアフリー対策の推進	
36	健全で安定した財政運営	
2	安心できる地域医療体制の充実	B
4	高齢者の地域生活支援の充実	
5	障害者の地域生活支援の充実	
7	多様な働き方が選択できる保育の充実	
8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	
9	きめ細やかな教育の推進	
10	安全で快適な教育環境の整備	
13	みんなで取り組む地域防災力の強化	
14	いざという時の危機対応力の強化	
16	地域とともに取り組む防犯対策の推進	
17	迅速で適切な消防・救急体制の充実	
21	伊勢原ならではの観光魅力づくり	

1	自ら取り組む健康づくりの推進	C	
12	歴史・文化遺産の継承		
22	いせはらシティセールスの推進		
23	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出		
27	自然共生社会の構築		
28	低炭素・循環型社会の構築		
35	市民に身近な市役所づくり		
11	学習成果を生かせる生涯学習の推進		D
19	地域を支える商業・工業の振興		
20	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進		
24	交流がひろがる拠点の形成		
25	地域の個性あふれるまちづくりの推進		
30	移動しやすい交通対策の推進		
31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進		
32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進		
33	市民や様々な団体との市民協働の推進		
34	多様なつながりで支える地域運営の推進		
37	市民に信頼される市政の推進		

3 大山地区

37本の施策について、大山地区の属する領域の項目は以下の通りである。

満足度の平均値は0.66、重要度の平均値は1.37（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.20）となっており、満足度の平均値以下、重要度の平均値以上のAの領域に該当する9施策が、優先的に取り組みを望む項目である。

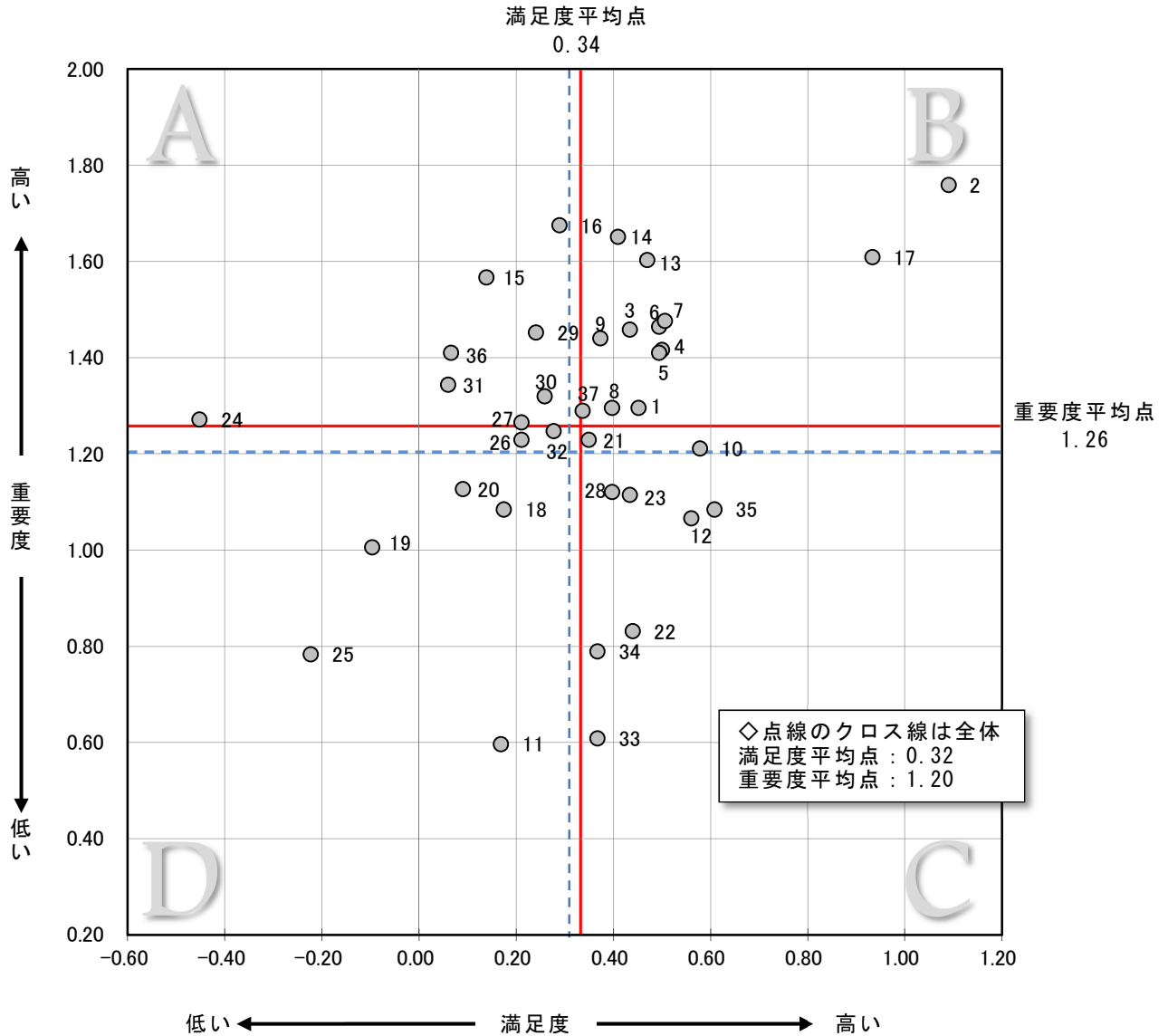


4	高齢者の地域生活支援の充実	A	7	多様な働き方が選択できる保育の充実	C	
5	障害者の地域生活支援の充実		10	安全で快適な教育環境の整備		
8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進		11	学習成果を生かせる生涯学習の推進		
15	被害を最小限に抑える減災対策の推進		23	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出		
16	地域とともに取り組む防犯対策の推進		26	生活環境美化の推進		
20	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進		27	自然共生社会の構築		
29	バリアフリー対策の推進		18	互いに尊重し合うまちづくりの推進		D
31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進		19	地域を支える商業・工業の振興		
36	健全で安定した財政運営		21	伊勢原ならではの観光魅力づくり		
1	自ら取り組む健康づくりの推進	22	いせはらシティセールスの推進			
2	安心できる地域医療体制の充実	24	交流がひろがる拠点の形成			
3	多様な連携による地域福祉の推進	25	地域の個性あふれるまちづくりの推進			
6	子育て家庭への支援の充実	28	低炭素・循環型社会の構築			
9	きめ細やかな教育の推進	30	移動しやすい交通対策の推進			
12	歴史・文化遺産の継承	32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進			
13	みんなで取り組む地域防災力の強化	33	市民や様々な団体との市民協働の推進			
14	いざという時の危機対応力の強化	34	多様なつながりで支える地域運営の推進			
17	迅速で適切な消防・救急体制の充実	35	市民に身近な市役所づくり			
37	市民に信頼される市政の推進					

4 高部屋地区

37本の施策について、高部屋地区の属する領域の項目は以下の通りである。

満足度の平均値は0.34、重要度の平均値は1.26（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.20）となっており、満足度の平均値以下、重要度の平均値以上のAの領域に該当する8施策が、優先的に取り組みを望む項目である。

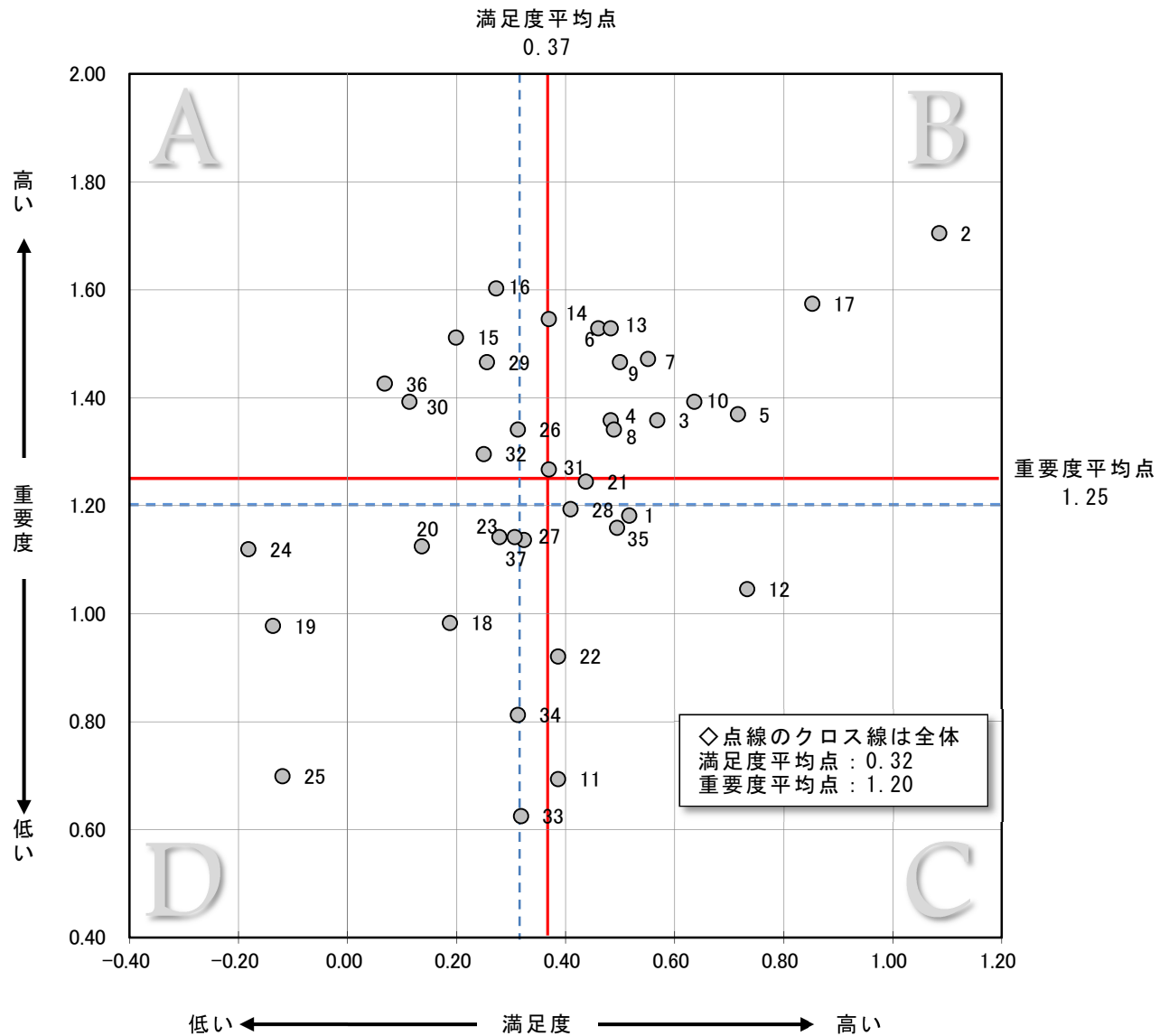


15	被害を最小限に抑える減災対策の推進	A	10	安全で快適な教育環境の整備	C
16	地域とともに取り組む防災対策の推進		12	歴史・文化遺産の継承	
24	交流がひろがる拠点の形成		21	伊勢原ならではの観光魅力づくり	
27	自然共生社会の構築		22	いせはらシティセールスの推進	
29	バリアフリー対策の推進		23	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	
30	移動しやすい交通対策の推進		28	低炭素・循環型社会の構築	
31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進		33	市民や様々な団体との市民協働の推進	
36	健全で安定した財政運営		34	多様なつながりで支える地域運営の推進	
1	自ら取り組む健康づくりの推進	B	35	市民に身近な市役所づくり	D
2	安心できる地域医療体制の充実		11	学習成果を生かせる生涯学習の推進	
3	多様な連携による地域福祉の推進		18	互いに尊重し合うまちづくりの推進	
4	高齢者の地域生活支援の充実		19	地域を支える商業・工業の振興	
5	障害者の地域生活支援の充実		20	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
6	子育て家庭への支援の充実		25	地域の個性あふれるまちづくりの推進	
7	多様な働き方が選択できる保育の充実		26	生活環境美化の推進	
8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進		32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
9	きめ細やかな教育の推進				
13	みんなで取り組む地域防災力の強化				
14	いざという時の危機対応力の強化				
17	迅速で適切な消防・救急体制の充実				
37	市民に信頼される市政の推進				

5 比々多地区

37本の施策について、比々多地区の属する領域の項目は以下の通りである。

満足度の平均値は0.37、重要度の平均値は1.25（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.20）となっており、満足度の平均値以下、重要度の平均値以上のAの領域に該当する9施策が、優先的に取り組みを望む項目である。



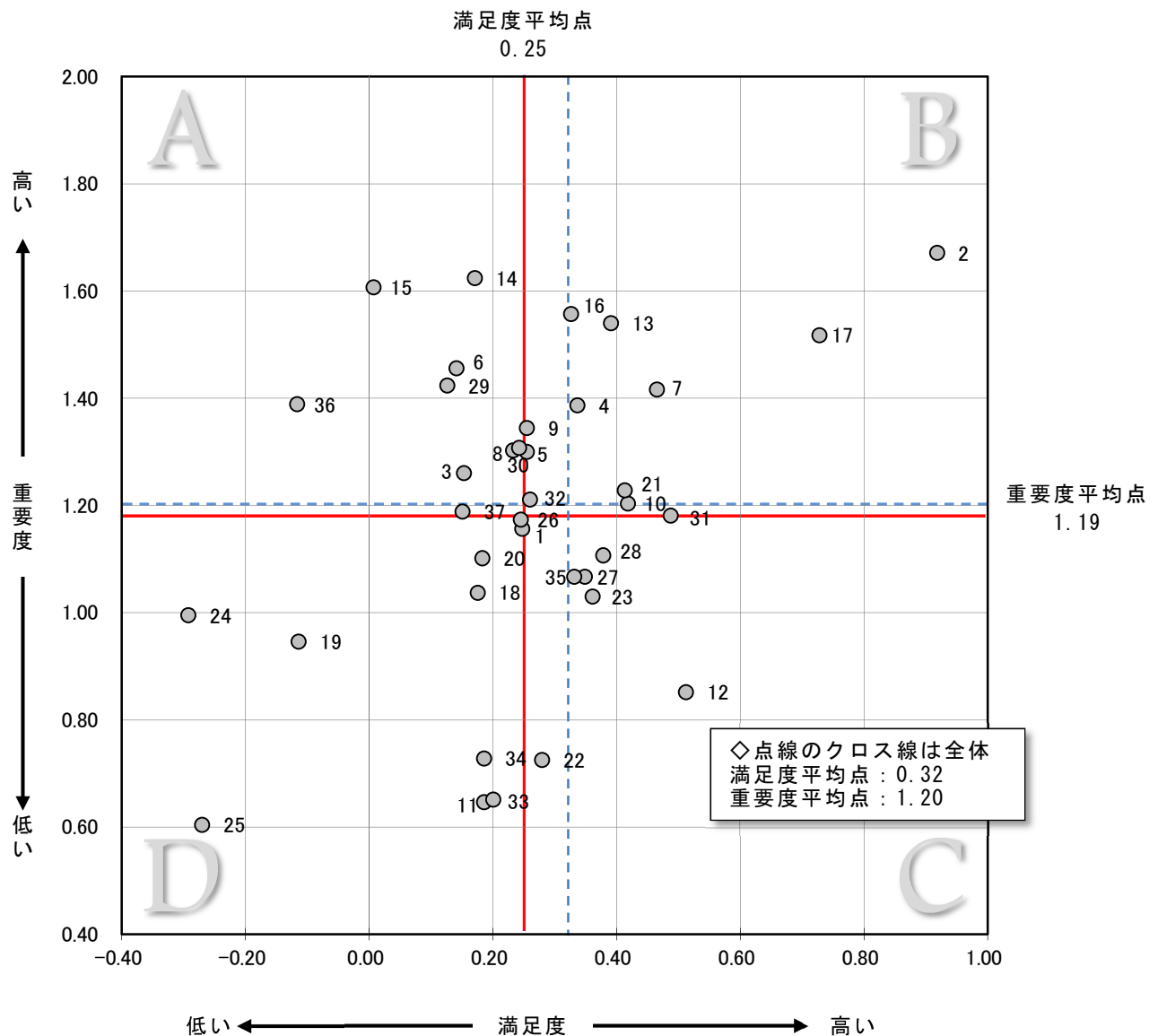
14	いざという時の危機対応力の強化	A
15	被害を最小限に抑える減災対策の推進	
16	地域とともに取り組む防犯対策の推進	
26	生活環境美化の推進	
29	バリアフリー対策の推進	
30	移動しやすい交通対策の推進	
31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進	
32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
36	健全で安定した財政運営	
2	安心できる地域医療体制の充実	B
3	多様な連携による地域福祉の推進	
4	高齢者の地域生活支援の充実	
5	障害者の地域生活支援の充実	
6	子育て家庭への支援の充実	
7	多様な働き方が選択できる保育の充実	
8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	
9	きめ細やかな教育の推進	
10	安全で快適な教育環境の整備	
13	みんなで取り組む地域防災力の強化	
17	迅速で適切な消防・救急体制の充実	

1	自ら取り組む健康づくりの推進	C
11	学習成果を生かせる生涯学習の推進	
12	歴史・文化遺産の継承	
21	伊勢原ならではの観光魅力づくり	
22	いせはらシティセールスの推進	
28	低炭素・循環型社会の構築	
35	市民に身近な市役所づくり	
18	互いに尊重し合うまちづくりの推進	D
19	地域を支える商業・工業の振興	
20	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
23	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	
24	交流がひろがる拠点の形成	
25	地域の個性あふれるまちづくりの推進	
27	自然共生社会の構築	
33	市民や様々な団体との市民協働の推進	
34	多様なつながりで支える地域運営の推進	
37	市民に信頼される市政の推進	

6 成瀬地区

37本の施策について、成瀬地区の属する領域の項目は以下の通りである。

満足度の平均値は0.25、重要度の平均値は1.19（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.20）となっており、満足度の平均値以下、重要度の平均値以上のAの領域に該当する8施策が、優先的に取り組みを望む項目である。

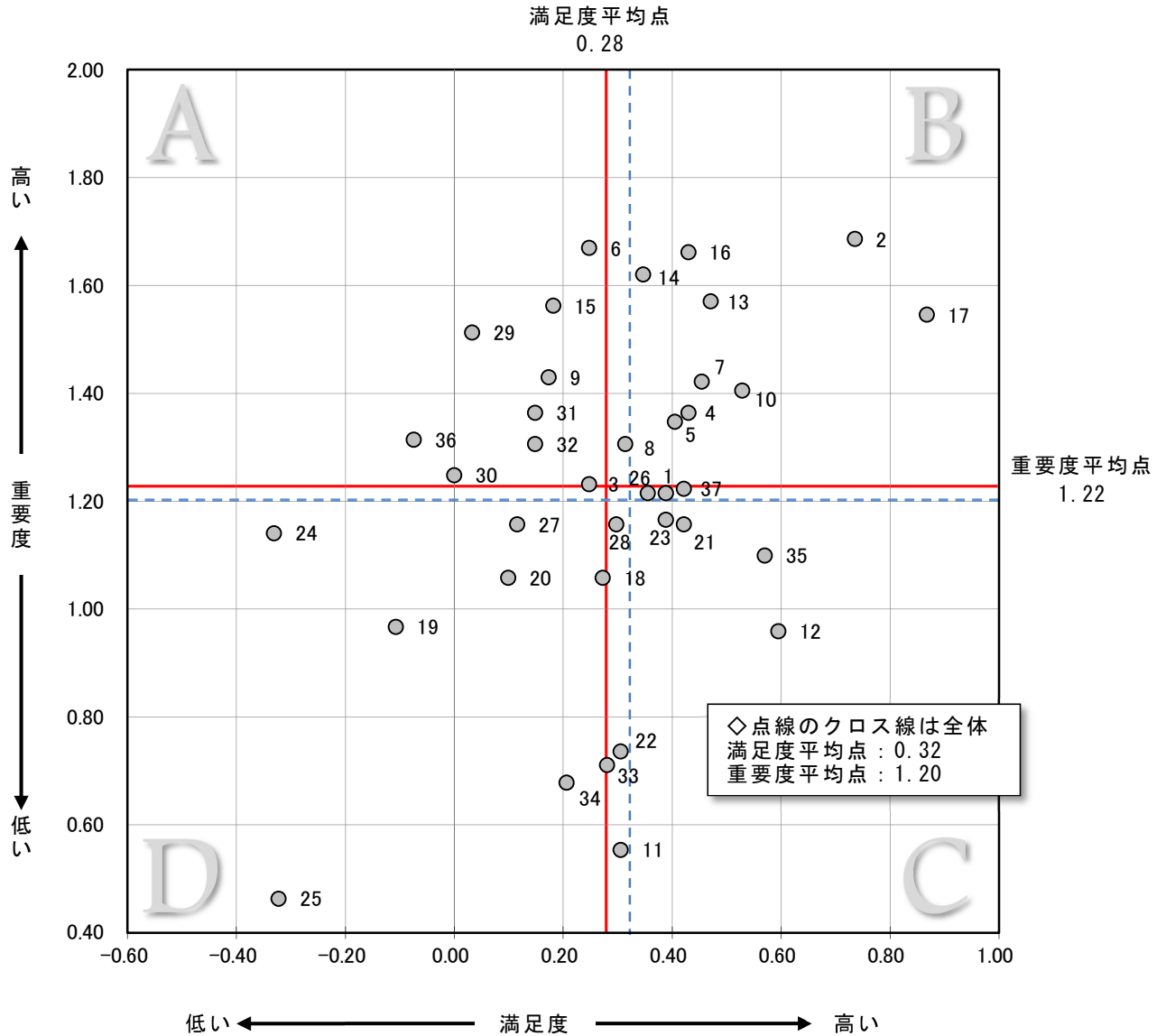


3	多様な連携による地域福祉の推進	A	12	歴史・文化遺産の継承	C
6	子育て家庭への支援の充実		22	いせはらシティセールスの推進	
8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進		23	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	
14	いざという時の危機対応力の強化		27	自然共生社会の構築	
15	被害を最小限に抑える減災対策の推進		28	低炭素・循環型社会の構築	
29	バリアフリー対策の推進		31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進	
30	移動しやすい交通対策の推進		35	市民に身近な市役所づくり	
36	健全で安定した財政運営		1	自ら取り組む健康づくりの推進	
2	安心できる地域医療体制の充実	11	学習成果を生かせる生涯学習の推進		
4	高齢者の地域生活支援の充実	18	互いに尊重し合うまちづくりの推進		
5	障害者の地域生活支援の充実	19	地域を支える商業・工業の振興		
7	多様な働き方が選択できる保育の充実	20	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進		
9	きめ細やかな教育の推進	24	交流がひろがる拠点の形成		
10	安全で快適な教育環境の整備	25	地域の個性あふれるまちづくりの推進		
13	みんなで取り組む地域防災力の強化	26	生活環境美化の推進		
16	地域とともに取り組む防犯対策の推進	33	市民や様々な団体との市民協働の推進		
17	迅速で適切な消防・救急体制の充実	34	多様なつながりで支える地域運営の推進		
21	伊勢原ならではの観光魅力づくり	37	市民に信頼される市政の推進		
32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進				

7 大田地区

37本の施策について、大田地区の属する領域の項目は以下の通りである。

満足度の平均値は0.28、重要度の平均値は1.22（全市平均値は、満足度0.32、重要度1.20）となっており、満足度の平均値以下、重要度の平均値以上のAの領域に該当する9施策が、優先的に取り組みを望む項目である。



3	多様な連携による地域福祉の推進	A
6	子育て家庭への支援の充実	
9	きめ細やかな教育の推進	
15	被害を最小限に抑える減災対策の推進	
29	バリアフリー対策の推進	
30	移動しやすい交通対策の推進	
31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進	
32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
36	健全で安定した財政運営	
2	安心できる地域医療体制の充実	B
4	高齢者の地域生活支援の充実	
5	障害者の地域生活支援の充実	
7	多様な働き方が選択できる保育の充実	
8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	
10	安全で快適な教育環境の整備	
13	みんなで取り組む地域防災力の強化	
14	いざという時の危機対応力の強化	
16	地域とともに取り組む防犯対策の推進	
17	迅速で適切な消防・救急体制の充実	

1	自ら取り組む健康づくりの推進	C
11	学習成果を生かせる生涯学習の推進	
12	歴史・文化遺産の継承	
21	伊勢原ならではの観光魅力づくり	
22	いせはらシティセールスの推進	
23	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	
26	生活環境美化の推進	
28	低炭素・循環型社会の構築	
33	市民や様々な団体との市民協働の推進	
35	市民に身近な市役所づくり	D
37	市民に信頼される市政の推進	
18	互いに尊重し合うまちづくりの推進	
19	地域を支える商業・工業の振興	
20	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
24	交流がひろがる拠点の形成	
25	地域の個性あふれるまちづくりの推進	
27	自然共生社会の構築	
34	多様なつながりで支える地域運営の推進	

第5章 調査結果のまとめ

調査結果のまとめ

(1) 回答者の属性

□世帯の状況

回答者の世帯の状況は、「単身（一人世帯）」が10.1%、「夫婦のみ」が27.0%、「親と子（二世帯世帯）」が49.4%、「親と子と孫（三世帯世帯）」が9.9%、その他が2.2%、無回答が1.3%となっている。

平成21年度に実施した市民意識調査における回答者の世帯状況と比較すると、全体の構成比率では大きな違いはみられないが、「単身（一人世帯）」、「夫婦のみ」の世帯が微増、「親と子と孫（三世帯世帯）」、「その他」の世帯が微減となっている。

□居住状況

回答者の居住年数では、21年以上の「長期」が65.6%、6年以上20年以下の「中期」が22.5%、1年以上5年以下の「短期」が9.0%である。

平成21年度に実施した市民意識調査における回答者の居住状況と比較すると、「長期」が微増、「中期」、「短期」が微減となっている。

(2) 伊勢原市のまちづくりについて[37本の施策]

□伊勢原市のまちづくりについて[37本の施策]

現状の満足度について最も評価点が高かった項目は、「安心できる地域医療体制の充実」で、「迅速で適切な消防・救急体制の充実」、「歴史・文化遺産の継承」、「多様な働き方が選択できる保育の充実」、「安全で快適な教育環境の整備」が続いている。

今後の重要度について最も評価点が高かった項目は、「安心できる地域医療体制の充実」で、「地域とともに取り組む防犯対策の推進」、「いざという時の危機対応力の強化」、「被害を最小限に抑える減災対策の推進」、「みんなで取り組む地域防災力の強化」、「迅速で適切な消防・救急体制の充実」が続いている。

一方、評価点が最も低かった項目は、現状の満足度では、「交流がひろがる拠点の形成」で、「地域の個性あふれるまちづくりの推進」、「地域を支える商業・工業の振興」が続いている。今後の重要度で最も評価点が低かった項目は、「市民や様々な団体との市民協働の推進」で、「学習成果を生かせる生涯学習の推進」、「地域の個性あふれるまちづくりの推進」、「多様なつながりで支える地域運営の推進」が続いている。

□居住地域別、年齢別では

現状の満足度で全体1位の「安心できる地域医療体制の充実」は居住地域別でもすべての地区からあげられ、2位の「迅速で適切な消防・救急体制の充実」と3位の「歴史・文化遺産の継承」も6地区で上位に位置した。

伊勢原北地区では「伊勢原ならではの観光魅力づくり」が、伊勢原南地区では「いせはらシティセールス」と「伊勢原ならではの観光魅力づくり」が、大山地区では「多様な連携による地域福祉の推進」、「学習成果を生かせる生涯学習の推進」が、比々多地区では

「障害者の地域生活支援の充実」が、成瀬地区では「都市の機能を高める基盤施設整備の推進」が他の地区とは異なる満足項目として上位に位置した。

年齢別では、18～29歳と30～39歳で「高齢者の地域生活支援の充実」が、30～39歳では「みんなで取り組む地域防災力の強化」が、60～69歳では「子育て家庭への支援の充実」が他の年齢層とは異なる満足項目として上位に位置した。

今後の重要度で全体1位の「安心できる地域医療体制の充実」と5位の「みんなで取り組む地域防災力の強化」はすべての地区からあげられ、2位の「地域とともに取り組む防犯対策の推進」と3位の「いざという時の危機対応力の強化」も6地区で上位に位置した。大山地区では「高齢者の地域生活支援の充実」が、比々多地区と大田地区では「子育て家庭への支援の充実」が他の地区とは異なる重要項目としてあげられている。

年齢別では、18～29歳と30～39歳で「子育て家庭への支援の充実」が他の年齢層とは異なる重要項目として上位に位置した。

□満足度と重要度の相関に関して

項目ごとに相関図における領域の変化を一覧にまとめた。前計画の「いせはら21プラン後期基本計画」は施策の本数が75本に対して、現行の「第五次総合計画」では37本にまとめている。

【ニーズ充足領域に関して前回調査から変化した項目】

比較可能な項目では「障害者の地域生活支援の充実」、「多様な働き方が選択できる保育の充実」、「伊勢原ならではの観光魅力づくり」は前回調査からニーズ充足領域（B）に変化した項目である。

一方、「多様な連携による地域福祉の推進」、「低炭素・循環型社会の構築」は前回調査のニーズ充足領域（B）から他の領域に変化した項目である。また、参考程度となるが、「自ら取り組む健康づくりの推進」は前回調査の4項目が該当し、うち3項目がニーズ充足領域（B）であったが、今回調査では現状維持領域（C）に、「子育て家庭への支援の充実」は前回調査の4項目が該当し、うち3項目がニーズ充足領域（B）であったが、今回調査では優先的課題領域（A）に変化した。

ニーズ充足領域（B）に関連しない項目では、「交流がひろがる拠点の形成」、「公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進」は前回調査の優先的課題領域（A）から選択的課題領域（D）に、「互いに尊重し合うまちづくりの推進」、「多様なつながりで支える地域運営の推進」は前回調査の現状維持領域（C）から選択的課題領域（D）に変化した項目である。

一方、「地域特性を生かした新たな産業基盤の創出」は前回調査の選択的課題領域（D）から現状維持領域（C）に変化した。

領域A：重要度が高く満足度が低い（優先的課題領域）

領域B：重要度、満足度ともに高い（ニーズ充足領域）

領域C：重要度が低く満足度が高い（現状維持領域）

領域D：重要度、満足度ともに低い（選択的課題領域）

※平成27年度調査欄で太字になっている項目は、直接的な比較が可能な項目（1項目に対して1項目、あるいは項目数は異なるが前回の領域がD/D/Dのように同じもの）で変化があったもの

「第5次総合計画前期基本計画」と「いせはら21プラン後期基本計画」の関連施策一覧

◇平成27年度調査

◇平成21年度調査

第5次総合計画前期基本計画(施策37本)			
	領域	平満均足点度	平重要点度
暮らし力(誰もが明るく暮らせるまち)			
健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			
生涯にわたって健康にらせるまちをつくる			
01 自ら取り組む健康づくりの推進	C	0.39	1.17
02 安心できる地域医療体制の充実	B	0.96	1.67
みんなで支え合う福祉のまちをつくる			
03 多様な連携による地域福祉の推進	A	0.32	1.29
04 高齢者の地域生活支援の充実	B	0.41	1.36
05 障害者の地域生活支援の充実	B	0.45	1.33
子どもの成長をみんなで見守るまちづくり			
子どもを産み育てやすいまちをつくる			
06 子育て家庭への支援の充実	A	0.31	1.48
07 多様な働き方が選択できる保育の充実	B	0.52	1.42
子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる			
08 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進	B	0.37	1.31
人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり			
子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる			
09 きめ細やかな教育の推進	B	0.36	1.37
10 安全で快適な教育環境の整備	B	0.52	1.25
いつまでも学び生きがいもてるまちをつくる			
11 学習成果を生かせる生涯学習の推進	D	0.29	0.65
12 歴史・文化遺産の継承	C	0.58	0.93

安心力(地域で助け合う安全で安心なまち)			
	領域	平満均足点度	平重要点度
災害に強い安全なまちづくり			
災害から市民のいのちを守るまちをつくる			
13 みんなで取り組む地域防災力の強化	B	0.44	1.57
14 いざという時の危機対応力の強化	B	0.33	1.60
15 被害を最小限に抑える減災対策の推進	A	0.12	1.58
暮らしの安心がひろがるまちづくり			
暮らしの安全を守るまちをつくる			
16 地域とともに取り組む防犯対策の推進	B	0.35	1.61
17 迅速で適切な消防・救急体制の充実	B	0.80	1.54
一人ひとりが大切にされるまちをつくる			
18 互いに尊重し合うまちづくりの推進	D	0.22	1.07

いせはら21プラン後期基本計画(優先施策75本)			
	領域	平満均足点度	平重要点度
111 生涯にわたる健康づくりの推進	B	0.28	1.20
112 疾病・予防対策の推進	B	0.20	1.34
113 地域における健康づくり活動への支援	C	0.18	0.92
115 医療保険制度改革への対応	B	0.15	1.68
116 地域保健医療体制の充実	B	0.20	1.50
311 救急医療体制の充実	B	0.26	1.72
121 地域福祉の推進	B	0.21	1.45
114 生きがいづくりの支援	B	0.09	1.30
122 介護保険サービスの充実	A	-0.14	1.58
123 介護予防活動の推進	B	0.12	1.47
211 生涯現役・地域社会参加の推進*	D	0.03	0.70
331	C	0.12	0.85
124 障害者の相談支援の充実	A	0.20	1.26
131 育児支援家庭訪問の充実	B	0.05	1.39
132 子どもの成長に応じた相談支援機能の充実	B	0.13	1.28
133 子育て交流・グループの育成	B	0.18	1.27
135 育児家庭の経済的支援・働きやすい環境整備	A	-0.19	1.39
134 保育環境・保育サービスの充実	A	-0.05	1.34
235 子どもの安全な遊び場づくり	A	-0.06	1.33
236 青少年の健全育成	B	0.15	1.18
231 子どもの学ぶ力を育む環境づくり	B	0.09	1.29
232 いじめや不登校のない学校づくり	A	0.06	1.48
233 安心・快適な学校施設への改善	B	0.10	1.36
234 学校における食育の推進	C	0.15	1.14
212 生涯学習活動の支援	D	0.03	0.70
213 スポーツ・レクリエーション活動の支援	D	-0.06	0.74
221 地域文化の継承・振興	C	0.35	0.88
222 歴史・文化遺産の活用と魅力発信	D	0.07	0.51
223 大山阿夫利文化の再発見	C	0.40	0.77
321 地震などの防災対策の強化	B	0.18	1.64
323 防災公園・緑地の確保	B	0.15	1.41
322 公共建築物の耐震化の推進	A	-0.00	1.60
324 風水害対策の推進	B	0.09	1.49
313 地域ぐるみの防犯体制づくり	B	0.45	1.53
312 消防施設・資器材の整備	B	0.64	1.47
315 人権と平和を尊重するまちづくり	C	0.25	1.07

◇平成27年度調査

第5次総合計画前期基本計画(施策37本)			
	領域	平満均足点度	平重均要点度
活力(個性豊かで活力あるまち)			
産業の活力があふれる元気なまちづくり			
地域の産業が盛んなまちをつくる			
19 地域を支える商業・工業の振興	D	-0.10	0.95
20 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	D	0.21	1.07
多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる			
21 伊勢原ならではの観光魅力づくり	B	0.48	1.23
22 いせはらシティセールスの推進	C	0.42	0.78
都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり			
都市の骨格を支えるまちをつくる			
23 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出	C	0.37	1.05
24 交流がひろがる拠点の形成	D	-0.31	1.12

都市力(住み続けたい快適で魅力あるまち)			
自然と調和した住みよいまちづくり			
愛着のある美しいまちをつくる			
25 地域の個性あふれるまちづくりの推進	D	-0.20	0.65
26 生活環境美化の推進	A	0.29	1.23
みんなの努力で環境にやさしいまちをつくる			
27 自然共生社会の構築	C	0.34	1.11
28 低炭素・循環型社会の構築	C	0.38	1.09
快適で暮らしやすいまちづくり			
安全で円滑な移動ができるまちをつくる			
29 バリアフリー対策の推進	A	0.17	1.44
30 移動しやすい交通対策の推進	A	0.21	1.26
便利で機能的なまちをつくる			
31 都市の機能を高める基盤施設整備の推進	A	0.32	1.20
32 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	D	0.24	1.19

自治力(みんなで考え行動するまち)			
市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり			
地域の力が発揮できるまちをつくる			
33 市民や様々な団体との市民協働の推進	D	0.26	0.62
34 多様なつながりで支える地域運営の推進	D	0.26	0.69
35 市民に身近な市役所づくり	C	0.44	1.04
次代へつながる確かな行政運営ができるまちをつくる			
36 健全で安定した財政運営	A	0.03	1.36
37 市民に信頼される市政の推進	D	0.27	1.16

◇平成21年度調査

いせはら21プラン後期基本計画(優先施策75本)			
	領域	平満均足点度	平重均要点度
316 雇用環境の向上	A	-0.25	1.42
411 賑わいある商業地の形成	D	-0.50	1.01
413 技術開発・起業の支援	D	-0.06	0.65
423 地産地消の推進・地場製品のPR	C	0.32	1.16
424 農業生産基盤の整備	D	0.05	0.98
425 やまの保全と林業基盤の整備	C	0.09	1.13
622 暮らしを彩る"森"や"農"の保全	C	0.14	1.04
421 「伊勢原ならではの」の魅力創出	D	-0.14	1.08
422 観光施設の整備	D	0.00	1.07
412 産業集積の新たな展開	D	-0.19	0.75
511 山麓みらい広域交流拠点の形成	D	-0.25	0.78
512 伊勢原駅周辺のまちづくりの推進	A	0.06	1.25

513 愛甲石田駅周辺のまちづくりの推進	C	0.10	0.80
621 計画的な土地利用の推進	D	0.02	0.90
614 清潔で美しい生活空間づくり	A	0.02	1.37
611 環境にやさしいライフスタイルの構築	A	-0.02	1.18
613 生活環境対策の推進	B	0.13	1.34
623 水と花と緑のふさとづくり	C	0.13	1.12
612 温暖化防止対策の推進	B	-0.13	1.25
615 ごみ減量化・リサイクルの推進	B	0.32	1.40

714 バリアフリーのまちづくり	A	-0.07	1.34
314 交通安全・放置自転車対策の推進	A	0.02	1.59
713 鉄道輸送・バス交通対策	D	-0.03	1.16
711 地域をつなぐ幹線道路づくり	C	0.09	0.92
712 生活道路の改善	A	-0.38	1.33
715 生活排水の適正処理の推進	B	0.08	1.45
716 下水処理場の処理機能拡充と周辺環境対策	B	0.40	1.21
834 施設の再生と修復期への着実な移行	A	0.08	1.24

332 市民活動の輪を拡げるための環境づくり	C	0.11	0.57
821 市民参加の拡大	D	0.05	0.89
822 市民協働の推進	D	-0.01	0.67
333 身近なコミュニティ活動の拠点づくり	C	0.22	0.64
811 広報活動の強化	C	0.33	1.09
812 広聴活動の拡充	D	0.00	0.87
813 アカウンタビリティの向上	C	0.08	0.99
833 電子市役所の構築	C	0.08	1.07
832 健全な財政運営の確保	A	-0.37	1.59
831 行財政改革の推進	A	-0.28	1.31
835 広域行政の推進	B	0.28	1.41

(3) 市民意識調査結果の考察

今回の市民意識調査の結果のうち、現状の満足度が高かった施策と低かった施策を中心に推察される市民の評価と、今後の施策展開に向けての考察をまとめる。

□ 暮らし力 — 誰もが明るく暮らせるまち

施策「2 安心できる地域医療の充実」は、37本の施策中で満足度、重要度ともに最も高い結果となり、前回調査との比較では、満足度が大幅に向上していることから市民の医療ニーズを市域内で満たすことができる医療環境に恵まれていること、更には、伊勢原協同病院の移転新築支援の取組等が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「4 高齢者の地域生活支援の充実」、「5 障害者の地域生活支援の充実」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、少子高齢社会に対応した様々な福祉サービスの充実が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「7 多様な働き方が選択できる保育の充実」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、病児・病後児保育等の保育サービスの充実や、子ども・子育て支援の取組が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「10 安全で快適な教育環境の整備」は満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、計画的な施設改修等が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「12 歴史・文化遺産の継承」の重要度は平均値より低かったが、満足度は平均値より高くなっており、本市の歴史や文化財を次代に伝え残していく取組等が一定の評価を受けていることが推察される。

その一方で、施策「6 子育て家庭への支援の充実」の重要度は平均値より高かったが、満足度は平均値より低くなっており、子どもを産み育てやすい環境のまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

救急体制、医療機関は素晴らしいと感じている。
高齢者の知識経験を社会に活かす仕組みが必要と考える。
児童コミュニティクラブの対象学年が引き上げられたことは、評価できる。
病児保育機関があるのはとても心強く、良いと思う。病児保育の受入人数を増やして欲しい。
子育て支援が他の市町村に比べて遅れていると感じる。(例えば小児医療費など)

□ 安心力 — 地域で助け合う安全で安心なまち

施策「13 みんなで取り組む地域防災力の強化」、施策「17 迅速で適切な消防・救急体制の充実」が、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果となっており、大規模地震や集中豪雨など、市民の生命や生活に影響する大規模な自然災害に対する不安感の表れと、本

市の防災教育や防災訓練等による地域の防災力の強化や、消防・救急体制の充実・強化の取組が一定の評価を受けていることが推察される。

その一方で、施策「15 被害を最小限に抑える減災対策の推進」は重要度が平均値よりも高いが、満足度は平均値よりも低い結果となった。更なるライフラインの計画的な耐震化や、土砂災害・浸水対策を推進するなど、自然災害による被害が最小限に抑えられるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

防犯パトロールには感謝している。
防犯灯が少ない。街灯を明るくすべき。
防災対策は市だけでは限界がある。各自による食料確保等の必要性を市民にきちんと伝達していくことが大切だと思う。
川沿いに住んでいるが、台風または大雨の際には川の水が増し、度々不安でならない。

□ 活力 — 個性豊かで活力あるまち

施策「21 伊勢原ならではの観光魅力づくり」は、満足度、重要度ともに平均値よりも高い結果であり、前回調査と比較すると満足度、重要度ともに高くなっている。ここからは、歴史的観光地「大山」の地域ならではの魅力等を活用した「平成大山講プロジェクト」の推進による観光振興の取組が一定の評価を受けていることが推察される。

施策「22 いせはらシティセールスの推進」については、重要度は平均値よりも低かったが、満足度は平均値よりも高い結果となった。ここからは、市の公式イメージキャラクター「クルリン」の導入、イベントへの積極的な参加等によるシティプロモーションの取組が一定評価を受けていることが推察される。

その一方で、施策「19 地域を支える商業・工業の振興」、「24 交流がひろがる拠点の形成」は、満足度、重要度ともに平均値よりも低い結果となっている。また、施策「24 交流がひろがる拠点の形成」は前回調査との比較でも満足度が低下していることから、本市の中心拠点である伊勢原駅周辺地区については、商業の集積や交通の結節点として、市内外から多くの人が集う玄関口にふさわしい、賑わいのある拠点の形成を図る等、魅力あるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

伊勢原の大山は市民の誇りであり、観光を含め大いに発展して行ってほしい。
大山、日向薬師、伊勢原北インターと推し進め、更なる活性化を望む。
伊勢原市に海はないが山があり、梨やぶどうを中心に果物もおいしい。さらに盛り上げて、「住みやすい」、「外の人に来てみたい」という観光市になってほしい。
伊勢原市もイメージキャラクター「クルリン」が市のPRとして活躍し始め、喜ばしい事だと思う。

伊勢原の中心たる市街が眠っている。まるでシャッター通りのように感じるので、かつて大山参りで栄えたように活気を取り戻してほしい。

伊勢原駅前北口整備計画を早く推進してほしい。

□ 都市力 － 住み続けたい快適で魅力あるまち

施策「25 地域の個性あふれるまちづくりの推進」が、満足度、重要度ともに平均値よりも低い結果となっている。本施策は、前回の調査からの経年変化を見ても他の施策と比べ相対的な重要度は低くなる傾向にあるが、市民の満足度の向上を図るため、地域の特性や資源をまちづくりに生かすなど、地域への愛着を高め、誰もが住み続けたいと思えるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると思われる。

また、施策「29 バリアフリー対策の推進」、施策「30 移動しやすい交通対策の推進」は、重要度は平均値よりも高かったが、満足度は平均値よりも低い結果となっており、超高齢社会の更なる進展等を見据え、安全で円滑に移動できるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

もっと「伊勢原らしさ」のある「まちづくり」をすべき。

伊勢原のシンボルである大山を大切に景観を壊さないやり方で街づくりを進めてほしい。
--

通学路を整備してほしい。

本市も高齢化社会の到来に対してバリアフリーの推進を考慮すべき。

□ 自治力 － みんなで考え行動するまち

施策「35 市民に身近な市役所づくり」は、重要度は平均値よりも低かったが、満足度は平均値よりも高い結果となっており、本市の市政に関する情報の共有化や透明性の高い市役所づくり等の取組が一定の評価を受けていると推察される。

その一方で、施策「36 健全で安定した財政運営」は、満足度、重要度ともに平均値よりも低い結果となっており、社会環境や市民ニーズの変化などに柔軟に対応した確かな行政運営ができるまちをつくるための施策、取組の充実や見直しが求められていると推察される。

※ 参考：自由意見 一部抜粋

以前に比べて市政、まちづくりについて良くなっていると感じるが、財政運営をより効率的にバランス良くすべき。
--

限られた財政状況の中で本当に必要なところには十分に配分し、無駄な物をできる限り洗い出し、メリハリのある使い方をすべき。

少子高齢、人口減少社会が進展する中、「自助・共助・公助」の自治意識が重要だと思う。

第 6 章 自由意見

自由意見

(1) 自由意見

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

①意見総数

今後のまちづくりや市政について、意見を自由に記述していただいたところ、全体で1,059件の自由意見が寄せられた。但し、1人で2つ以上の分野にわたって回答している場合はそれぞれをカウントするため、件数は延べ件数となる。

まちづくり目標	基本政策	件数
暮らし力	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	106
	子どもの成長をみんなで見守るまちづくり	160
	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	27
安心力	災害に強いまちづくり	23
	暮らしの安心がひろがるまちづくり	38
活力	産業の活力があふれる元気なまちづくり	174
	都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり	109
都市力	自然と調和した住みよいまちづくり	70
	快適で暮らしやすいまちづくり	159
自治力	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	165
その他		28
合計		1,059

まちづくり目標別自由意見の概要

基本政策ごとの自由意見について、関連する意見を項目ごとに分類し概要としてまとめた。

◆暮らし力

①健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

【健康・医療】	26
・医療機関、医療体制に関する意見	14
・医療費や保険料に関する意見	5
・健（検）診に関する意見	4
・その他（花粉、薬の服用に関する意見）	3
【高齢者・介護】	41
・高齢者施策・介護サービスの充実などに関する意見	16
・就労や活動などの支援に関する意見	13
・交流や高齢者施設などに関する意見	7
・その他（わかりやすい情報提供、高齢生活の不安、認知症予防など）	5

第6章 自由意見

【障害者】	9
・ 障害者施策の充実に関する意見	4
・ 障害者の認知、理解の促進	2
・ その他（就労、障害者医療費無料、いじめに関する意見）	3
【基本政策全般、その他】	30
・ 高齢者や障害者が住みやすいまちづくりに関する意見	9
・ 生活保護受給費などの見直しに関する意見	7
・ 福祉施策全般の充実に関する意見	6
・ ひとり親世帯への支援の充実に関する意見	2
・ その他（福祉施設マップの提供、福祉従事者の支援、歩けるを中心としたまちづくり、社会福祉協議会の位置付け、自立支援、介護クライシスの対応など）	6

②子どもの成長をみんなで見守るまちづくり

【保育・子育て】	82
・ 小児医療費、予防接種費用に関する意見	36
・ 子育て支援施策・施設に関する意見	21
・ 保育所・園の充実、待機児童解消に関する意見	12
・ 病児保育に関する意見	3
・ 子育てしながら就労できる環境づくりの整備	2
・ その他（児童虐待の把握、不妊治療費助成、講習、幼稚園費補助、子どもの貧困など）	8
【学校・教育】	44
・ 学校給食のへの意見	13
・ 環境整備、安全強化に関する意見	8
・ 教育格差の是正等、教育に力を入れることに関する意見	6
・ 通学路の安全確保に関する意見	6
・ 児童コミュニティクラブ、学童保育に関する意見	3
・ その他（小中学校区を起点とした世代間交流、いじめ撲滅活動情報、学校区変更、支援学級、生活指導など）	8
【基本政策全般・その他】	34
・ 子どもを生き育てたいと思う施策・まちづくりに関する意見	27
・ 児童関連施設（遊び場等）に関する意見	6
・ ひきこもりの対策	1

③人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり

【生涯学習】	17
・運動関連施設に関する意見	7
・スポーツ・レクリエーション活動の支援に関する意見	5
・市民の学習環境に関する意見	2
・生涯学習センター等に関する意見	2
・子どもから大人までを見据えた教育の徹底	1
【歴史・文化】	5
・文化事業に関する意見	4
・市の文化財の保護に関する意見	1
【基本政策全般】	5
・情報発信に関する意見	5

◆安心力

④災害に強い安全なまちづくり

【防災】	23
・防災用行政無線、情報提供に関する意見	8
・河川氾濫、大雨浸水等、水害対策に関する意見	7
・防災意識の啓発に関する意見	3
・避難時に関する意見	2
・減災に関する意見	2
・ハザードマップの市民への提供	1

⑤暮らしの安心がひろがるまちづくり

【防犯、救急】	38
・防犯灯、街灯、防犯カメラに関する意見	22
・空き家、空きビル対策に関する意見	9
・防犯対策や防犯パトロールに関する意見	3
・警察署に関する意見	2
・その他（救急車適正利用、安全安心に暮らせるように）	2

◆活力

⑥産業の活力があふれる元気なまちづくり

【商業・工業の推進】	46
・賑わいのある商業地の形成に関する意見	12
・大型ショッピングモールや娯楽施設がほしい	9
・道の駅の設置に関する意見	5
・空き店舗、シャッター通りの活用	4
・伊勢原インター付近の開発	3
・調整区域に関する意見	3
・産業を盛んにすることに関する意見	3
・地域振興券に関する意見	2
・周辺自治体との連携した施策に関する意見	2
・その他（工業団地の活性化、商業従事者への接遇研修支援、さがみロボット産業特区に関する意見）	3
【雇用環境】	15
・企業誘致に関する意見	10
・就労支援に関する意見	5
【観光】	100
・大山、日向薬師への観光客等の受け入れ態勢整備に関する意見	36
・伊勢原ならではの魅力創出に関する意見	19
・地域資源、観光のPRに関する意見	17
・温泉をつくることに関する意見	12
・新東名高速道発展に伴う観光客取り込み、付近の活性化に関する意見	7
・道灌まつり、花火大会に関する意見	6
・その他（効果測定、観光場所への不満、スポット回遊バスに関する意見）	3
【農業】	9
・地産地消の推進、地場産品に関する意見	4
・農業支援に関する意見	3
・TPPに関する意見	2
【基本政策全般・その他】	4
・新たな美味しい伊勢原名物の食文化をつくる	2
・その他（フリーマーケット、オフィス用高層マンションに関する意見）	2

⑦都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり

【交流拠点】	89
・伊勢原駅周辺の整備、活性化に関する意見	63
・伊勢原駅、ターミナルに関する意見	12
・東急ストア閉店後の活用に関する意見	9
・愛甲石田周辺、三ノ宮・栗原地区のまちづくりに関する意見	5
【基本政策全般】	20
・伊勢原市のイメージがアップするまちづくりに関する意見	13
・電線・電柱の地中化に関する意見	2
・市内の屋内、屋外のベンチ設置に関する意見	2
・まちづくりの情報提供に関する意見	3

◆都市力

⑧自然と調和した住みよいまちづくり

【生活環境、美化】	29
・ゴミ集積所、回収に関する意見	15
・自然環境を活かした景観づくりに関する意見	5
・高速道発展による公害、景観等に関する意見	4
・河川の美化、土手の整備に関する意見	2
・その他（鳥獣被害対策、高層マンション建設反対、ゴミ減量化に関する意見）	3
【住民の意識】	14
・路上喫煙、ポイ捨てに関する意見	4
・ゴミの不法投棄に関する意見	3
・ペット散歩のマナー啓発に関する意見	3
・その他（住民の美化意識が高い、野良猫、飼い犬の鳴き声、たき火に関する意見）	4
【土地利用、農地】	18
・市内の自然と調和したまちづくりに関する意見	14
・遊休・休耕農地の活用に関する意見	2
・その他（土地利用の検討、竹藪の整備等に関する意見）	2
【公園、緑地】	5
・街路樹の植樹に関する意見	2
・その他（空き地の緑地化、公園や校庭の芝生の自然化、公園の美化管理に関する意見）	3
【基本政策全般】	4
・自然環境の保存に関する意見	4

⑨快適で暮らしやすいまちづくり

【道路】	48
・道路整備、歩道整備、標識整備に関する意見	38
・渋滞の解消に関する意見	9
・ロータリー、踏切の整備に関する意見	1
【交通】	29
・コミュニティバス、バス路線に関する意見	17
・その他交通機関の充実に関する意見	8
・駐車違反、交通違反取り締まり強化に関する意見	3
・交通安全指導に関する意見	1
【上下水道】	8
・下水道に関する意見	5
・上水道、水道料金に関する意見	3
【公共施設】	66
・公園に関する意見	29
・プール、温水プールに関する意見	9
・市役所の駐車場に関する意見	8
・体育館、図書館、子ども科学館に関する意見	7
・利用、予約方法に関する意見	5
・駅前のトイレの充実	2
・その他（市民農園、老朽化した公共施設の統廃合、集会所、公園墓地などに関する意見）	6
【基本政策全般、その他】	8
・バリアフリーに関する意見	4
・買い物難民対策に関する意見	2
・その他（都市ガス化の推進、物流に関する意見）	2

◆自治力

⑩市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり

【市民活動、市民協働】	11
・官民一体、市民協働に関する意見	4
・自治会等に関する意見	3
・ボランティア活動に関する意見	2
・市民交流に関する意見	2
【職員・窓口】	32
・職員の接遇に関する意見	21
・職員体系や職務意識に関する意見	5
・市長、副市長に関する意見	4
・その他（責任体制と評価、悩み相談員の配置に関する意見）	2

【広報、広聴】	25
・ 市政、施策情報提供に関する意見	12
・ 広報誌に関する意見	5
・ 市民の声をいかしたまちづくり	5
・ 市民への啓発活動に関する意見	3
【クルリンに関する意見】	19
・ 内外へのアピールや活用方法に関する意見	8
・ グッズ製作に関する意見	3
・ 愛着がわく	3
・ 効果に疑問	3
・ 動作に関する意見	2
【総合戦略】	18
・ 定住・移住人口に関する意見	12
・ 伊勢原市のプロモーションに関する意見	5
・ ふるさと創生事業費の使途に関する意見	1
【基本政策全般、その他】	30
・ 伊勢原市の尽力に期待	11
・ 議員や選挙に関する意見	6
・ 実感できる「見える化」した市政、まちづくりに関する意見	5
・ 行政格差の是正に関する意見	3
・ 計画的なまちづくりに関する意見	2
・ その他（国・県への依存度が強すぎる、土日開庁希望、他市と競わないでほしい）	3
【行財政運営】	30
・ 財政再建、改革に関する意見	15
・ 税金に関する意見	9
・ ふるさと納税に関する意見	2
・ 財源確保に関する意見	3
・ 利用者数に関わらず必要とされる事業は存続を	1

その他

・ 本アンケートの手法に関する意見、回答してみたの感想など	20
・ その他基本政策に分類不能（人付き合い、絆がない、水力発電の実施、発明品など）	8

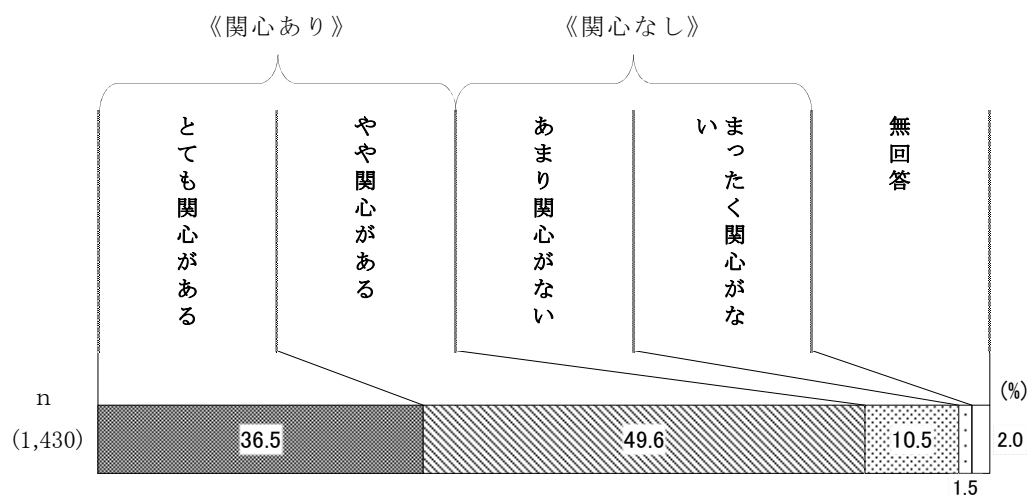
第7章 調査結果〔その他〕

1. 地域福祉について

(1) 福祉への関心

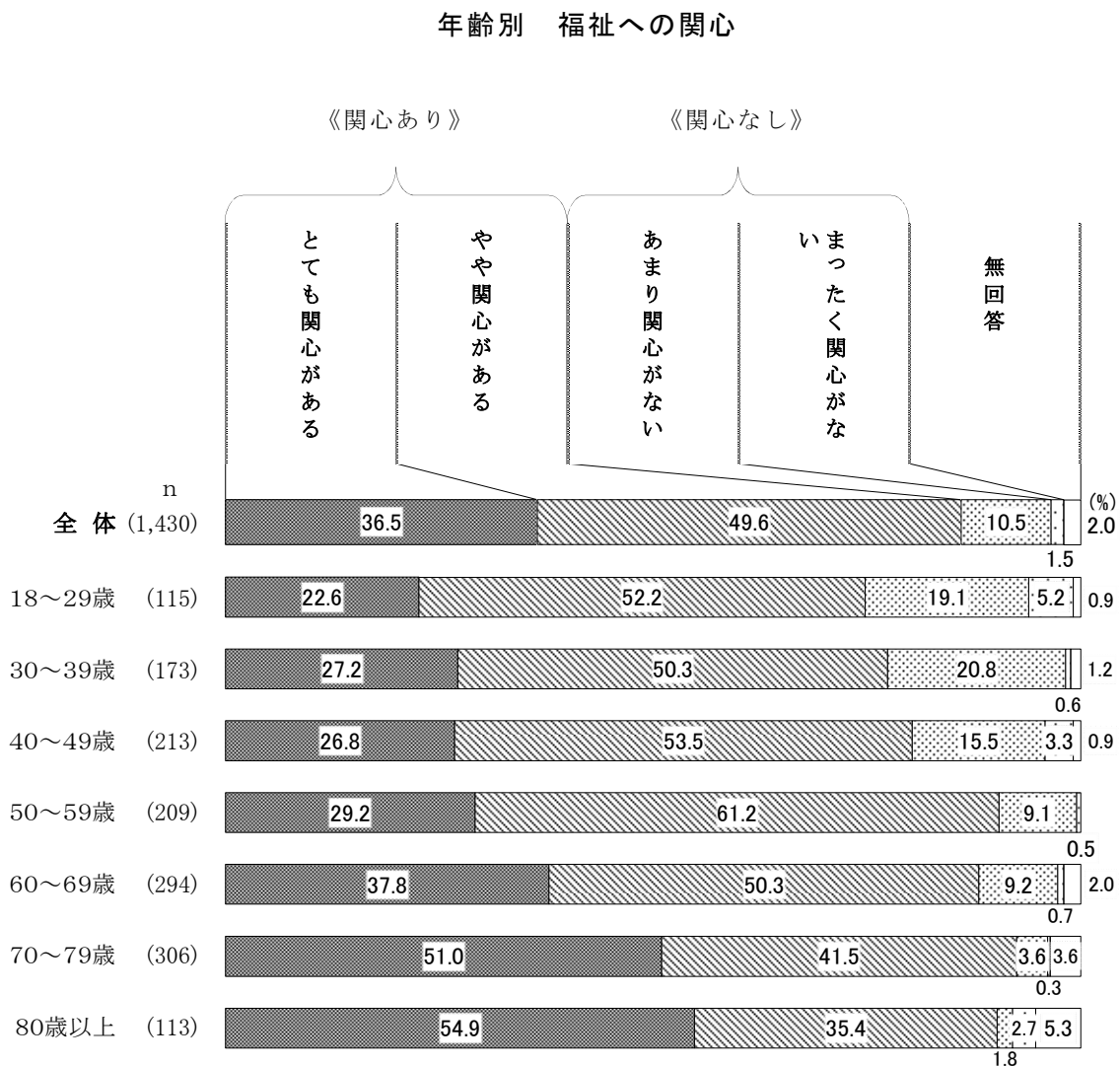
あなたは、福祉に関心がありますか。(○は1つ)

福祉への関心は、「とても関心がある」が36.5%、「やや関心がある」が49.6%で両者をあわせた《関心あり》は86.1%と多くなっている。一方、「まったく関心がない」と「あまり関心がない」をあわせた《関心なし》は12.0%となっている。



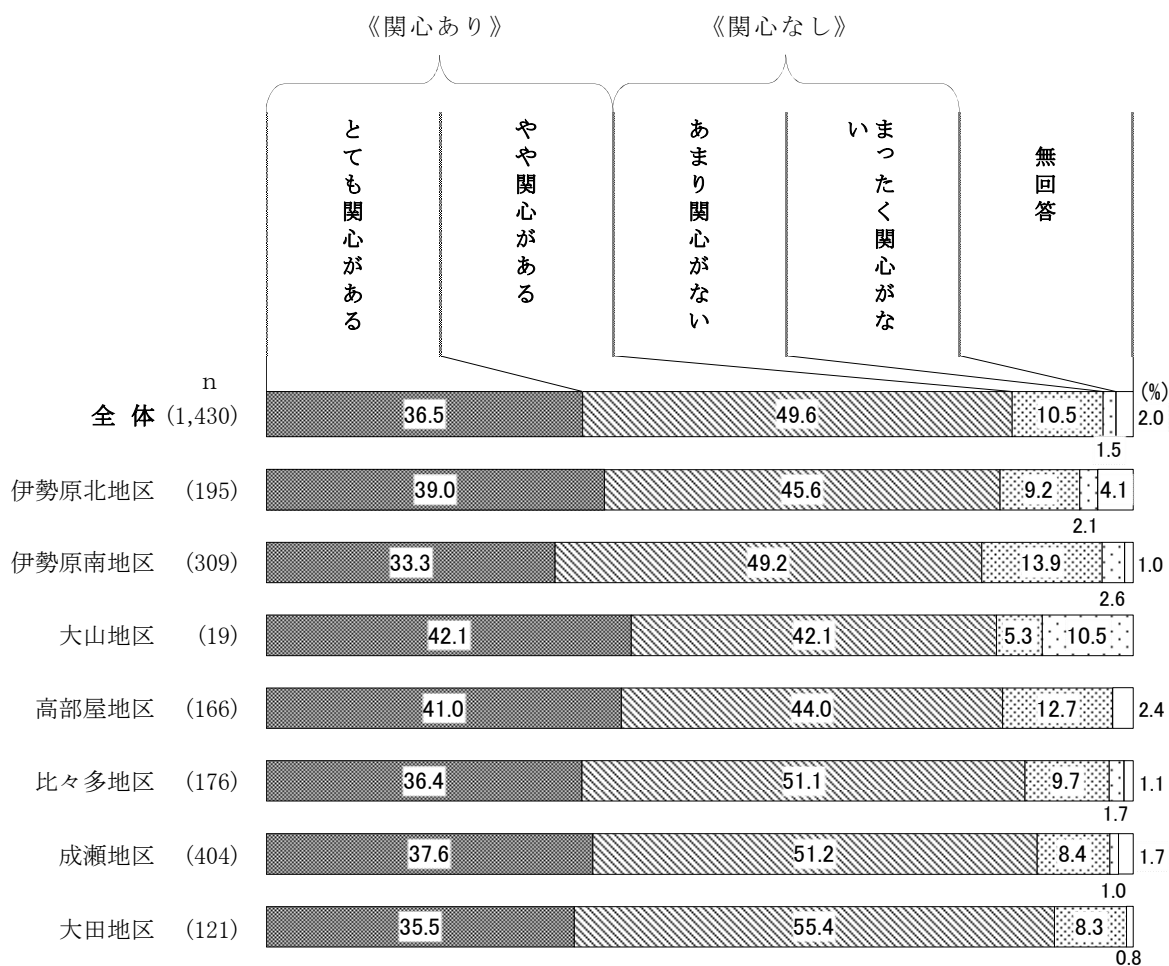
第7章 調査結果 [その他]

年齢別にみると、「とても関心がある」は年齢が高いほど多く、70～79歳以降では5割台となっている。《関心あり》ではいずれの年齢層でも7割以上と多く、40～49歳以降では8割以上となっている



地域別にみると、「とても関心がある」はすべての地区で3割以上となっており、大山地区、高部屋地区では4割台となっている。《関心あり》ではいずれの地区でも8割以上と多くなっている。

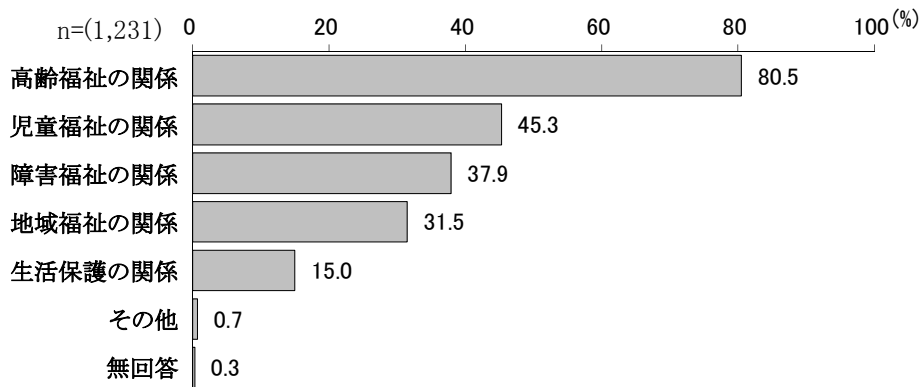
地域別 福祉への関心



(2) 関心のある福祉分野

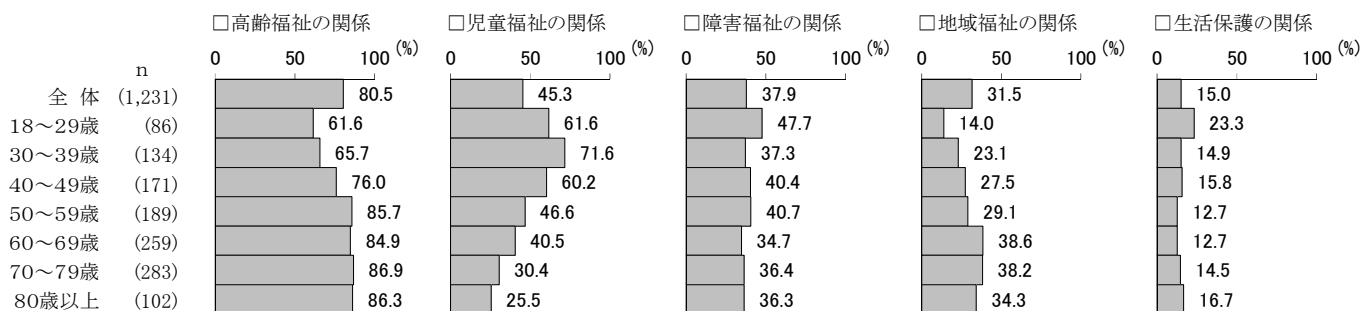
あなたは、どのような分野の福祉に関心がありますか。(〇はいくつでも)

関心のある福祉分野は、「高齢福祉の関係」が80.5%と特に多く、以下、「児童福祉の関係」が45.3%、「障害福祉の関係」(37.9%)、「地域福祉の関係」(31.5%)が3割台で続いている。



年齢別にみると、「高齢福祉の関係」はすべての年齢層で6割以上となっており、50～59歳以降では8割台となっている。「児童福祉の関係」は18～29歳から40～49歳が中心で6割から7割台となっている。「障害福祉の関係は」いずれの年齢層でも3割以上であるが、18～29歳が47.7%と他の年齢層よりやや多く、18～29歳ではこれに加えて「生活保護の関係」でも23.3%と他の年齢層より多い。また、「地域福祉の関係」は60～69歳以降で3割台であるが、年齢が下がるにつれて少なくなる。

年齢別 関心のある福祉分野

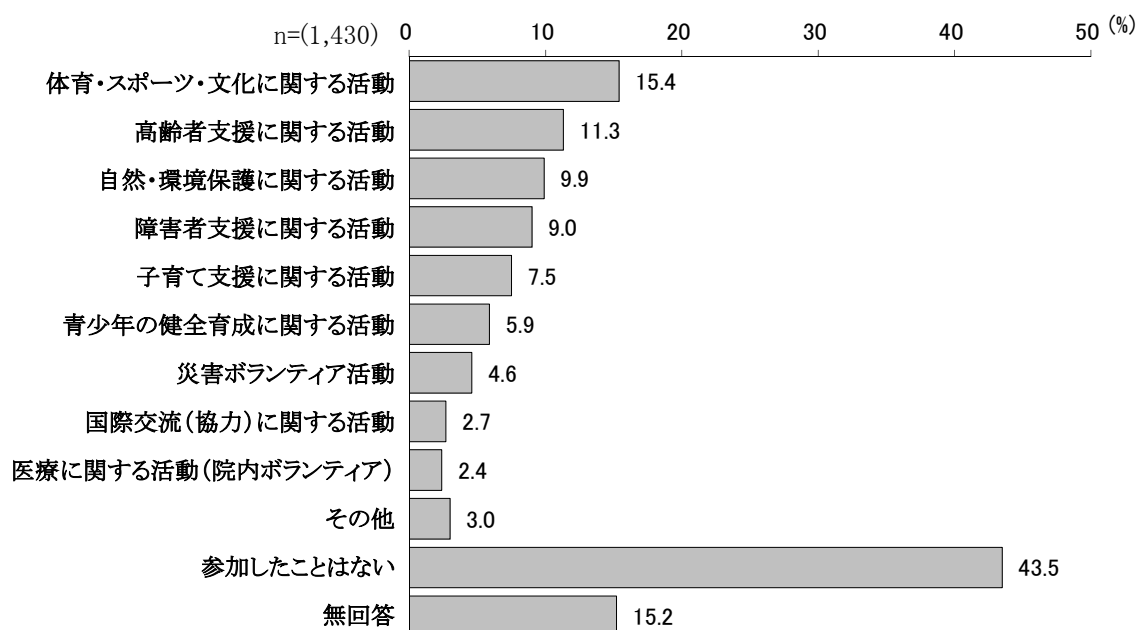


(3) 参加したことがあるボランティア活動

あなたはこれまで、どのようなボランティア活動に参加したことがありますか。

(○はいくつでも)

これまで参加したことがあるボランティア活動は、「体育・スポーツ・文化に関する活動」が15.4%で最も多く、以下、「高齢者支援に関する活動」(11.3%)、「自然・環境保護に関する活動」(9.9%)、「障害者支援に関する活動」(9.0%)が1割前後で続いている。一方、「参加したことはない」は43.5%と多くなっている。



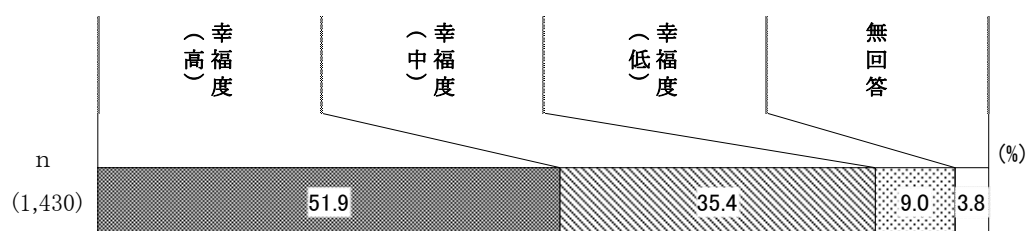
2. 幸福実感について

(1) 幸福の実感

現在、あなたは実感としてどの程度幸せですか。最高を10点、最低を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ選び、○で囲んでください。

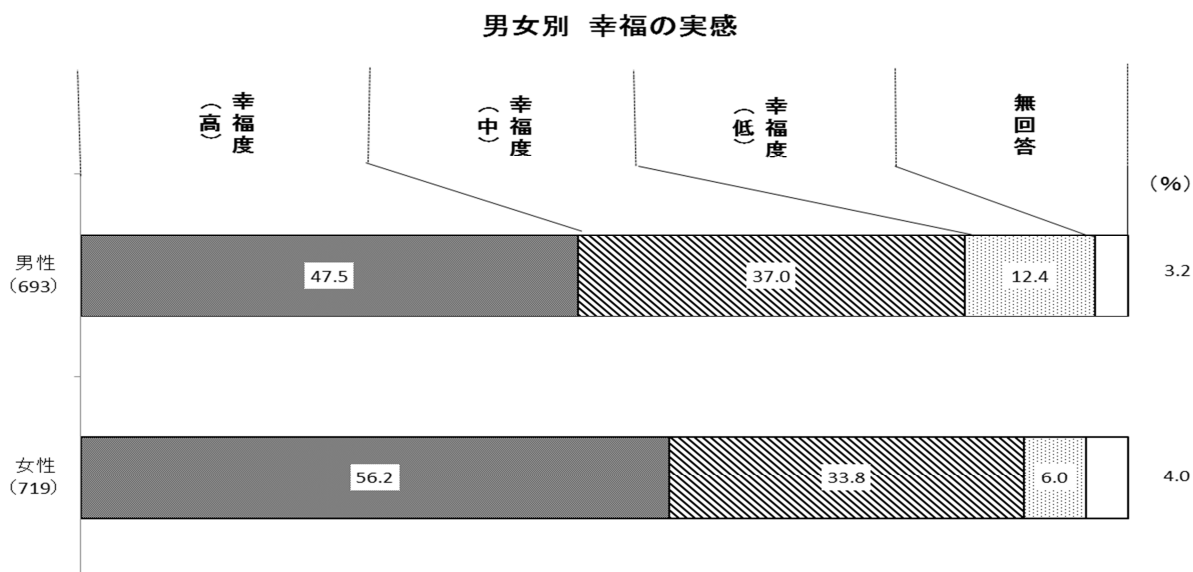
現在の幸福の実感の平均点は6.38であった。

つけていただいた点数のうち、10～7点を「幸福度（高）」、6～4点を「幸福度（中）」、3～0点を「幸福度（低）」の3段階の区分で算出すると、「幸福度（高）」は51.9%、「幸福度（中）」は35.4%、「幸福度（低）」は9.0%となっている。



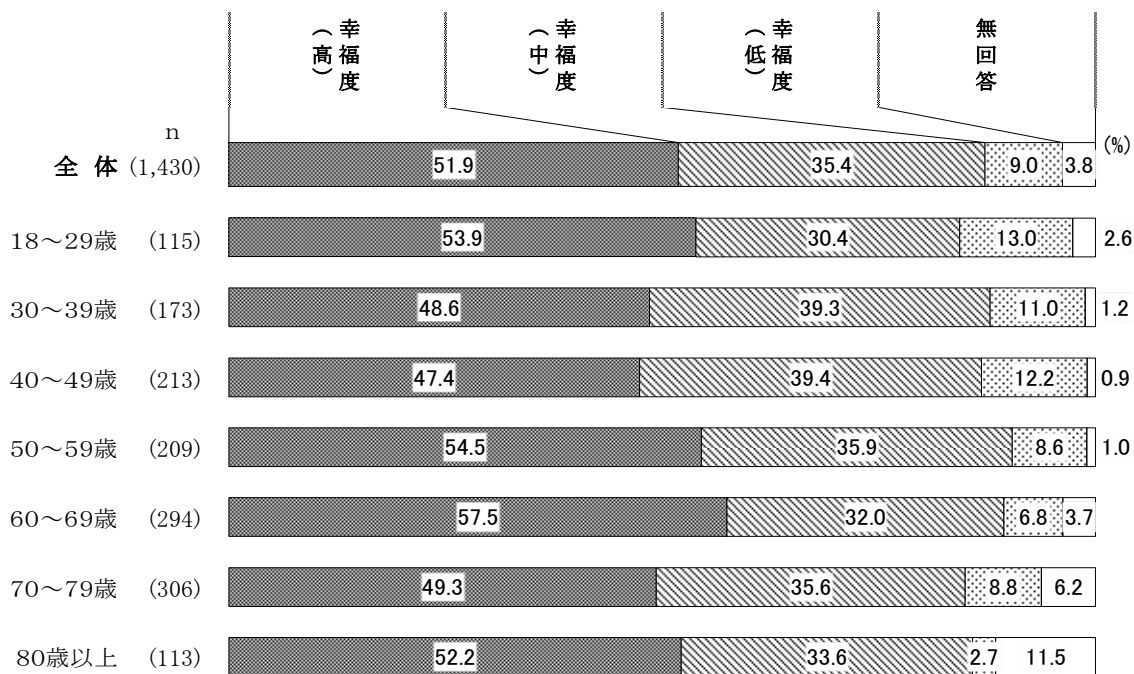
男女別にみると、幸福の実感の平均点は、男性 6.11、女性 6.62 と、女性の方が男性よりも幸福度が高くなっている。

「幸福度（高）」と答えた人の割合は、男性が 47.5%なのに対し、女性は 56.2%と、約 9 ポイント高くなっている。また、「幸福度（低）」と答えた人の割合は、男性 12.4%、女性 6.0%であり、男性と女性で約 2 倍の差が生じている。



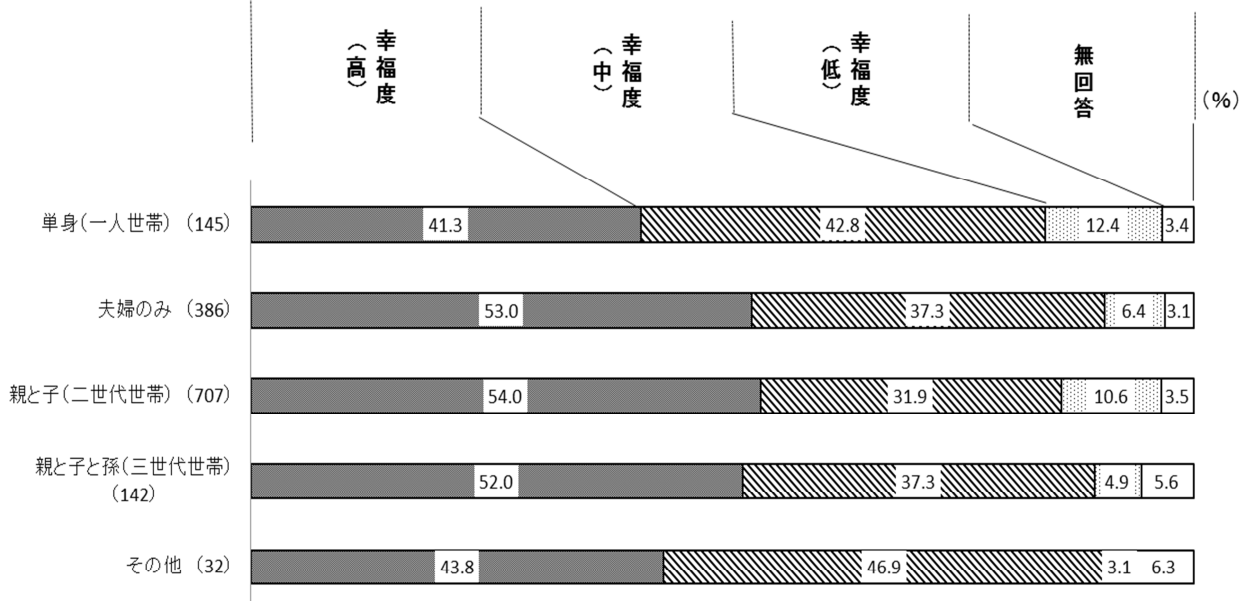
年齢別にみると、「幸福度（高）」はいずれの年齢層でも4割から5割台となっている。一方、「幸福度（低）」は18～29歳から40～49歳で1割台と比較的多くなっている。

年齢別 幸福の実感



世帯の状況別にみると、「幸福度（高）」は夫婦のみ、親と子（二世帯世帯）、親と子と孫（三世帯世帯）で5割台となっているが、単身（一人世帯）やその他の世帯では4割台となっていることから、配偶者や子どもなどの家族から得られる人間関係が幸福の実感にプラスの影響を与えていくものと考えられる。

世帯の状況別 幸福の実感

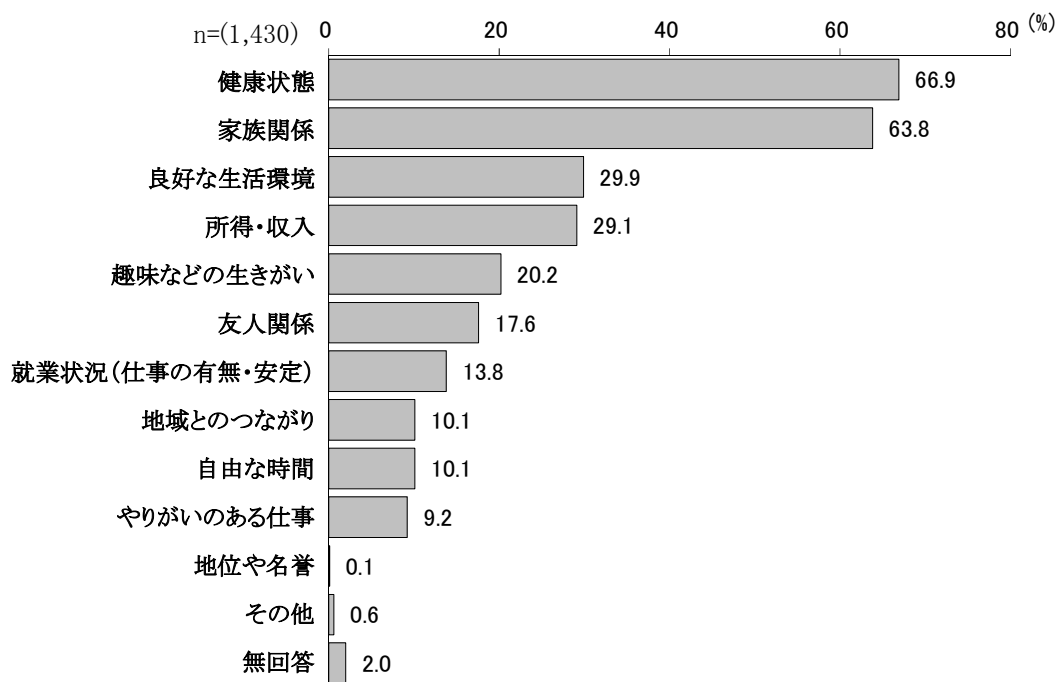


(2) 幸福実感を判断する上で重視した事項

幸福実感を判断する上で、あなたが重視した事項は何ですか。(〇は3つまで)

幸福実感を判断する上で重視した事項は、「健康状態」(66.9%)、「家族関係」(63.8%)の2項目が6割台で特に多く、以下、「良好な生活環境」(29.9%)、「所得・収入」(29.1%)、「趣味などの生きがい」(20.2%)が2割台で続いている。

「健康状態」や「家族関係」の項目が高いことから、本市においては、健康づくりや誰もが快適で安心して暮らせるまちづくりを進めることが、幸福の実感に対してプラスの影響を与えていくものと考えられる。



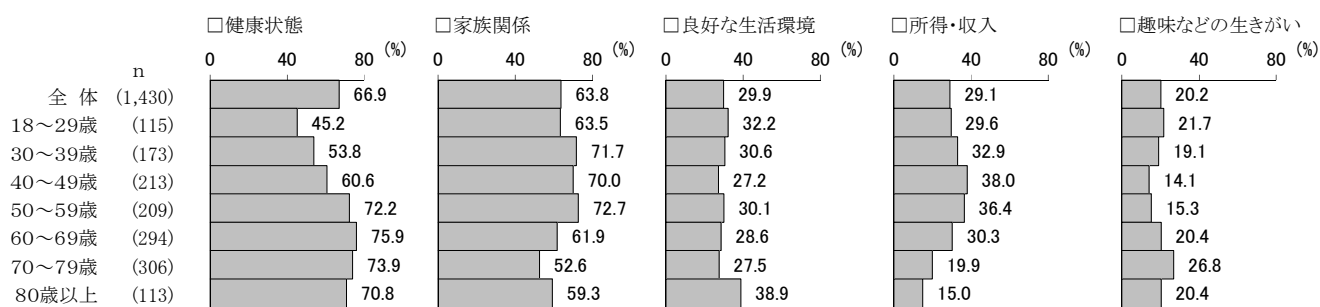
年齢別にみると、「健康状態」を選ぶ人は、年齢に比例して多くなる傾向にあり、50～59歳以降で7割台となっている。「家族関係」はいずれの年齢層でも5割以上で、30歳から50歳代で7割台と多くなっている。「所得・収入」は60～69歳以下の年齢層で概ね3割以上となっており、「趣味などの生きがい」は70～79歳で26.8%と他の年齢層よりやや多くなっている。

他の年齢構成と比較して18～29歳から40～49歳まででは、「家族関係」や「所得・収入」などの項目が高くなっており、子どもを安心して産み育てられる環境づくりや、安定した雇用の確保など、若い世代に選ばれる魅力あるまちづくりを進めることが重要であると考えられる。

一方で、50～59歳以降の世代では、「健康状態」や「趣味などの生きがい」の項目が高くなっており、健康で生き生きと暮らすための健康づくりや生涯学習機会の充実などが幸福実感を高める上で重要であると考えられる。

このように、世代による価値観の変化が幸福実感に影響を与えることから、市民の幸福実感を高めるためには、幅広い分野の施策を推進することが必要になると考えられる。

年齢別 幸福実感を判断する上で重視した項目（上位5項目）



【参考】男女別の幸福実感

	全体	男性	女性
10点	57人 4.0%	20人 2.9%	34人 4.7%
9点	91人 6.4%	34人 4.9%	57人 7.9%
8点	293人 20.5%	126人 18.2%	165人 22.9%
7点	301人 21.0%	149人 21.5%	149人 20.7%
6点	193人 13.5%	103人 14.9%	87人 12.1%
5点	221人 15.5%	104人 15%	114人 15.9%
4点	92人 6.4%	49人 7.1%	42人 5.8%
3点	77人 5.4%	55人 7.9%	22人 3.1%
2点	26人 1.8%	17人 2.5%	9人 1.3%
1点	19人 1.3%	10人 1.4%	9人 1.3%
0点	6人 0.4%	4人 0.6%	2人 0.3%
無回答	54人 3.8%	22人 3.2%	29人 4.0%
回答数	1430人	693人	719人
平均点	6.38点	6.11点	6.62点

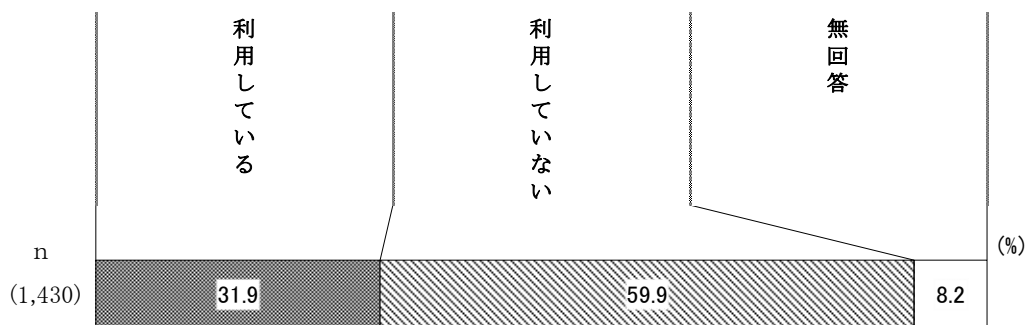
※平均点の算出には無回答者を含まない。

3. 市政情報について

(1) SNSの利用状況

あなたは、日頃SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用していますか。
 * SNSとは、インターネット上の交流を通して、社会的なつながりを構築するサービスをいいます。
 代表的なものとして、フェイスブックやツイッター、LINEなどがあります。

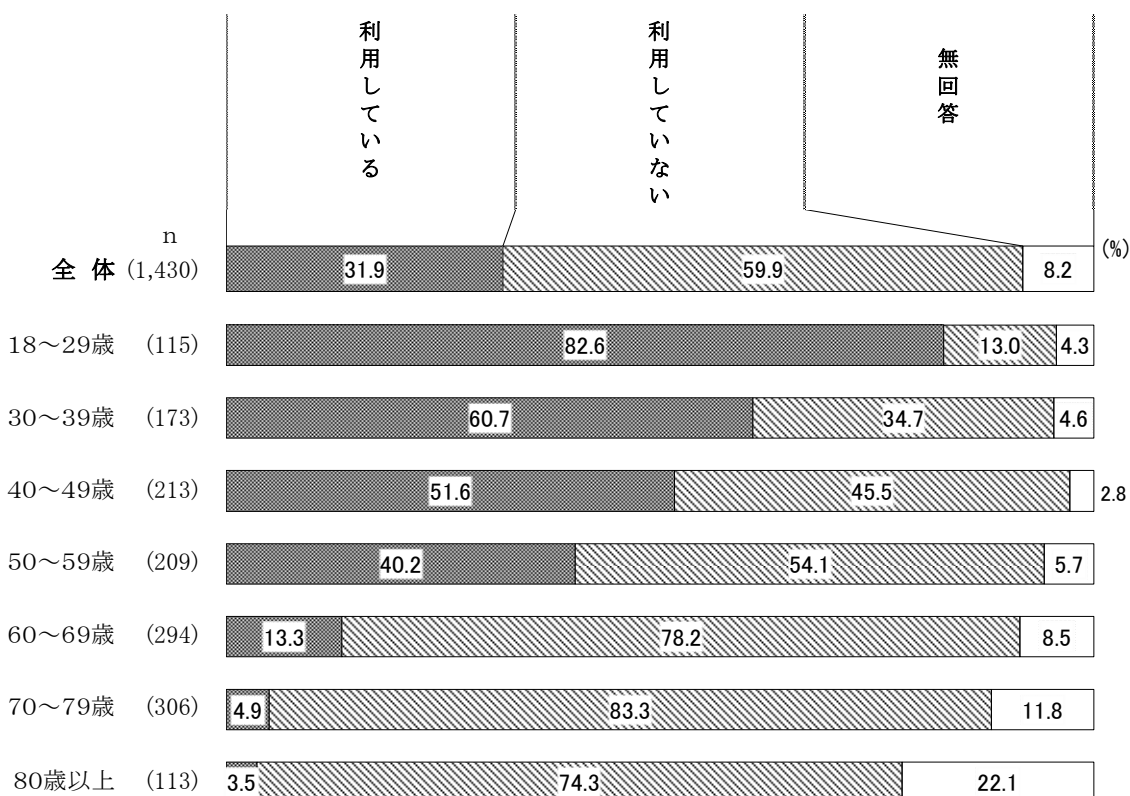
日頃SNSを「利用している」は31.9%、「利用していない」は59.9%となっている。



年齢別にみると、「利用している」は若い年齢層ほど多く、18～29歳で82.6%となっている。年齢層が上がるにつれて利用は少なくなり、50～59歳で逆転し、60～69歳以降では「利用していない」が7割以上となっている。

SNSについては、今後とも市民の利用状況を注視しつつ、情報伝達手段としての活用の検討が求められる。

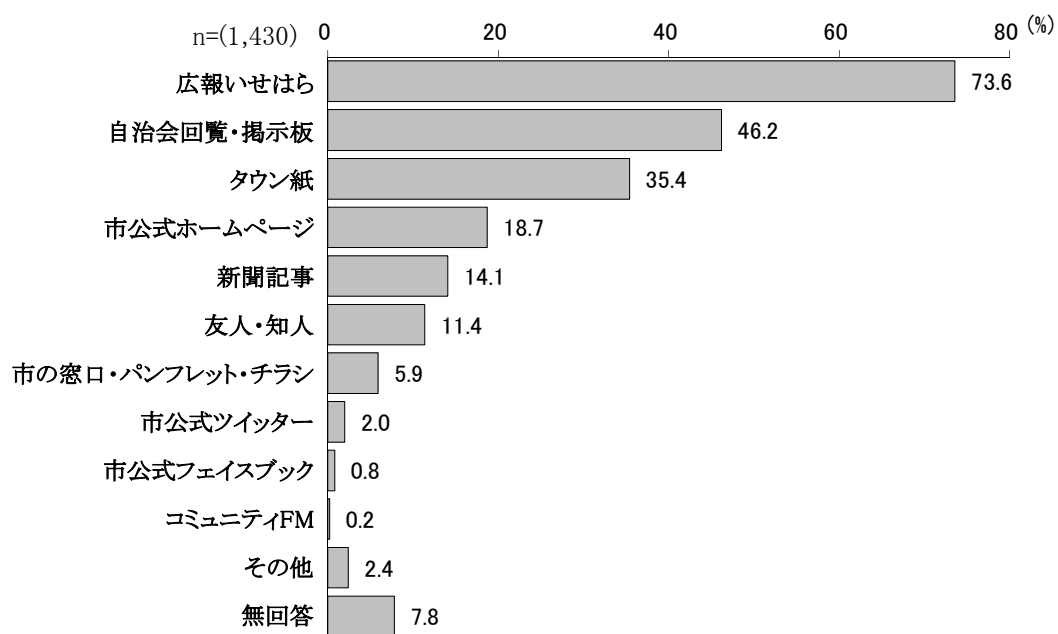
年齢別 SNSの利用状況



(2) 市からの情報の入手源

あなたは、市からの情報を、主に何から得ていますか。(〇は3つまで)

市からの情報の入手源は、「広報いせはら」が73.6%で最も多く、以下、「自治会回覧・掲示板」が46.2%、「タウン紙」が35.4%で続いている。また、「市の窓口・パンフレット・チラシ」や「市公式ツイッター」、「市公式フェイスブック」の利用者は1割未満となっている。



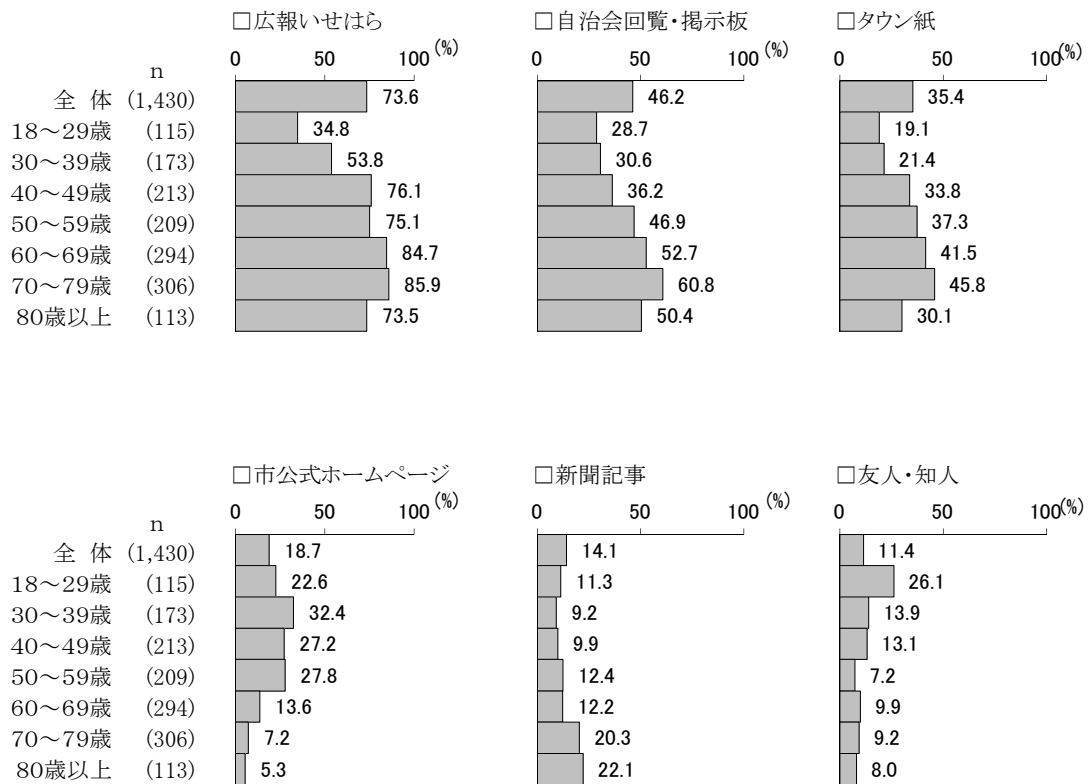
第7章 調査結果〔その他〕

年齢別にみると、「広報いせはら」は40～49歳以降で7割から8割台と多く、「自治会回覧・掲示板」は60～69歳以降で5割から6割台、「タウン紙」は60～69歳と70～79歳で4割台と多く、これらの情報入手源は年齢が上がるにつれて多くなる傾向にある。

「市公式ホームページ」は30～39歳で32.4%であるが、年齢が上がるにつれて少なくなる。

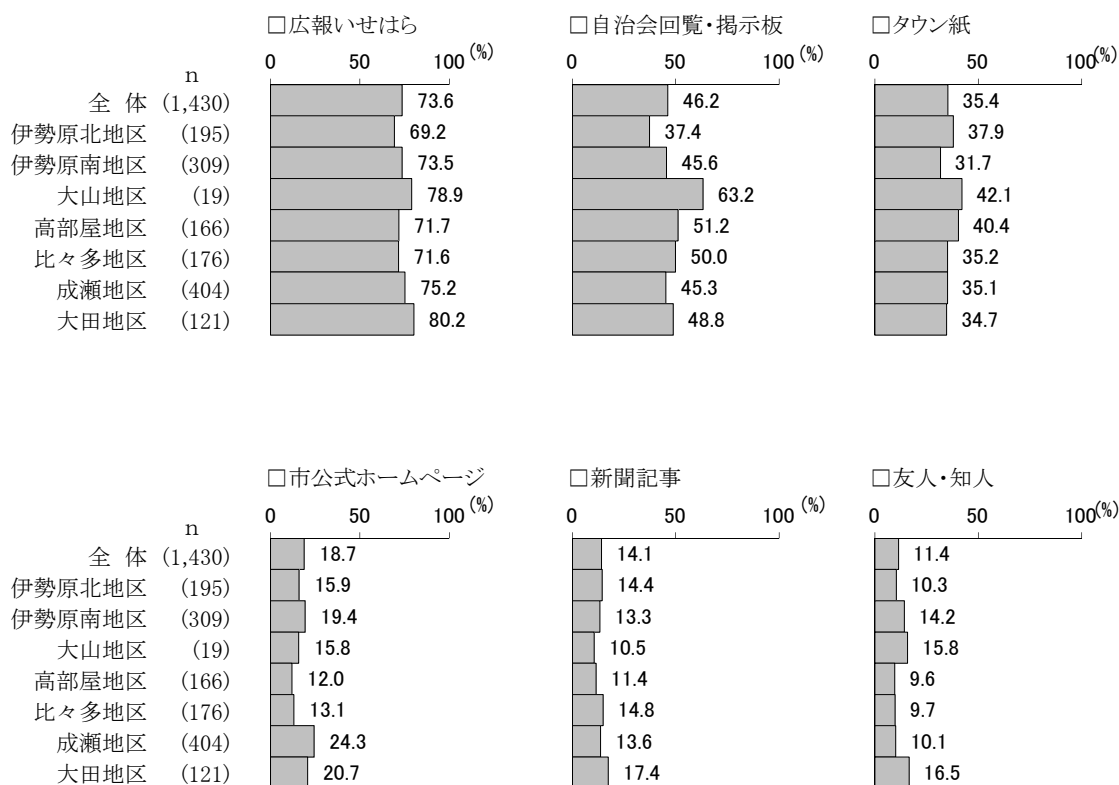
また、「新聞記事」は70～79歳と80歳以上で2割台、「友人・知人」は18～29歳で26.1%と他の年齢層より多くなっている。

年齢別 市からの情報の入手源（上位6項目）



地域別にみると、「広報いせはら」は大田地区の80.2%を筆頭に大部分の地区で7割以上となっている。「自治会回覧・掲示板」は大山地区で63.2%、高部屋地区、比々多地区でも5割台となっている。「タウン紙」は大山地区、高部屋地区で4割台、「市公式ホームページ」は成瀬地区で24.3%、大田地区、伊勢原南地区で2割前後と他の地域より多くなっている。

地域別 市からの情報の入手源（上位6項目）

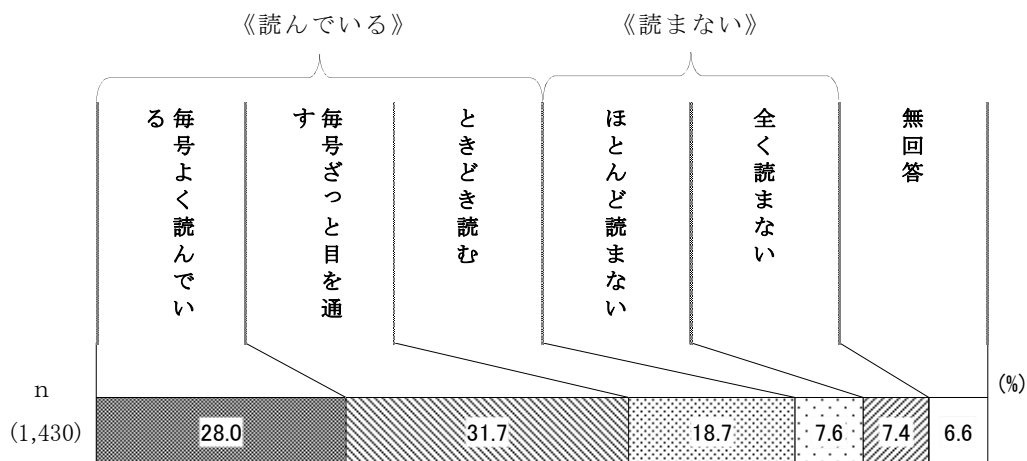


今後とも、情報源として最有力である「広報いせはら」を中心に、地域コミュニティに立脚する「自治会回覧・掲示板」、「タウン紙」の活用、SNSを活用した「市公式ツイッター」、「市公式フェイスブック」など、多様な情報媒体を複合的に活用していくことが必要である。

(3) 「広報いせはら」の閲読状況

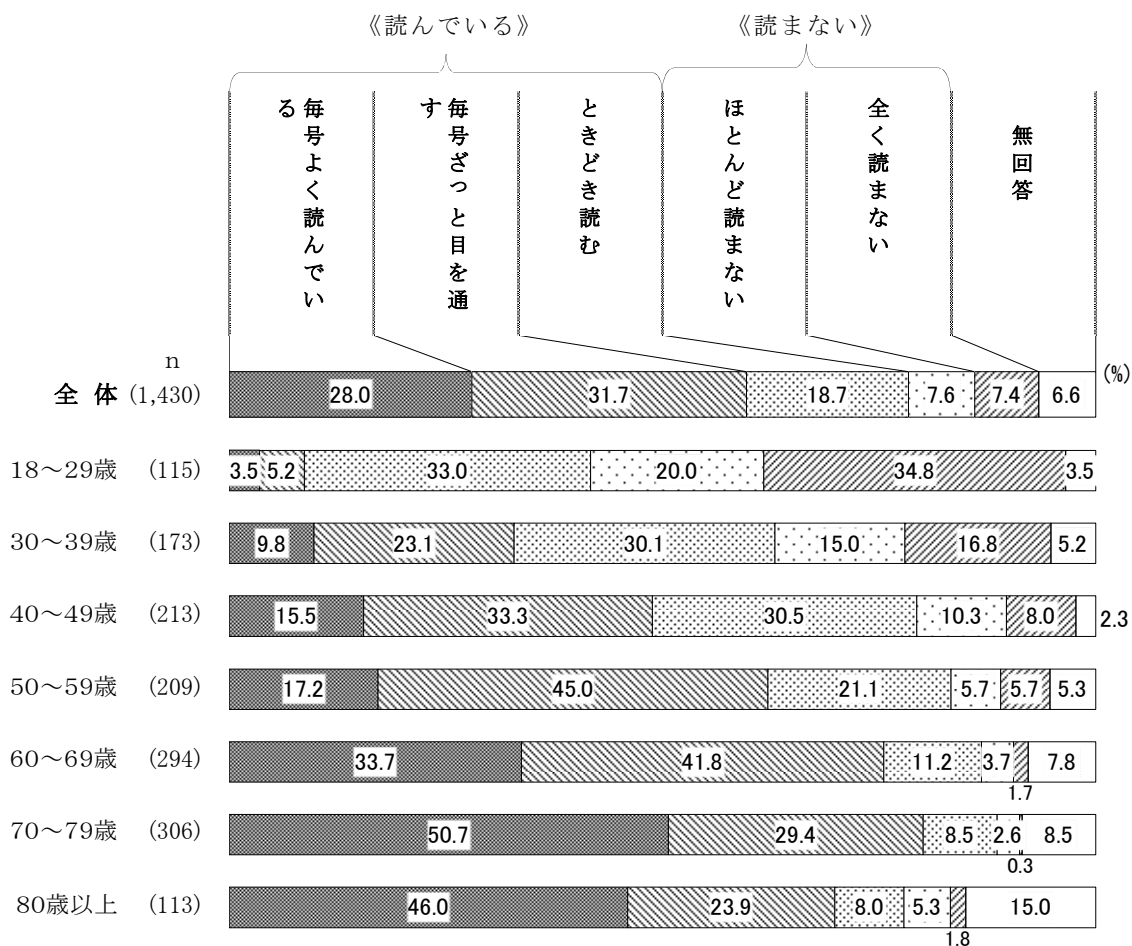
あなたは、「広報いせはら」をどの程度読んでいますか。(○は1つ)

「広報いせはら」の閲読状況としては、「毎号ざっと目を通す」が31.7%、「毎号よく読んでいます」が28.0%、「ときどき読む」が18.7%で、これらをあわせた《読んでいる》は78.4%となっている。一方、「全く読まない」(7.4%)と「ほとんど読まない」(7.6%)をあわせた《読まない》は15.0%となっている。



年齢別にみると、「毎号よく読んでいる」は70～79歳で50.7%、80歳以上で46.0%であるが、年齢が下がるにつれて少なくなる。「毎号ざっと目を通す」は50～59歳と60～69歳で4割台と多くなっている。《読んでいる》は、40～49歳以降で7割から8割台を占めている。一方、《読まない》は18～29歳で54.8%、30～39歳でも31.8%となっている。

年齢別 「広報いせはら」の閲読状況

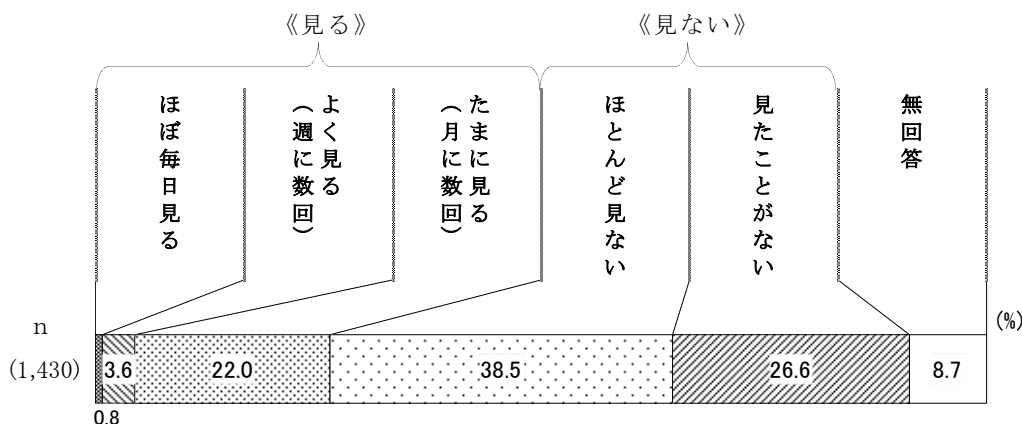


「広報いせはら」の閲読率を上げるため、さらに親しまれる紙面づくりに努めるとともに、新聞未購読世帯が増加傾向にある中で、新聞折り込みを補完するため、ポスティング配布の継続的な実施が求められる。

(4) 市のホームページの閲覧状況

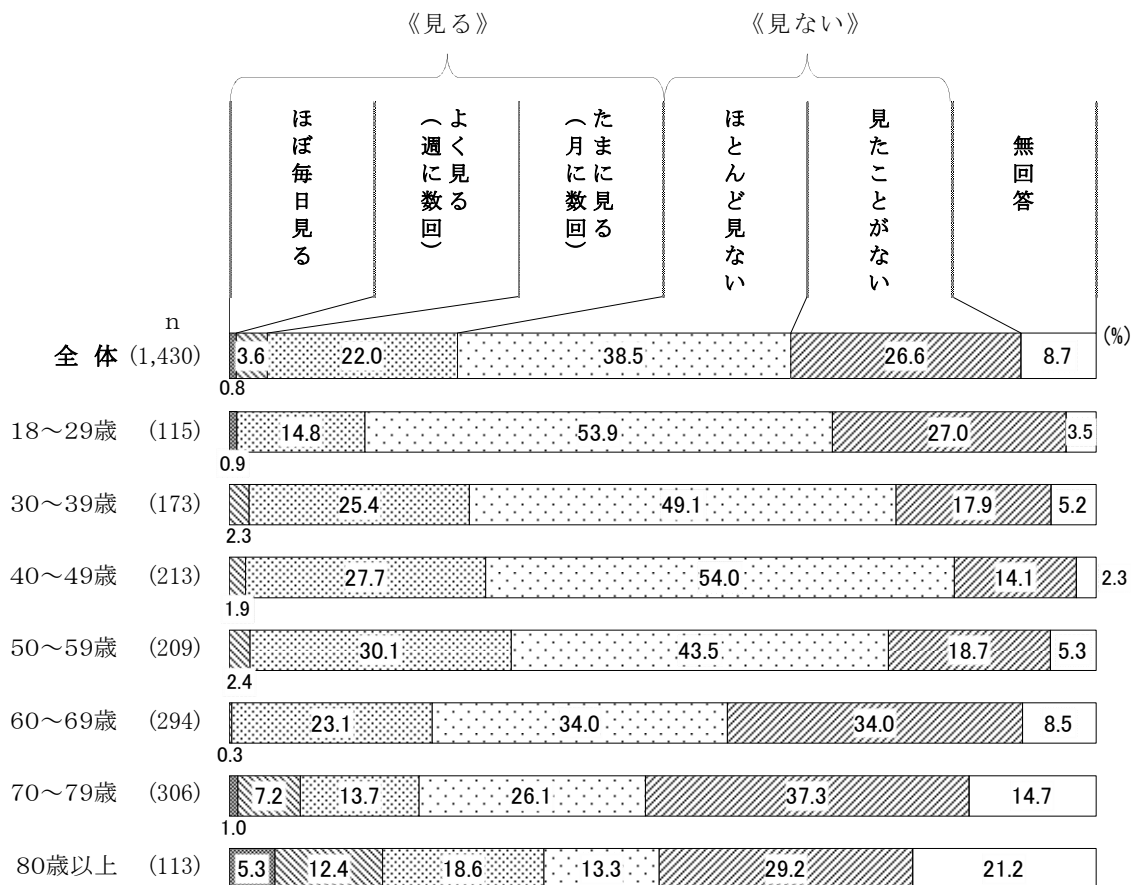
あなたは、市のホームページをどの程度見ますか。(〇は1つ)

市のホームページの閲覧状況は、「ほぼ毎日見る」(0.8%)、「よく見る(週に数回)」(3.6%)はわずかだが、「たまに見る(月に数回)」が22.0%となっており、これらをあわせた《見る》は26.4%となっている。一方、「見たことがない」(26.6%)と「ほとんど見ない」(38.5%)をあわせた《見ない》は65.1%となっている。



年齢別にみると、《見る》は80歳以上と50～59歳で3割以上と多くなっている。一方、《見ない》は、18～29歳が80.9%と多くなっている。

年齢別 市のホームページの閲覧状況

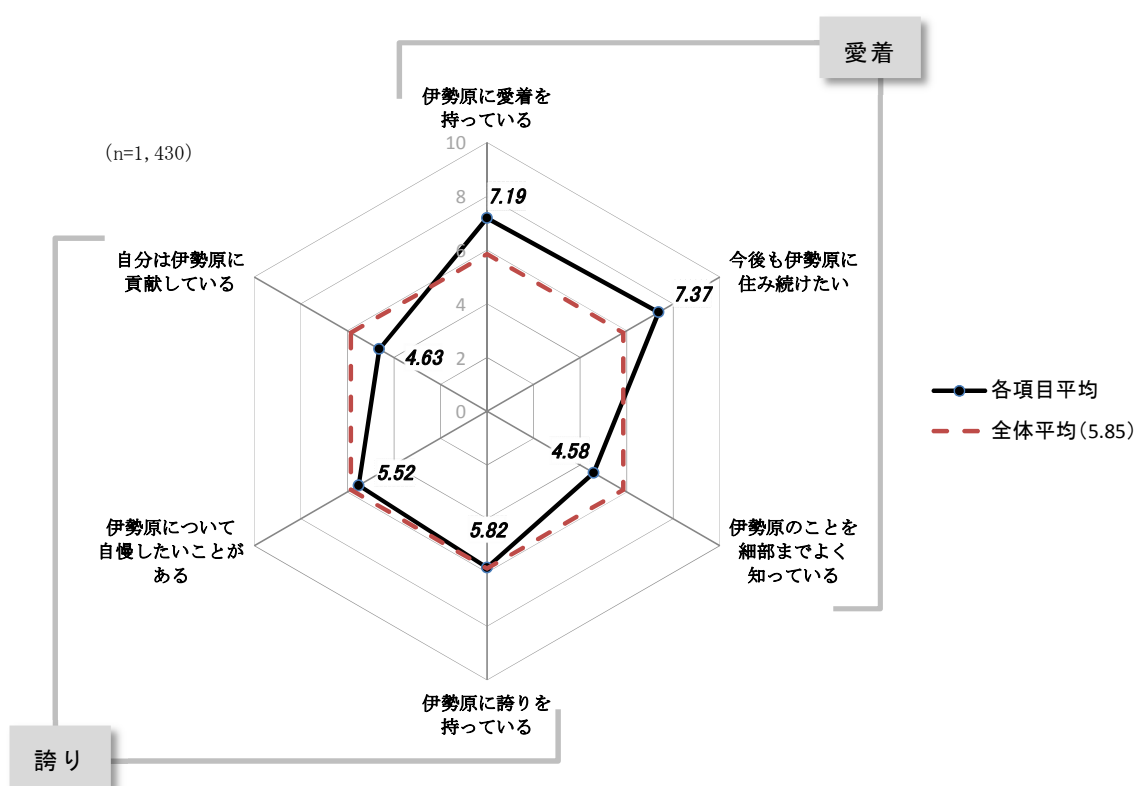


4. 伊勢原に対する愛着や誇り等について

以下の項目それぞれについて、あなたご自身はどのくらい感じていますか。最高を10点、最低を0点として、いずれかの数字を1つだけ選び、○で囲んでください。

(1) 伊勢原に対する愛着や誇り

伊勢原に対する愛着や誇りに関する6項目の点数の平均点をグラフ化したのが以下の図である。6項目中「今後も伊勢原に住み続けたい」(7.37)や「伊勢原に愛着を持っている」(7.19)の2項目は7点台と高く、平均値以上となっている。一方、「自分は伊勢原に貢献している」(4.63)、「伊勢原のことを細部までよく知っている」(4.58)は4点台にとどまっている。



全体の平均点 : 5.85

	項目	各項目平均点	分野別平均点
愛着	伊勢原に愛着を持っている	7.19	6.38
	今後も伊勢原に住み続けたい	7.37	
	伊勢原のことを細部までよく知っている	4.58	
誇り	伊勢原に誇りを持っている	5.82	5.32
	伊勢原について自慢したいことがある	5.52	
	自分は伊勢原に貢献している	4.63	

第7章 調査結果〔その他〕

年齢別にみると、「愛着」も「誇り」も80歳以上が最も高い評価を示し、60歳～69歳以上で平均点を上回っている。

若年層においては、「愛着」「誇り」とも18・19歳が比較的高い評価を示しており、これらの若者の意識を保持し、発展させていくための取組が求められる。

居住年数別にみると、「愛着」「誇り」とも、居住歴の長さで評価の高さが比例しており、21年以上の長期居住者が最も高い評価を示している。

年齢別 伊勢原に対する愛着や誇り

	全体	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
「愛着」関連項目の分野別平均点	6.38	6.27	5.79	5.68	5.87	6.20	6.58	6.92	7.53
「誇り」関連項目の分野別平均点	5.32	4.98	4.29	4.50	4.88	5.20	5.54	5.99	6.45

居住年数別 伊勢原に対する愛着や誇り

	全体	1年未満	1～5年	6～10年	11～20年	21年以上
「愛着」関連項目の分野別平均点	6.38	5.09	5.24	5.12	5.72	6.88
「誇り」関連項目の分野別平均点	5.32	4.15	4.19	4.30	4.72	5.76

今後、「愛着」「誇り」関連項目において最も低評価であり、他の項目の評価向上に影響すると思われる「伊勢原のことを細部までよく知っている」を引き上げることに注力すべきであると考えられる。

（2）市外への推奨度

ネットプロモータースコア（NPS）の手法を用い、市外への「推奨度」を指標化するため、推奨意向を10（非常に薦めたい）～0（全く薦めたくない）の11段階のスケールで測定し、以下の例に基づいて「推奨者」、「中立者」、「批判者」に区分して、「推奨者－批判者」のスコアを算出する。

NPSの手法では、「推奨者」の配点構成が小さいことから、一般的に数値はマイナス寄りに算出される傾向となる。以下に例を示す。

例：設問ごとに“各点数をつけた人数”に着目し、

「推奨する立場」の人（推奨者）の構成比（8～10点をつけた割合）、

「推奨も批判もしない受動的な立場」の人（中立者）の構成比（5～7点をつけた割合）、

「批判的な立場」の人（批判者）の構成比（0～4点をつけた割合）を算出する。

ここでは、20.0%から25.0%を減じた数値マイナス5.0がNPSとなる。

点数	各点数をつけた人数		各立場の構成比
10点	◎人	「推奨する立場」 (推奨者)	20.0%
9点	◎人		
8点	◎人		
7点	△人	「推奨も批判もしない受動的な立場」 (中立者)	55.0%
6点	△人		
5点	△人		
4点	×人	「批判的な立場」 (批判者)	25.0%
3点	×人		
2点	×人		
1点	×人		
0点	×人		

上記の算出例に基づき、「推奨度」について算出したところ、「伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい」が7.8、「伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい」がマイナス3.8となっている。

	各点数をつけた人数				各立場の構成比	(推奨者－批判者)
伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい	推奨 28.6%	中立 43.4%	批判 20.8%	無回答 7.2%		7.8
伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい	推奨 21.6%	中立 45.7%	批判 25.4%	無回答 7.3%		-3.8

第7章 調査結果〔その他〕

年齢別にみると、「伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい」（以降「訪問を薦めたい」と略す）、「伊勢原に住むことを知人・友人に薦めたい」（以降「居住を薦めたい」と略す）ともに80歳以上で特に高い。

「訪問を薦めたい」は40～49歳までマイナス、50～59歳以降はプラスとなり、「居住を薦めたい」は60～69歳までマイナス、70～79歳以降はプラスと年代により分かれている。

居住年数別にみると、「訪問を薦めたい」「居住を薦めたい」とも21年以上の居住者でプラス、それ以外の年数ではマイナスとなっている。

「訪問を薦めたい」は1～5年でやや上昇するが、6～20年で再びマイナスが大きくなっている。

年齢別

	全 体	18・ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい	7.8	-12.5	-29.3	-11.0	-0.9	4.8	12.2	25.2	34.5
伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい	-3.8	-25.0	-32.3	-22.0	-16.9	-4.8	-1.4	12.4	27.4

居住年数別

	全 体	1年 未満	1～ 5年	6～ 10年	11～ 20年	21年 以上
伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい	7.8	-10.7	-4.7	-13.0	-9.9	16.0
伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい	-3.8	-14.3	-23.4	-28.0	-21.2	5.9

今回初の試みとして、NPSの手法を用いて、市民による市外への「推奨度」を指標化し、現状の把握を行ったが、シティプロモーション活動の成果を検証する材料として、これらの項目について、今後の経年変化を捉えていくことも有効であると考えられる。

第 8 章 調査票

現在、伊勢原市では、「第5次総合計画」に基づくまちづくりを計画的に進めています

本市では、「伊勢原市第5次総合計画」に基づくまちづくりを計画的に進めるために、平成25年度から平成29年度までの5年間について、「前期基本計画」を定めて、37本の施策を重点的に行っています。この調査票では、総合計画に基づいた取組等について、あなたさまのお考えをうかがいます。

■伊勢原市第5次総合計画とは

総合計画は、長期的な展望に立って本市のめざす将来像を描き、その実現に向けて総合的かつ計画的に行行政運営を図るための指針となります。

本市では、人口減少や少子高齢社会の進展をはじめとする本市を取り巻く様々な課題に対応した新しいまちづくりを進めていくため、平成25(2013)年度を計画初年度とする「第5次総合計画」をスタートさせました。

本市の豊かな自然の中でみんなが力を合わせ、さらに発展した新しいまちを創造し、誰もがしあわせを実感できる明るい未来を築いていくことをめざし、本市の将来都市像を「しあわせ創造都市 いせはら」を定め、その将来都市像の実現に向け、施策別に様々な取組を進めています。



伊勢原市第5次総合計画の詳細は、HPでご覧いただけます。

<http://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2013111300011/>

II 伊勢原市のまちづくりの施策についてうかがいます

この項目では、「伊勢原市第5次総合計画 前期基本計画」に定める37本の施策に関する現状の満足度や今後の重要度についてうかがいます。

回答欄の左側にある施策の概要等をお読みいただき、あなたの実感やお考えに近いものを、それぞれ1つ選んで番号に○を付けてください。

【記入例】

施策 01 自ら取り組む健康づくりの推進	あなたの判定
市内の医療機関などと連携し、スポーツを通じた体力づくりや、食育などによる市民の自主的な健康づくりを支援しています。 また、健康診査や各種検診を充実するなど、疾病の予防や早期発見・治療に向けた取組を進めています。	1 満足である
	2 やや満足である
	3 あまり満足でない
	4 満足でない
■これまでの主な取組 ・住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加 ・市の史跡、名所などを巡る「伊勢原市ウォーキングガイド」の作成	1 重要である
	2 やや重要である
	3 あまり重要でない
	4 重要でない
□これまでの成果の一例 ・健康相談参加者数 3,500人(H24) → 4,465人(H26) ・栄養教育、相談の参加者数 2,200人(H24) → 2,840人(H26)	

施策の概要、これまでの主な取組、施策によるこれまでの成果を記載しています。

あなたの実感やお考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、該当する番号に○を付けてください。

■「暮らし力」に関する質問です。

施策 01 自ら取り組む健康づくりの推進		あなたの判定	
<p>市内の医療機関などと連携し、スポーツを通じた体力づくりや、食育などによる市民の自主的な健康づくりを支援しています。 また、健康診査や各種検診を充実するなど、疾病の予防や早期発見・治療に向けた取組を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加 ・市の史跡、名所などを巡る「伊勢原市ウォーキングガイド」の作成など</p>	満足度	1 満足である	満足度
		2 やや満足である	
<p>□これまでの成果の一例 ・健康相談参加者数 3,500人(H24) → 4,465人(H26) ・栄養教育、相談の参加者数 2,200人(H24) → 2,840人(H26)</p>	重要度	3 あまり満足でない	重要度
		4 満足でない	
<p>施策 02 安心できる地域医療体制の充実</p> <p>より質の高い医療を安定的に提供できる医療施設の確保に向けた支援を行うとともに、軽傷から重傷な患者に至るまでの安定した救急医療環境を確保するための支援を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・地域医療の中核を担う伊勢原協同病院の移転新築に対する財政支援 ・安定した救急医療環境を確保するための財政支援など</p>	満足度	1 満足である	満足度
		2 やや満足である	
<p>□これまでの成果の一例 ・「災害医療拠点病院及び災害医療協力病院」の指定数 1カ所(H24) → 2カ所(H26) ・市内医療機関における救急医療の実施率(内科、外科) 100%(H23) → 100%(H26)</p>	重要度	3 あまり満足でない	重要度
		4 重要でない	
<p>施策 03 多様な連携による地域福祉の推進</p> <p>地域住民や各種団体などと連携し、高齢者や障害者などを地域で支える福祉活動に取り組むしくみづくりを進めています。 また、市民団体と協働して講座などを開催するなど、地域福祉の担い手となる人材の育成に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組 ・個人宅を訪問する事業者との地域見守りに関する協定の締結 ・「成年後見」の担い手である市民後見人養成講座の開催など</p>	満足度	1 満足である	満足度
		2 やや満足である	
<p>□これまでの成果の一例 ・地域福祉に関する講座の受講者数 0人(H24) → 40人(H26) ・地域見守り連携事業者数 4事業者(H24) → 34事業者(H26)</p>	重要度	3 あまり満足でない	重要度
		4 重要でない	
<p>施策 04 高齢者の地域生活支援の充実</p> <p>高齢者の就業や社会参加活動の機会を整え、高齢者が地域で活躍できる環境づくりを進めています。 また、介護予防の普及啓発に努めるとともに、地域で高齢者を支える地域包括ケア体制の構築を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・シルバー人材センター運営への支援 ・高齢者の介護予防のための教室やミニデイサロンの実施など</p>	満足度	1 満足である	満足度
		2 やや満足である	
<p>□これまでの成果の一例 ・介護予防教室開催回数 480回(H24) → 1,005回(H26) ・ミニデイサロン開催箇所数 28カ所(H24) → 31カ所(H26)</p>	重要度	3 あまり満足でない	重要度
		4 重要でない	

施策 05 障害者の地域生活支援の充実		あなたの判定	
<p>障害者への支援を総合的に行う相談支援体制の強化を図るとともに、障害者の就労支援など、社会参加に関する支援を行っています。 また、家族介護を支援するため、障害児者の日中一時預かりなどの環境整備を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・障害者の日常生活等の相談を受ける相談支援事業所の開設 ・障害者の日中の一時的な預かり先となる日中一時支援事業の拡充 など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例 ・相談支援事業所数 6事業所(H24) → 8事業所(H26) ・就労移行支援及び就労継続支援サービス利用者数 157人(H24) → 256人(H26)</p>	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 06 子育て家庭への支援の充実		あなたの判定	
<p>子育てに関する相談や交流、情報交換ができる場を提供するなど、地域で子育て家庭を支え合うしくみづくりを進めています。 また、新生児や乳児のいる家庭への個別訪問や、医療費などの助成により、子育てしやすい環境づくりを進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・地域の子育て家庭を支援する子育て支援センター等の運営 ・小児医療費助成制度の対象年齢の拡大 など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例 ・子育て支援センター、子育てひろば、つどいの広場の延べ利用組数 10,005組(H23) → 11,346組(H26) ・新生児や乳児のいる家庭への訪問率 100%(H24) → 100%(H26)</p>	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 07 多様な働き方が選択できる保育の充実		あなたの判定	
<p>子育て家庭の多様なニーズに応じた保育サービスの提供と、放課後等に小学生を預かる「児童コミュニティークラブ」の安定した運営の確保に取り組むとともに、質の高い保育・教育サービスの提供に努めるなど、子ども・子育て支援新制度を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・児童コミュニティークラブの対象学年の拡大 ・子ども子育て関連3法に基づく「子ども・子育て支援新制度」の導入 など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例 ・多様な保育サービスを利用する児童数 13,807人(H23)→19,666人(H26) ・児童コミュニティークラブ対象学年 小学4年生まで(H24)→小学6年生まで(H27)</p>	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 08 次代を担う子ども・若者の育成支援の推進		あなたの判定	
<p>「子ども・若者育成支援指針」を策定し、子ども・若者の育成支援を総合的に進めるとともに、子どもたちが放課後の時間に安全に過ごすことができる場を地域の中に確保する「放課後子ども教室」や、子ども・若者の悩み相談、非行防止活動などに取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組 ・子どもの安全な遊び場等を確保する放課後子ども教室の新規開設 ・県央地域若者サポートステーションと連携した相談事業の実施 など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例 ・子ども体験活動事業に参加した子どもの延べ人数 3,209人(H23) → 4,496人(H26) ・市や地域の事業などに参画した若者の延べ人数 50人(H23)→90人(H26)</p>	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

施策 09 きめ細やかな教育の推進		あなたの判定	
<p>児童生徒の学習や生活支援の充実のため、本市の豊かな自然や伝統文化の活用など、特色ある教育を地域と協力しながら進めています。 また、小学校への少人数学級や教科担当制の導入、スクールカウンセラーの全校配置や教育相談の充実など、きめ細やかな教育に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語教育の充実やICT機器の利活用などのモデル事業の実施 子どもや保護者の問題に対応する「地域家庭支援チーム」の設置 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「勉強がわかる」と答えている児童生徒の割合 小学生 88.4%(H23) → 88.9%(H26)、中学生 68.7%(H23) → 74.8%(H26) 「学校がすき」と答えている児童生徒の割合 小学生 89.0%(H23) → 88.8%(H26)、中学生 78.1%(H23) → 83.3%(H26) 	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語教育の充実やICT機器の利活用などのモデル事業の実施 子どもや保護者の問題に対応する「地域家庭支援チーム」の設置 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「勉強がわかる」と答えている児童生徒の割合 小学生 88.4%(H23) → 88.9%(H26)、中学生 68.7%(H23) → 74.8%(H26) 「学校がすき」と答えている児童生徒の割合 小学生 89.0%(H23) → 88.8%(H26)、中学生 78.1%(H23) → 83.3%(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
施策 10 安全で快適な教育環境の整備		あなたの判定	
<p>小中学校校舎の屋上防水や外壁の修繕を計画的に実施し、学校施設の安全性の確保に努めています。 また、トイレなどの改修や、普通教室への扇風機設置など、快適な学習環境への改善に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校校舎の屋上防水・外壁修繕工事の実施 小中学校トイレの全面リニューアル・洋式化改修工事等の実施 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校普通教室への扇風機の設置割合 小学校 13.8%(H24) → 100%(H26)、中学校 28.5%(H24) → 100%(H26) 学校トイレの洋式化率 39.6%(H24) → 49.6%(H26) 	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校校舎の屋上防水・外壁修繕工事の実施 小中学校トイレの全面リニューアル・洋式化改修工事等の実施 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校普通教室への扇風機の設置割合 小学校 13.8%(H24) → 100%(H26)、中学校 28.5%(H24) → 100%(H26) 学校トイレの洋式化率 39.6%(H24) → 49.6%(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
施策 11 学習成果を生かせる生涯学習の推進		あなたの判定	
<p>生涯学習の活動情報などを積極的に提供し、幅広い世代の人が参加できる機会を充実するとともに、各種団体などと連携し、学習の成果を生かすことができる仕組みづくりに取り組んでいます。 また、スポーツ環境の整備など、生涯スポーツの振興に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学との連携による「大学開放講座」の開催 市民との協働による「いせはら市民大学・楽習講座」の開催 県立伊勢原射撃場を活用した「ビームライフル射撃体験教室」の開催 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進リーダーの養成数 0人(H24) → 6人(H26) 競技スポーツ大会、講習会の参加者数 5,000人(H24) → 6,445人(H26) 	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学との連携による「大学開放講座」の開催 市民との協働による「いせはら市民大学・楽習講座」の開催 県立伊勢原射撃場を活用した「ビームライフル射撃体験教室」の開催 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進リーダーの養成数 0人(H24) → 6人(H26) 競技スポーツ大会、講習会の参加者数 5,000人(H24) → 6,445人(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
施策 12 歴史・文化遺産の継承		あなたの判定	
<p>歴史的に貴重な建造物の修理への支援や文化財調査・保存など、豊富な文化財等を次代に伝え残していく取組を進めるとともに、文化財の魅力をまちづくりに活用し、地域全体で文化・歴史遺産を継承していく仕組みづくりに努めています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 日向薬師宝城坊保存修理事業への支援 いせはら歴史解説アドバイザーを養成する講座の開催 <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いせはら文化財サイト」年間アクセス件数 7,008件(H24) → 8,575件(H26) 文化財活用事業参加者数 2,164人(H24) → 3,986人(H26) 	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 日向薬師宝城坊保存修理事業への支援 いせはら歴史解説アドバイザーを養成する講座の開催 <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いせはら文化財サイト」年間アクセス件数 7,008件(H24) → 8,575件(H26) 文化財活用事業参加者数 2,164人(H24) → 3,986人(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	

■ここからは、「安心力」に関する質問です。

施策 13 みんなで取り組む地域防災力の強化		あなたの判定	
<p>地域における防災の担い手の育成や正しい防災知識の普及啓発など、地域防災力の強化に取り組んでいます。 また、災害時における高齢者や障害者などの要援護者に対する支援体制の整備を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・総合防災ガイドブックの発行 ・広域避難場所を会場とした総合防災訓練の実施 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・防災訓練の参加者数 3,502人(H24) → 6,792人(H26) ・災害時に支援が必要な高齢者・障害者の避難施設数 1カ所(H24) → 8カ所(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 14 いざという時の危機対応力の強化		あなたの判定	
<p>災害時などの危機事態に行政機能を早期に復旧できる体制づくりを進めるとともに、国や県、事業者、大学などと連携して災害対策の強化に取り組んでいます。 また、災害等の情報を的確に提供できる情報伝達体制を整え、災害時の応急対策に必要な設備・資機材の整備を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・災害情報伝達手段の多重化 (Lアラート、FMラジオ、フェイスブック等) ・公園の防災機能強化 (非常用便所やかまどベンチなど) など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・各種団体等との災害時協力の協定数 32件(H23) → 43件(H26) ・備蓄の強化が必要な主な備蓄品の平均備蓄率 47.2%(H23) → 70.7%(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 15 被害を最小限に抑える減災対策の推進		あなたの判定	
<p>公共施設の地震対策、木造住宅の耐震化、浸水被害の軽減対策に取り組むとともに、風水害・土砂災害発生時に地域住民が迅速に避難できる体制を整備するなど、災害による被害が最小限となる減災対策を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・公共下水道における地震・浸水対策工事の実施 ・土砂災害を想定した避難訓練の実施 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・公共下水道汚水管 (幹線) の耐震化率 17%(H23) → 18.1%(H26) ・土砂災害や浸水被害を想定した防災訓練及び研修会の参加者数 20人(H24) → 142人(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 16 地域とともに取り組む防犯対策の推進		あなたの判定	
<p>子どもの見守り活動や夜間パトロールなど、地域の自主的な防犯活動を支援するとともに、防犯灯の高照度化や防犯カメラの設置など、犯罪の起きにくい環境を整備し、市民、地域、行政が一体となった防犯対策を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・駅前エリア等への防犯カメラの設置 ・市内にある防犯灯の新設やLED化等 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・街頭犯罪の発生件数 487件(H23) → 373件(H26) ・市内に設置してある防犯灯の高照度化した割合 16.3%(H23) → 28.5%(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

施策 17 迅速で適切な消防・救急体制の充実		あなたの判定	
<p>高機能消防指令センターの機能更新や消防救急無線のデジタル化などに取り組むとともに、消火活動に不可欠な消火栓などの消防水利の計画的な整備を行うなど、消防・救急体制の充実・強化に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令センター更新整備の実施 消防救急無線のデジタル化整備工事の実施 消火栓などの消防水利の増設 <p style="text-align: right;">など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令センターの整備による消防指令の効率性・正確性の向上 消防救急無線のデジタル化による無線の機能性の向上 消火栓や防火水槽などの消防水利(1,142カ所)に対する整備率 88.4%(H23) → 88.9%(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

施策 18 互いに尊重し合うまちづくりの推進		あなたの判定	
<p>男女共同参画社会の実現に取り組むとともに、虐待やDVの防止と被害者への支援を充実するなど、すべての人が尊重される地域社会づくりを進めています。</p> <p>また、平和に対する意識の普及や啓発活動の充実に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画フォーラム及び男女共同参画講座の開催 平和の尊さを未来へ語り継ぐ「平和のつどい」の開催 <p style="text-align: right;">など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種審議会の女性委員の割合 34.9%(H23) → 37.5%(H26) 児童虐待防止支援終了(閉止)率 45.6%(H23) → 51%(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

■ここからは、「活力」に関する質問です。

施策 19 地域を支える商業・工業の振興		あなたの判定	
<p>各種産業の将来像を示す産業ビジョンを策定するとともに、企業誘致にむけた訪問活動や起業・創業への支援、さがみロボット産業特区を活用した取組など、地域産業の活性化に取り組んでいます。</p> <p>また、商店街の魅力向上や空き店舗対策など、商業の活性化を促しています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護ロボットを体験するフェアなどのロボット関連事業の実施 空き店舗を活用したコミュニティカフェ出店の支援 <p style="text-align: right;">など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業訪問件数 9件(H25) → 38件(H26) 商店街活性化にむけた各種イベント等の開催数 5回(H24) → 12回(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

施策 20 地域とつながる都市農業・森林づくりの推進		あなたの判定	
<p>農業の新たな担い手の確保や農地の集約化、用水路等の農業基盤施設の整備、鳥獣被害対策など、農業経営の安定化を促すとともに、農畜産物のブランド化や6次産業化など、農業の活性化に取り組んでいます。</p> <p>また、森林・水源管理道などの林業基盤施設の整備を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 就農初期段階の青年就農者への給付金の支給 有害鳥獣を対象とした食肉加工施設設置への支援 <p style="text-align: right;">など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 荒廃農地面積 10.5ha(H24) → 6.0ha(H26) 農畜産物ブランド認定制度による認定数 4品目(H24) → 5品目(H26) 水源管理道の整備延長 200m(H24) → 1,031m(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

施策 21 伊勢原ならではの観光魅力づくり		あなたの判定	
<p>大山・日向を中心とした歴史・文化・自然などの地域資源を活用するとともに、市民や事業者などとの協働により、魅力ある観光地づくりを進めています。</p> <p>また、大山街道や歴史的に関わりのある地域との連携を図り、広域観光の拡大を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山インフォメーションセンター（情報発信拠点）の新設 ・厚木・伊勢原・秦野にまたがる広域ハイキングルートの設定 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山・日向を訪れた入込観光客数 104万人(H24) → 110万人(H26) ・旅行ガイドブック「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン改訂4版(仏語)」への大山の掲載 	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>重要度</p> <p>1 重要である</p> <p>2 やや重要である</p> <p>3 あまり重要でない</p> <p>4 重要でない</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>重要度</p> <p>1 重要である</p> <p>2 やや重要である</p> <p>3 あまり重要でない</p> <p>4 重要でない</p>	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
施策 22 いせはらシティセールスの推進		あなたの判定	
<p>本市の豊富な地域資源を市内外に効果的にアピールするため、シティプロモーション推進計画を策定するとともに、公式イメージキャラクターの活用や積極的な情報発信などにより、本市のイメージや知名度の向上を図り、地域の活性化を促しています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市公式イメージキャラクター「クルリン」の活用 ・原動機付自転車を対象とすご当地ナンバープレートの作成と配布 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞各社等における本市のPR(ピーアール)に繋がる記事の掲載件数 307件(H23) → 820件(H26) ・本市への転入超過者数 転出超過(H23) → 転入超過〔+152人〕(H26) 	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>重要度</p> <p>1 重要である</p> <p>2 やや重要である</p> <p>3 あまり重要でない</p> <p>4 重要でない</p>	満足度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
<p>重要度</p> <p>1 重要である</p> <p>2 やや重要である</p> <p>3 あまり重要でない</p> <p>4 重要でない</p>	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
施策 23 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出		あなたの判定	
<p>広域幹線道路整備による交通のアクセス性などの地域の優位性を生かし、都市計画道路横浜伊勢原線沿道地区に新たな産業用地を創出するとともに、企業誘致に取り組んでいます。</p> <p>また、新東名高速道路や国道246号バイパスの伊勢原北インターチェンジ周辺地区における新たな交流拠点の形成を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業用地である横浜伊勢原線沿道地区の市街化区域への編入 ・伊勢原北インターチェンジ周辺における埋蔵文化財調査の実施 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域に編入する新たな産業系区域の面積 -ha(H24)→22ha(H26) 	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>重要度</p> <p>1 重要である</p> <p>2 やや重要である</p> <p>3 あまり重要でない</p> <p>4 重要でない</p>	満足度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
<p>重要度</p> <p>1 重要である</p> <p>2 やや重要である</p> <p>3 あまり重要でない</p> <p>4 重要でない</p>	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
施策 24 交流がひろがる拠点の形成		あなたの判定	
<p>伊勢原駅北口周辺地区は、市の玄関口としてふさわしい賑わいと活力ある交流拠点の形成を目指し、関係権利者と整備に向けた検討を進めるとともに、喫緊の課題となっている交通環境の改善を図るため、都市計画道路伊勢原駅前線の整備を段階的に進めています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路伊勢原駅前線用地先行取得の実施 ・伊勢原駅北口周辺地区整備に向けた地元説明会及び勉強会の開催 など <p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路伊勢原駅前線の用地取得の割合 28.0%(H23)→31.1%(H27) 	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
	3	あまり満足でない	
	4	満足でない	
<p>重要度</p> <p>1 重要である</p> <p>2 やや重要である</p> <p>3 あまり重要でない</p> <p>4 重要でない</p>	満足度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	
<p>重要度</p> <p>1 重要である</p> <p>2 やや重要である</p> <p>3 あまり重要でない</p> <p>4 重要でない</p>	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
	3	あまり重要でない	
	4	重要でない	

■ここからは、「都市力」に関する質問です。

施策 25 地域の個性あふれるまちづくりの推進		あなたの判定	
<p>市民が主体となって取り組む地域のまちづくり活動や景観まちづくり活動への支援を進めるとともに、景観計画・条例を施行し、地域の景観を生かしたまちの形成に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組 ・景観に関するシンポジウムやワークショップの開催 ・良好な景観形成に向けた景観計画の策定や景観条例の制定 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・地域まちづくり活動の実践件数 0件(H24) → 6件(H26) ・景観まちづくりの取組件数 2件(H24) → 3件(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 26 生活環境美化の推進		あなたの判定	
<p>環境美化に関するマナーや意識の啓発、パトロール実施などによりごみの散乱を防止し、清潔で快適な生活環境の維持に努めるとともに、公園や河川などの身近な公共施設の美化に市民と協働で取り組み、きれいで美しいまちづくりを進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・ポイ捨て・犬のふんの放置・路上喫煙の防止に関するパトロールの実施 ・公園の美化活動を進める公園愛護会への支援 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・ポイ捨て防止に関する啓発活動日数 0日(H23) → 15日(H26) ・登録団体による美化活動が行われている公園の数 20公園(H23) → 25公園(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 27 自然共生社会の構築		あなたの判定	
<p>生態系に配慮した水路の整備や合併処理浄化槽の普及を推進し、水源等として利用されている河川の環境保全を進めるとともに、教育機関や市民、事業者と連携し、環境教育や環境啓発イベントの実施など、環境保全活動の充実に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組 ・市民環境団体との協働による環境啓発イベントの開催 ・生態系に配慮した自然石による護岸の整備 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・環境学習の年間実施回数 64回(H23) → 91回(H26) ・アユがすめるレベルの河川数 4河川(H23) → 9河川(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 28 低炭素・循環型社会の構築		あなたの判定	
<p>太陽光発電設備やみどりのカーテンの普及など、温室効果ガス削減の取組を進めています。 また、ごみの減量化・資源化に取り組み、環境負荷の少ない社会の実現に向けた取組を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・大山第二駐車場への電気自動車用急速充電器の設置 ・携帯電話など使用済小型家電の分別回収の実施 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・市内における太陽光発電総出力量 3,000kW(H23) → 8,514kW(H26) ・使用済小型家電の回収台数 1,500台(H24) → 7,824台(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
		重要度	1 重要である
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

施策 29 バリアフリー対策の推進		あなたの判定	
<p>誰もが安全で円滑に移動できるよう、歩道等の整備や歩行空間のバリアフリー化を進めるとともに、バス事業者と協調しながら、ノンステップバスの導入を促し、公共交通機関のバリアフリー化に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者と自転車の円滑な移動を確保する歩道等の整備 ノンステップバス導入に係るバス事業者への支援 <p style="text-align: right;">など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行空間が改善された道路の整備率 44.4%(H23) →80.8%(H26) ノンステップバス導入台数 4台(H25-26累計) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 30 移動しやすい交通対策の推進		あなたの判定	
<p>バス路線の維持拡充に取り組むとともに、鉄道事業者に対する運行内容等の改善の働きかけなど、公共交通対策に取り組んでいます。</p> <p>また、自転車の交通安全教育や交通マナーの啓発に取り組み、安全で移動しやすい交通環境づくりを進めています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛甲石田南口から東成瀬周辺地区を循環するバス路線の新設 交通安全教室の開催や自転車マナーアップキャンペーンの実施 <p style="text-align: right;">など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バスの年間輸送人員数 859万人(H23) → 909万人(H26) 全交通事故のうち自転車が関係する交通事故 24.9%(H23)→16.8%(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 31 都市の機能を高める基盤施設整備の推進		あなたの判定	
<p>新東名高速道路や国道246号バイパスとそのアクセス道路の整備を促すとともに、都市計画道路などの地域の幹線道路の整備を進めています。</p> <p>また、公共下水道(汚水)の普及に向けた整備を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路田中笠窪線整備事業の実施 公共下水道(汚水)整備工事の実施 <p style="text-align: right;">など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 田中笠窪線整備事業の実実施計画内容に対する進捗率 0.2%(H24) → 11.9%(H26) 公共下水道(汚水)の市街化区域整備済面積 970.5ha(H24)→982.3ha(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない
施策 32 公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進		あなたの判定	
<p>公共施設の計画的な修繕や維持管理を行い、公共施設の長寿命化に努めるとともに、時代のニーズに対応した、公共施設の有効利用を進めるなど、効率的で機能的な施設管理に取り組んでいます。</p> <p>■これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋りょうの耐震化工事などの予防的修繕の実施 公園遊具の更新や総合運動公園体育館天井改修工事の実施 <p style="text-align: right;">など</p>	満足度	1	満足である
		2	やや満足である
		3	あまり満足でない
		4	満足でない
<p>□これまでの成果の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数 0橋(H24) → 2橋(H26) 公園遊具の更新数 6公園7遊具(H25)、8公園12遊具(H26) 	重要度	1	重要である
		2	やや重要である
		3	あまり重要でない
		4	重要でない

■ここからは、「自治力」に関する質問です。

施策 33 市民や様々な団体との市民協働の推進		あなたの判定	
<p>市民活動への参加を促し、市民や団体の活動が自主的・継続的に進められるよう、相談や育成、交流などの支援を実施するとともに、様々な団体や事業者などが市と協働関係を構築し行動する、市民協働のまちづくりを進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・市民の自主的な市民活動を支援する市民活動サポートセンターの運営 ・市民又は行政からの提案による協働事業の実施 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・市民活動サポートセンター利用登録団体数 114 団体(H23)→187 団体(H26) ・市民協働事業の相談件数 20 件(H24) → 24 件(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 34 多様なつながりで支える地域運営の推進		あなたの判定	
<p>自治会活動等への支援や、地域住民の自主的な活動の場である地域のコミュニティセンターの管理運営を行い、住民のつながりや支え合いの意識を高めるとともに、地域コミュニティの活性化を促しています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・自治会連合会ホームページの作成などの自治会運営への支援 ・地域コミュニティセンターの管理・運営 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・自治会加入世帯数 35,416 世帯(H24) → 35,479 世帯(H26) ・地域の情報をまとめたホームページを作成している地域数 0 地域(H24) → 7 地域(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 35 市民に身近な市役所づくり		あなたの判定	
<p>行政情報を市民にわかりやすく公開し、身近に感じられる透明性の高い市役所づくりを進めています。 また、情報通信技術を活用した行政サービスの拡大や情報発信の充実など、利用しやすく信頼性の高いシステムの構築を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・市ホームページのリニューアル ・「広報いせはら」の希望者への戸別配布の実施 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・市ホームページアクセス件数 67 万件(H23) → 77 万件(H26) ・電子申請・届出サービスを利用して本市へ申請できるメニュー数 12 項目(H23) → 15 項目(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない
施策 36 健全で安定した財政運営		あなたの判定	
<p>市債残高の縮減や財政調整基金の確保など、財政基盤の強化に取り組むとともに、様々な環境の変化に柔軟に対応できる健全で安定した財政運営に努めています。 また、まちづくり市民ファンドの創設や広告事業の拡大など、新たな財源確保に向けた取組を進めています。</p> <p>■これまでの主な取組 ・市ホームページや公用自動車などへの企業有料広告の募集 ・滞納処分により差押さえた財産のインターネット公売の実施 など</p> <p>□これまでの成果の一例 ・経常収支比率^(※1) 96.4%(H23) → 94.6%(H26) ・財政調整基金残高^(※2) 0.6 億円(H23) → 8.2 億円(H26)</p>	満足度	1 満足である	2 やや満足である
	重要度	3 あまり満足でない	4 満足でない
			2 やや重要である
			3 あまり重要でない
			4 重要でない

施策 37 市民に信頼される市政の推進		あなたの判定	
限られた財源や人員の配分を最適化し、事務事業の見直しなどを行うとともに、広域連携など、より効果的かつ効率的な行政運営を進めています。 また、職員の人材育成や部門横断的な事業展開など、機能的な執行体制の構築に取り組んでいます。	満足度	1 満足である	
		2 やや満足である	
		3 あまり満足でない	
		4 満足でない	
■これまでの主な取組 ・他市町とのスポーツ施設等の相互利用の開始 ・市役所1階における総合窓口「クルリン窓口」の開設 など	重要度	1 重要である	
2 やや重要である			
3 あまり重要でない			
4 重要でない			
□これまでの成果の一例 ・市役所窓口サービスの満足度 91%(H24) → 93%(H26) ・市民が市の施設と同様に利用できる近隣市町村の公共施設の数 12施設(H24) → 28施設(H26)			

- (※1) 経常収支比率とは、財政構造の弾力性を測定する指標です。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。
- (※2) 財政調整基金とは、年度間の財源不足に備えるため、決算の余剰金などを積立て、財源が不足する年度に活用する目的の貯金のようなものです。

Ⅲ 総合計画の施策指標の現状値を把握するため、地域福祉についてうかがいます

「第5次総合計画前期基本計画」では、計画に掲げている各施策ごとに「目標の達成度を測る指標」を設定しています。その中でも地域福祉に関する分野について、現状値を把握するため、以下の項目についてうかがいます。

1 あなたは、福祉に関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても関心がある | 2 やや関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 まったく関心がない |

- ※「1 とても関心がある」または「2 やや関心がある」と回答した方は「2」にお進みください。
「3 あまり関心がない」または「4 まったく関心がない」と回答した方は「3」にお進みください。

2 あなたは、どのような分野の福祉に関心がありますか。(○はいくつでも)

「その他」を選ばれる場合は、カッコ内に具体的にお書きください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 高齢福祉の関係 | 2 障害福祉の関係 |
| 3 児童福祉の関係 | 4 地域福祉※の関係 |
| 5 生活保護の関係 | 6 その他〔 〕 |

※地域福祉とは、地域住民や社会福祉団体、ボランティアなど、地域で福祉にかかわる人々の参加・協力によって、だれかの助けを必要とする人もそうでない人も同じ社会の一員として認め合い、自分の意志で多様な社会活動に参加できるような「共に生き、支え合う社会」をつくることです。

- 3 あなたはこれまで、どのようなボランティア活動に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)
「その他」を選ばれる場合は、カッコ内に具体的にお書きください。

1 高齢者支援に関する活動	2 障害者支援に関する活動
3 子育て支援に関する活動	4 自然・環境保護に関する活動
5 体育・スポーツ・文化に関する活動	6 災害ボランティア活動
7 医療に関する活動(院内ボランティア)	8 青少年の健全育成に関する活動
9 国際交流(協力)に関する活動	10 その他〔
11 参加したことはない	〕

IV 幸福実感についてうかがいます

本市では、第5次総合計画の将来都市像に「しあわせ創造都市 いせはら」を掲げ、誰もが幸せを実感できる明るい未来を築いていくことをめざし、さまざまな取組を進めております。

そこで、幸福実感について、市民の皆さまの意見を聞き、今後の市政に反映させるため、あなたの幸福の捉え方などについてうかがいます。

- 1 現在、あなたは実感としてどの程度幸せですか。
最高を10点、最低を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ選び、〇で囲んでください。

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 2 幸福実感を判断する上で、あなたが重視した事項は何ですか。(〇は3つまで)

1 家族関係	2 友人関係
3 健康状態	4 所得・収入
5 就業状況(仕事の有無・安定)	6 やりがいのある仕事
7 趣味などの生きがい	8 地域とのつながり
9 地位や名誉	10 良好な生活環境
11 自由な時間	12 その他〔
	〕

V 市政情報の入手方法などについておうかがいします

1 あなたは、日頃SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用していますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

※SNSとは、インターネット上の交流を通して、社会的なつながりを構築するサービスをいいます。代表的なものとして、フェイスブックやツイッター、LINE などがあります。

2 あなたは、市からの情報を、主に何から得ていますか。（○は3つまで）

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 広報いせはら | 2 市公式ホームページ |
| 3 市公式ツイッター | 4 市公式フェイスブック |
| 5 新聞記事 | 6 タウン紙 |
| 7 コミュニティFM | 8 自治会回覧・掲示板 |
| 9 友人・知人 | 10 市の窓口・パンフレット・チラシ |
| 11 その他（ | ） |

3 あなたは、「広報いせはら」をどの程度読んでいますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 毎号よく読んでいる | 2 毎号ざっと目を通す |
| 3 ときどき読む | 4 ほとんど読まない |
| 5 全く読まない | |

4 あなたは、市のホームページをどの程度見ますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 ほぼ毎日みる | 2 よく見る（週に数回） |
| 3 たまに見る（月に数回） | 4 ほとんど見ない |
| 5 見たことがない | |

Ⅵ 伊勢原に対する愛着や誇りなどについておうかがいします

現在、「いせはらシティプロモーション推進計画」に基づき、市民の皆さんが、伊勢原に住むことに喜びを感じ、市外からも「訪れたい」「住みたい」と思っただけけるよう、市民、関係機関が協力して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。そうした市民の皆さんの思い（現状値）を把握するため、以下の項目についてうかがいます。

以下の（１）から（８）の項目それぞれについて、あなたご自身はどのくらい感じていますか。
最高を10点、最低を0点として、いずれかの数字を1つだけ選び、○で囲んでください。

（１）伊勢原に愛着を持っている

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（２）今後も伊勢原に住み続けたい

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（３）伊勢原のことを細部までよく知っている

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（４）伊勢原に誇りを持っている

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（５）伊勢原について自慢したいことがある

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（６）自分は伊勢原に貢献している

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（７）伊勢原の地場産品を購入したり、観光やレジャーなどで伊勢原を訪れたりすることを、友人・知人に薦めたい

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（８）伊勢原に住むことを友人・知人に薦めたい

点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	点
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

調査項目は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

* この調査票を同封の返信用封筒に入れ、1月29日（金）までに郵便ポストへ投函してください。

編集・発行／伊勢原市企画部経営企画課
〒259-1188
伊勢原市田中348番地
電話 0463-94-4711